

平成 25 年度
磯子区民意識調査報告書

横浜市磯子区役所

平成 25 年度 磯子区民意識調査報告書

目次

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 分析の方法・結果の見方等について	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の属性について	3
(1) F 1 性別	3
(2) F 2 年齢	3
(3) F 3 婚姻・配偶者の有無	4
(4) F 4 子どもの有無・学校教育段階	5
(5) F 5 同居の家族構成	5
(6) F 6 職業	6
(7) F 7 居住地域	7
(8) F 8 住まいの形態	9
(9) F 9 今の住まいに住み始めた時期	11
(10) F 10 通勤・通学先	12
(11) F 11 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段	13
2. 普段の生活のことや磯子区の魅力について	14
(1) 問 1 現在の生活に対する満足度	14
(2) 問 2 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること	17
(3) 問 3 日常生活で困ったことの相談相手	22
(4) 問 4 磯子区に対するイメージ	25
(5) 問 5 地域の自慢や宝、お気に入りについて	29
(6) 問 6 磯子区での居留意向	33
(7) 問 7 普段生活するうえで重要だと思うこと	37
(8) 問 7 各項目についての現在の取り組み状況	39
3. 隣近所との付き合いや地域での活動について	42
(1) 問 8 隣近所との付き合い方	42
(2) 問 9 自治会・町内会への加入状況	47
(3) 問 10 仕事や学業以外で参加している活動	49
(4) 問 11 地域や社会に役立つ活動への参加意向	53
(5) 問 12 「磯子区民活動支援センター」の認知度	55
4. 生活環境全般に対する満足度・重要度について	56
(1) 問 13 生活環境に対する満足度	56
(2) 問 13 生活環境に対する満足度の以前との比較	61
(3) 問 14 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの	63
(4) 問 15 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの	68

5. 商店街について.....	73
(1) 問 16 地元の商店街の利用頻度.....	73
(2) 問 17 商店街に対して希望すること.....	74
(3) 問 18 「商店街朝市」の認知度.....	75
6. 災害対策について.....	76
(1) 問 19 大地震が起きたときに特に心配なこと.....	76
(2) 問 20 大地震に対しての準備.....	78
(3) 問 21 要援護者の避難支援に関してできると思うこと.....	80
(4) 問 22 「磯子区防災マップ」の確認状況.....	81
7. 区の情報や地域の情報の入手について.....	82
(1) 問 23 区や地域からの情報を入手している媒体.....	82
8. その他（自由意見について）.....	83
Ⅲ. 参考資料（調査票・単純集計結果）.....	85

I. 調査概要

1. 調査の目的

磯子区民のニーズや意向を的確に把握し、今後の区政運営の方向性を検討するための基礎資料とすることを目的に、区民の日常生活に関わる様々な事項について調査を実施しました。

2. 調査の方法

調査の対象者、配布・回収方法、回収率などは次のとおりです。

調査対象者	区内在住 20 歳以上の男女 3,500 人
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査方法	郵送式（郵送配布・郵送回収、ハガキ督促 1 回）
回答方法	無記名、選択式（一部記入式）
調査実施時期	平成 25 年 6 月 14 日～6 月 28 日
回収結果	1,894 票（有効回答 1,887 票、白紙回答 7 票）
回収率	54.1%（有効回答率 53.9%）
調査実施機関	株式会社 浜銀総合研究所

3. 分析の方法・結果の見方等について

- 設問には単数回答（1 つの項目のみ選択するもの）と複数回答があり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は 100%を超えます。
- 単数回答の設問に関しても、表記の割合は選択肢ごとに少数第 2 位を四捨五入しているため、それぞれの割合の合計が 100%にならないところがあります。
- 各設問において、選択肢への○囲み、回答欄への番号や文字の記入等がなかったものについては「無回答」としてしています。また、単数回答形式の設問において複数の選択肢にまたがるように印をつけているためにどちらを選択しているか判断できないものや、「○は 3 つまで」という設問に対して 4 つ以上の項目を選択している場合については、その回答を「判別不能」としてしています。
- 設問の中には前問に答えた方、及び特定の選択肢を選んだ方のみが答える設問があり、その場合には表記の「回答者数 (n)」が全体よりも少なくなっています。
- 一部の設問において、選択肢の文言が長いものについては、本文やグラフ中で簡略化して表記していることがあります。
- クロス集計の結果に関しては、「無回答」などの回答結果を割愛しているところがあります。
- 一部の設問については、過去に実施した磯子区民意識調査や、横浜市民意識調査等の結果と比較して調査結果を掲載しています。
- 自由記入欄、及び各設問の「その他」の内容の具体的な記述について、一つの回答の中に複数の項目について述べられている場合には、それぞれの項目について 1 件と数えているため、項目ごとの件数の合計が回答総数と一致しない場合があります。

《回答者の世帯類型の整理》

調査項目のF2（年齢）、F4（子どもの有無）、F5（家族構成）の3つから、本調査の回答者の世帯類型について、下の表1のように整理することができます。

今回の調査では、磯子区にお住まいの方々の状況について、回答者の世帯の状態や、回答者本人のライフステージといった視点から把握するため、一部の設問項目においてこの世帯類型を用いた分析を行っています。

表1 回答者の世帯類型の整理

世帯類型	分類に用いた項目	件数	構成比
ひとり暮らし (本人 65 歳未満)	F5 (家族構成) が「ひとり暮らし」、かつ F2 (年齢) が 65 歳未満の方	99	5.2%
ひとり暮らし (本人 65 歳以上)	F5 (家族構成) が「ひとり暮らし」、かつ F2 (年齢) が 65 歳以上の方	92	4.9%
夫婦のみ (本人 65 歳未満)	F5 (家族構成) が「夫婦のみ」、かつ F2 (年齢) が 65 歳未満の方	220	11.7%
夫婦のみ (本人 65 歳以上)	F5 (家族構成) が「夫婦のみ」、かつ F2 (年齢) が 65 歳以上の方	281	14.9%
子と同居 (第一子未就学)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「小学校入学前」の方	83	4.4%
子と同居 (第一子在学中)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「小学校在学中」～「短大・大学・大学院在学中」の方	163	8.6%
子と同居 (第一子学校教育終了)	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、最も年齢が上の子どもが「学校教育終了」の方	482	25.5%
親と同居 …※	F5 (家族構成) が「親と子」、かつ F4 (子どもの有無) について、「子どもはいない」と回答した方	160	8.5%
三世同居	F5 (家族構成) が「祖父母と親と子 (三世代)」の方	118	6.3%
その他	F5 (家族構成) が「その他」の方	69	3.7%
分類不可	回答者の属性に関する設問項目中に無回答の項目があり、 上記に分類できない方	120	6.4%
合計		1887	100.0%

※「親と同居 (本人 65 歳以上)」と分類される方が少数であったため、「親と同居 (本人 65 歳未満)」と合わせ、「親と同居」という類型に分類しています。

Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性について

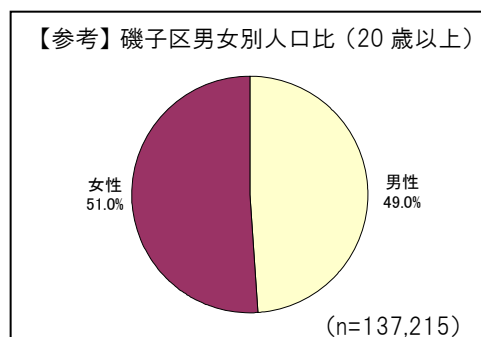
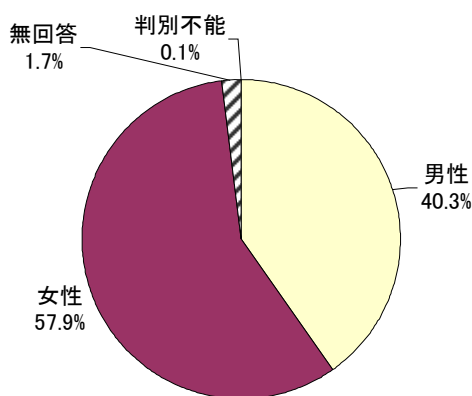
(1) F1 性別

回答者の性別についてたずねたところ、「男性」が 40.3%、「女性」が 57.9%と、女性のほうが多くなっています。

《磯子区の男女別人口との比較》

参考までに磯子区の男女別人口（平成 25 年 3 月現在、20 歳以上）をみると、男性 49.0%、女性 51.0%となっており、本調査の回答者は、実際の人口構成よりも女性の割合が高くなっています。

図1 回答者の性別（n=1,887）【単数回答】



出所：磯子区年齢別男女別人口（平成 25 年 3 月）

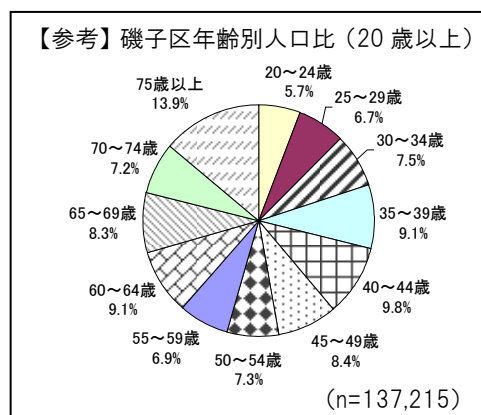
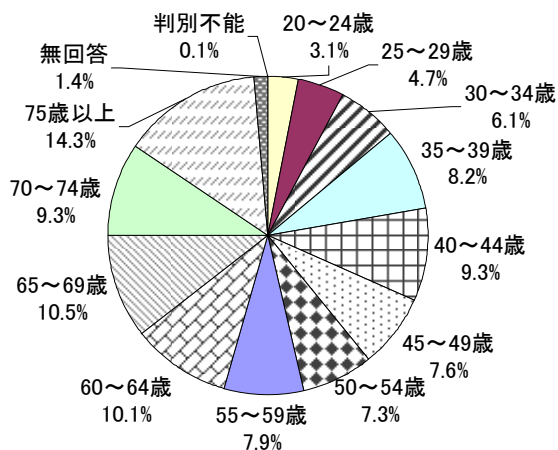
(2) F2 年齢

回答者の年齢についてたずねたところ、「75歳以上」が 14.3%と最も多く、次いで「65～69歳」が 10.5%となっており、本調査の回答者の年代は、60歳以上の方が 44.2%となっています。

《磯子区の年齢別人口との比較》

参考までに磯子区の年齢別人口（平成 25 年 3 月現在、20 歳以上）と比較すると、本調査の回答者は実際の人口構成よりも 60 歳以上の方の割合が高くなっています。

図2 回答者の年齢（n=1,887）【単数回答】



出所：磯子区年齢別男女別人口（平成 25 年 3 月）

(3) F3 婚姻・配偶者の有無

現在、回答者に配偶者がいるかどうかについてたずねたところ、「既婚（配偶者あり）」が65.0%、「既婚（離死別）」が11.6%、「未婚」が19.1%でした。

【F3-1 夫婦共働きの有無】

婚姻・配偶者の有無について「既婚（配偶者あり）」と回答した方に対し、夫婦で共働きをしているかどうかをたずねたところ、「フルタイム共働き」が14.8%、「パートタイム共働き（夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム）」が24.6%、「していない」は58.7%でした。

図3 回答者の婚姻・配偶者の有無（n=1,887）【単数回答】

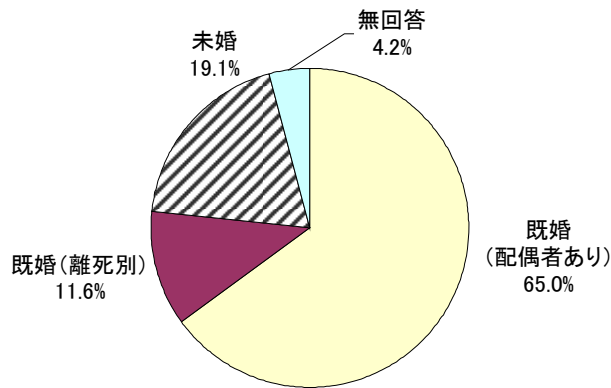
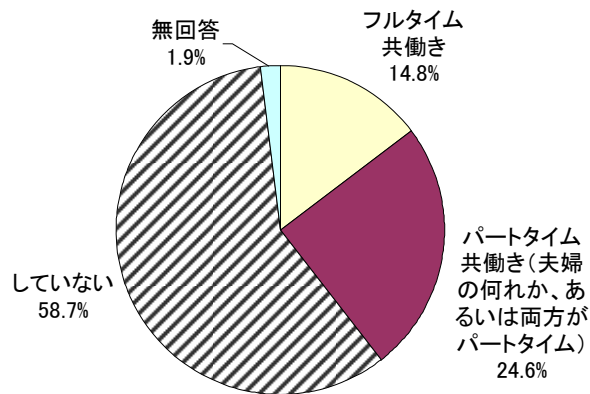


図4 夫婦共働きの有無（n=1,227）【単数回答】



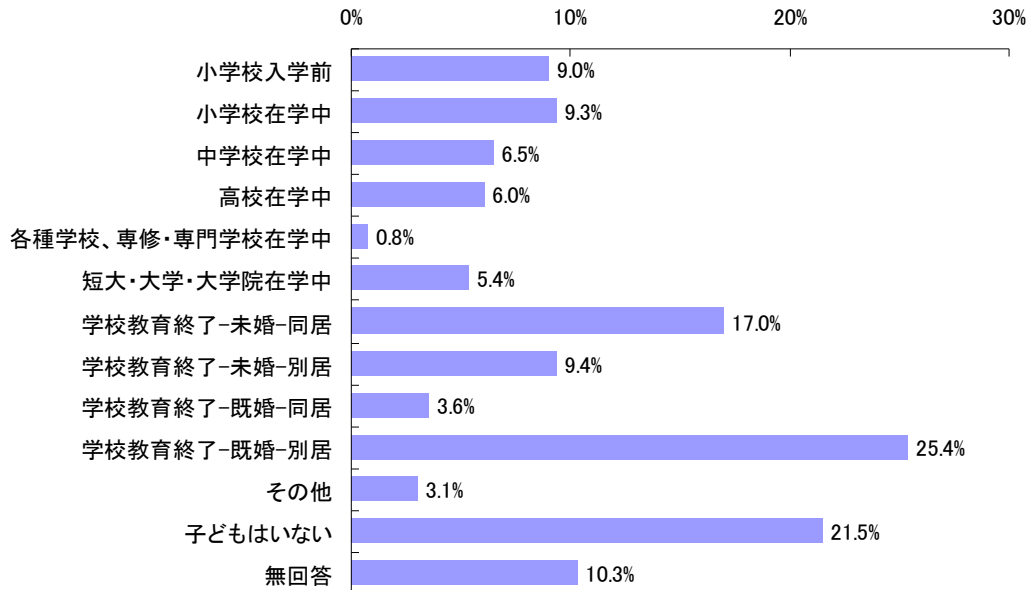
※F3-1については、F3において「既婚（配偶者あり）」と回答した方を対象とした設問となっています。

(4) F 4 子どもの有無・学校教育段階

回答者に子どもがいるかどうか、ならびに子どもの学校教育段階についてたずねたところ、子どものいる方が68.2%で、「子どもはいない」という方が21.5%でした。子どものいる方について、その子どもの学校教育段階をみると、最も多かったのは「学校教育終了-既婚-別居」で25.4%、次いで、「学校教育終了-未婚-同居」が17.0%となっています。

なお、本設問は複数回答形式であり、子どもが複数いる方については、複数の学校教育段階を選択していることがあります。

図5 回答者の子どもの有無・学校の教育段階 (n=1,887) 【複数回答】

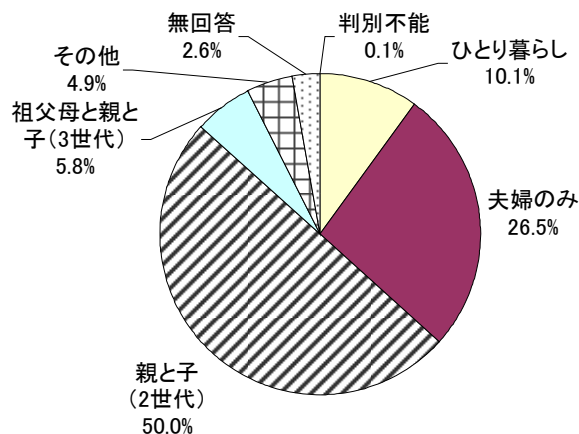


(5) F 5 同居の家族構成

回答者の現在同居している家族の構成についてたずねたところ、最も多かったのは「親と子(2世代)」で50.0%、次いで「夫婦のみ」が26.5%、「ひとり暮らし」が10.1%、「祖父母と親と子(3世代)」が5.8%、「その他」が4.9%となっています。

なお、ここでいう「親と子」には、回答者が自身の子どもと同居している場合と、回答者が自身の親と同居している場合の両方が含まれます。

図6 回答者の同居の家族構成 (n=1,887) 【単数回答】



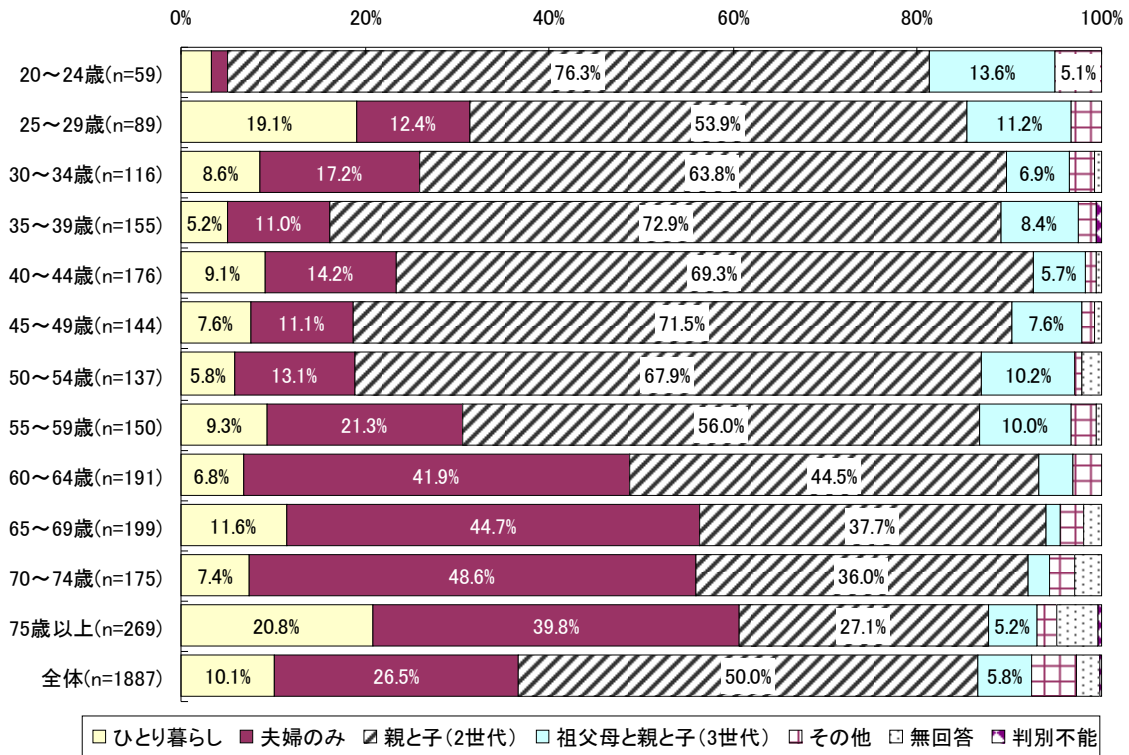
《年齢層別にみた回答者の同居の家族構成》

回答者の家族構成を年齢層別にみると、図7のようになっています。

「20～24歳」と比べ、「25～29歳」では「ひとり暮らし」と「夫婦のみ」の割合が大きく高まり、「親と子（2世代）」の割合が低くなっています。55歳以上では高齢層になるほど「親と子（2世代）」の割合が低く、「夫婦のみ」の割合が高くなる傾向が顕著にみられます。

また、「25～29歳」と「75歳以上」では「ひとり暮らし」の割合が他の年齢層に比べ高く、ともに約2割となっています。

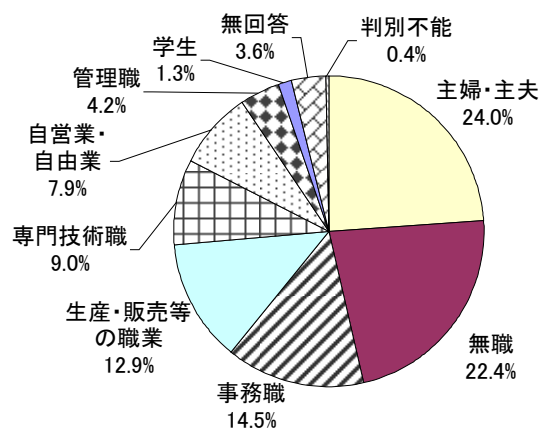
図7 年齢層別にみた回答者の同居の家族構成



(6) F6 職業

回答者の職業についてたずねたところ、最も多かったのは「主婦・主夫」で24.0%、次いで「無職」が22.4%となっています。また、「事務職」が14.5%、「生産・販売等の職業」が12.9%となっています。

図8 回答者の職業 (n=1,887) 【単数回答】



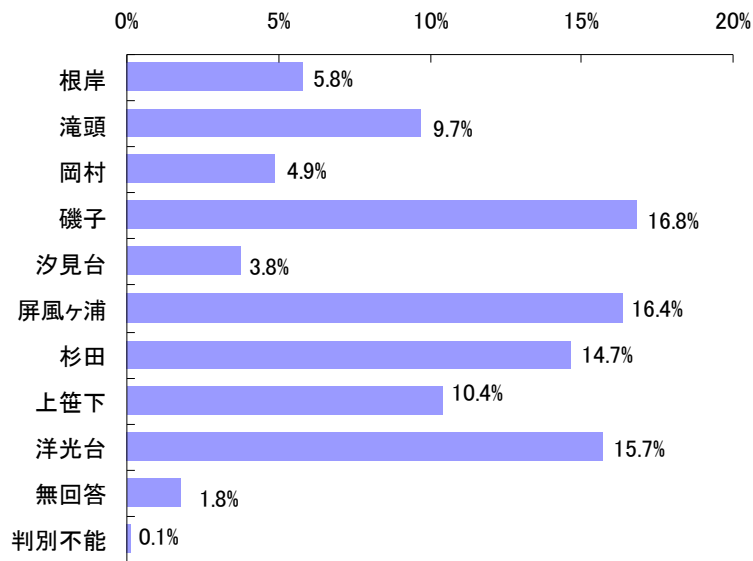
(7) F7 居住地域

回答者の居住地域についてたずねたところ、最も多かったのは磯子で、割合は16.8%でした。次いで屏風ヶ浦が16.4%、洋光台が15.7%、杉田が14.7%となっています。

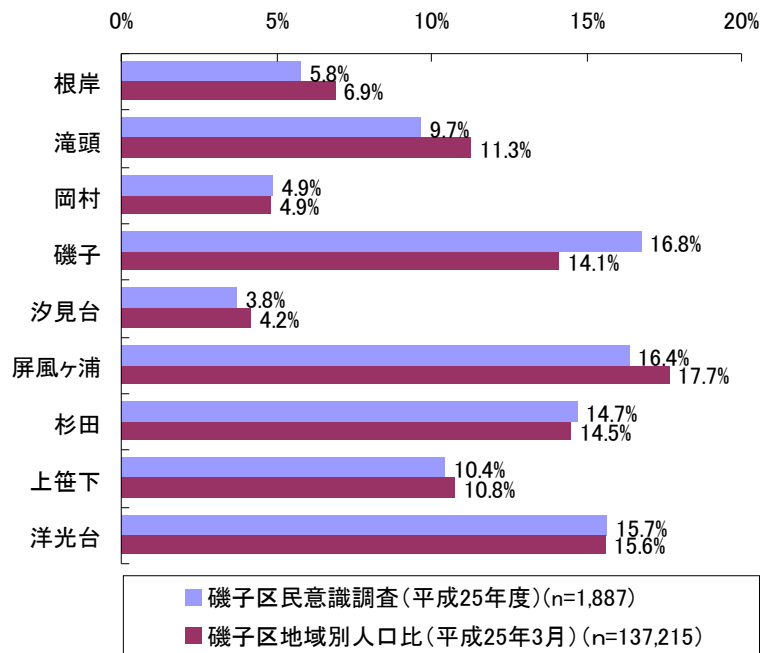
《磯子区の地域別人口比との比較》

参考までに磯子区の地域別人口比（平成25年3月、20歳以上）と比較すると、今回の調査における回答者の居住地域の構成比は、おおむね実際の構成比と近いものになっていますが、磯子は実際よりもやや割合が高くなっています。

図9 回答者の居住地域（n=1,887）【単数回答】



【参考】磯子区の地域別人口比（20歳以上）との比較



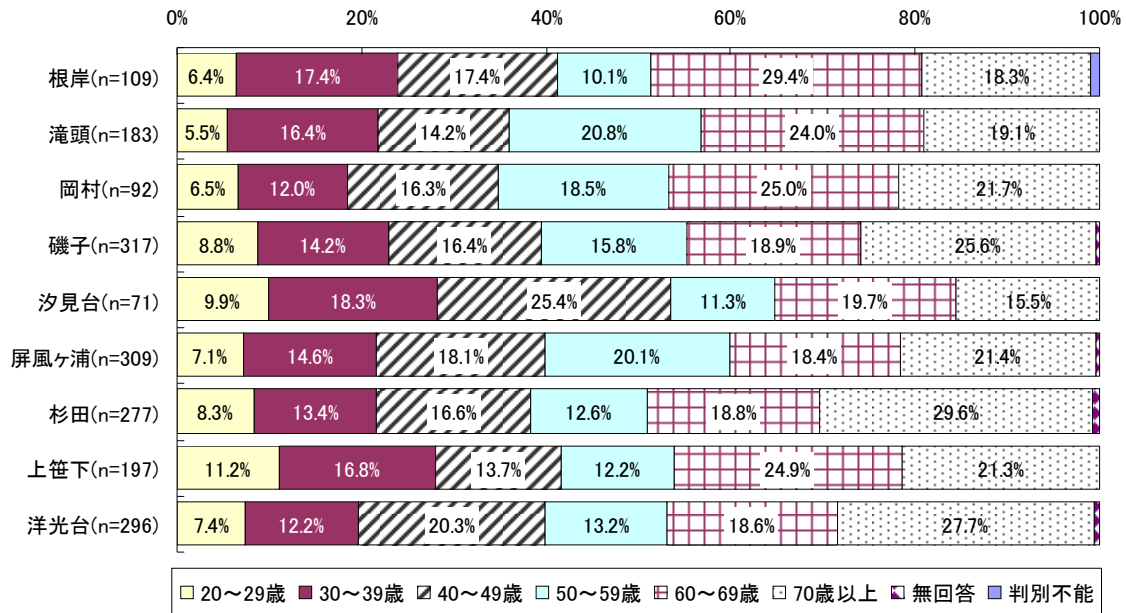
出所：磯子区年齢別男女別人口（平成25年3月）

《居住地域別にみた回答者の年齢》

回答者の年齢を居住地域別にみると、図 10 のようになっています。

ほとんどの地域で 60 歳以上の方が 4 割を超えていますが、汐見台や屏風ヶ浦では他の地域と比べて 60 歳以上の割合が低くなっています。特に、汐見台では「40～49 歳」が 25.4%と、各年齢層の中で最も割合が高くなっており、また「70 歳以上」の割合が低いなど、他の地域よりも若い方の割合が高いという特徴がみられます。

図 10 居住地域別にみた回答者の年齢

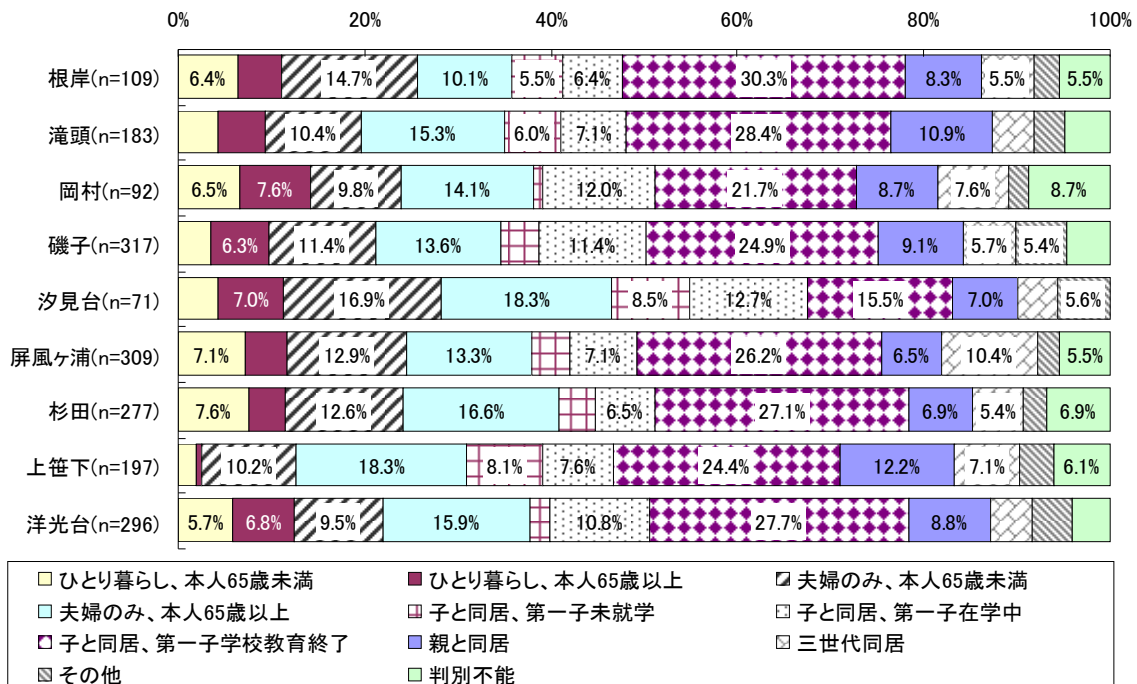


《居住地域別にみた回答者の世帯類型》

回答者の世帯類型を居住地域別にみると、図 11 のようになっています。

汐見台では「子と同居（第一子未就学）」や「子と同居（第一子在学中）」の割合が高く、一方で「子と同居（第一子学校教育終了）」の割合が低いという特徴がみられます。また、上笹下では「ひとり暮らし」の割合が他と比べ低くなっています。

図 11 居住地域別にみた回答者の世帯類型



(8) F 8 住まいの形態

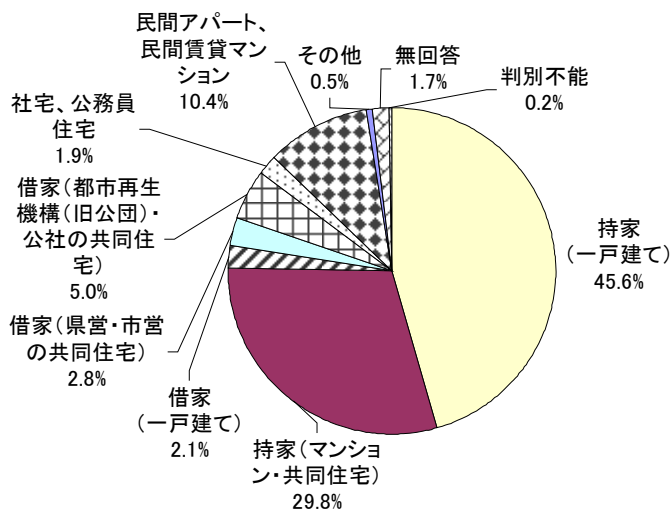
回答者の住まいの形態についてたずねたところ、最も多かったのは「持家（一戸建て）」で45.6%、次いで「持家（マンション・共同住宅）」が29.8%であり、回答者の75.4%が持家に住んでいます。持家以外では「民間アパート・民間賃貸マンション」が最も多く、10.4%となっています。

《「横浜市民意識調査」との比較》

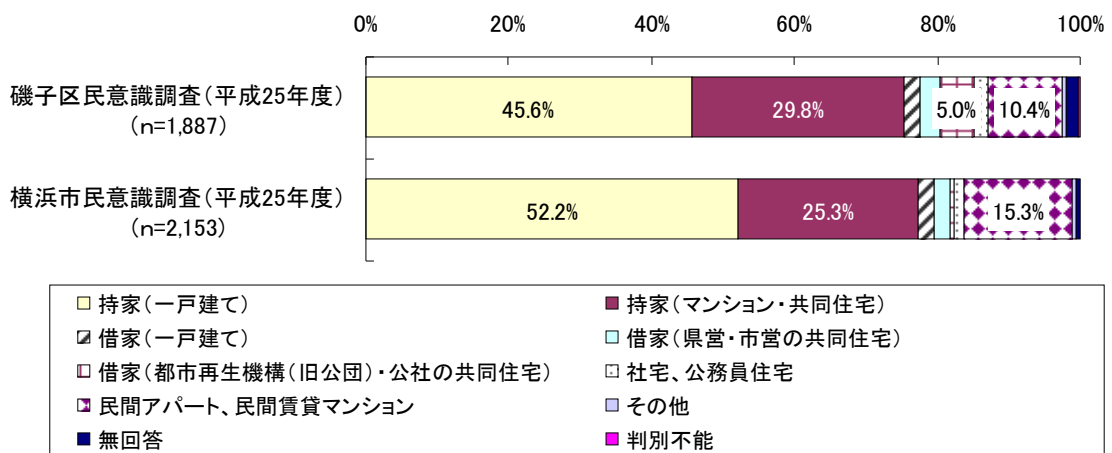
参考までに「横浜市民意識調査」（平成25年度）の回答者と比較すると、「持家（マンション・共同住宅）」については「横浜市民意識調査」よりも割合が高くなっていますが、「持家（一戸建て）」では割合が低く、「持家」の割合の合計は「横浜市民意識調査」のほうがやや高くなっています。また「持家」以外についてみると、「借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）」では「横浜市民意識調査」よりも割合がやや高く、「民間アパート・民間賃貸マンション」では割合が低くなっています。

なお、「磯子区民意識調査」、及び「横浜市民意識調査」のいずれの結果についても、区民や市民から対象を抽出して調査を行い、回収された調査票の回答結果を示したものであり、それぞれが磯子区と横浜市における住まいの形態の構成比そのものを表しているのではないという点には注意が必要です。

図12 回答者の住まいの形態（n=1,887）【単数回答】



【参考】「横浜市民意識調査」（平成25年度）との比較



《居住地域別にみた回答者の住まいの形態》

回答者の居住形態を居住地域別にみると、図 13 のようになっています。

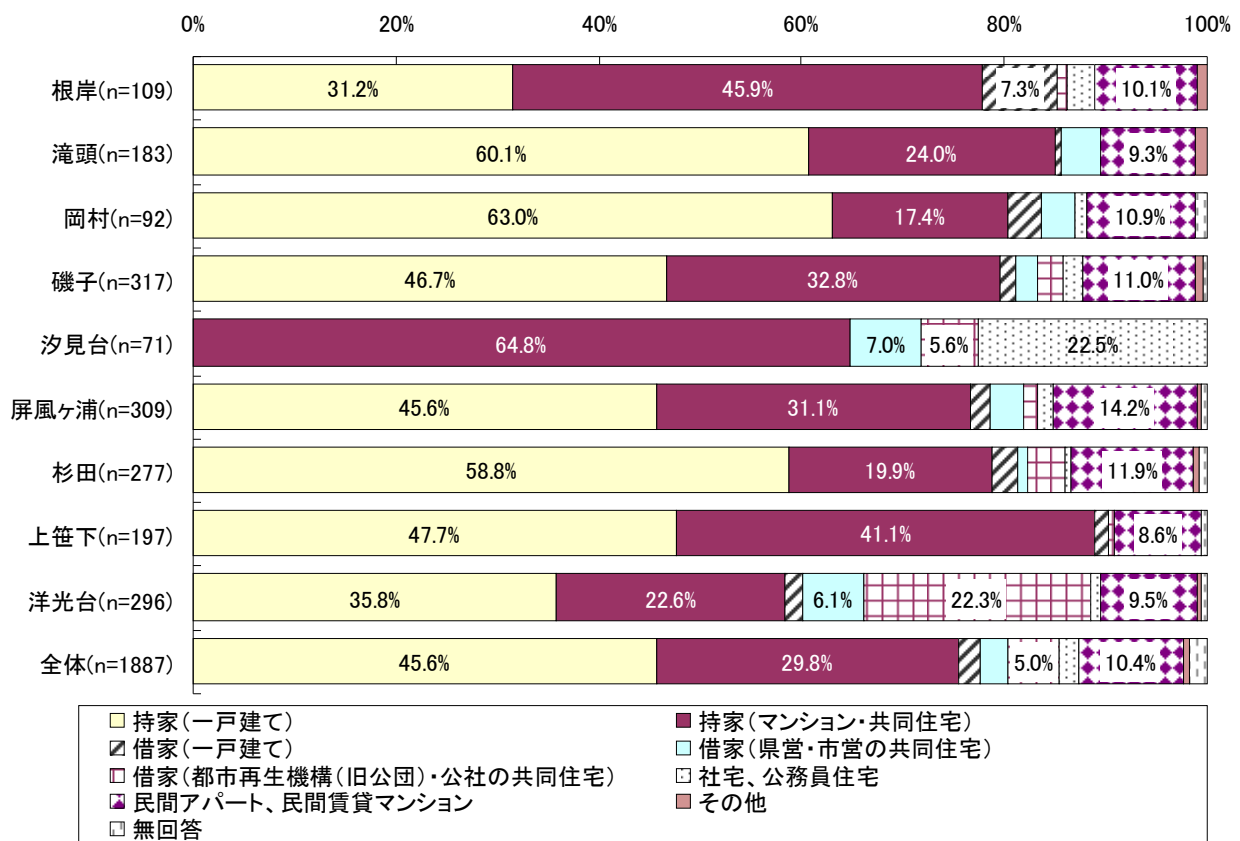
ほとんどの地域で持家（「持家（一戸建て）」+「持家（マンション・共同住宅）」）の割合が 7 割を上回り、全体的に持家にお住まいの方が多くなっています。

一方、洋光台では持家の割合が 58.4%と、他の地域と比べ低くなっており、「借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）」の割合が他の地域と比べて高くなっています。

また、汐見台に居住している回答者は「持家（一戸建て）」がゼロであり、「持家（マンション・共同住宅）」の割合が 64.8%、「社宅・公務員住宅」の割合が 22.5%と他の地域と比べ非常に高くなっています。

住まいの形態には各地域によって異なる特徴がみられますが、中でも洋光台と汐見台は、非常に特徴的な地域となっています。

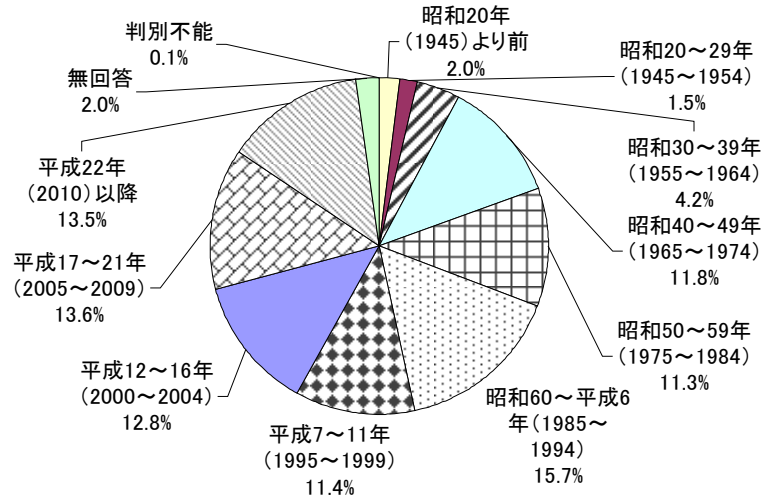
図 13 居住地域別にみた回答者の住まいの形態



(9) F9 今の住まいに組み始めた時期

回答者が今の住まいに組み始めた時期についてたずねたところ、最も多かったのは「昭和 60～平成 6 年 (1985～1994)」が 15.7%、次いで「平成 17～21 年 (2005～2009)」が 13.6%、「平成 22 年 (2010) 以降」が 13.5%となっています。

図 14 回答者が今の住まいに組み始めた時期 (n=1,887) 【単数回答】

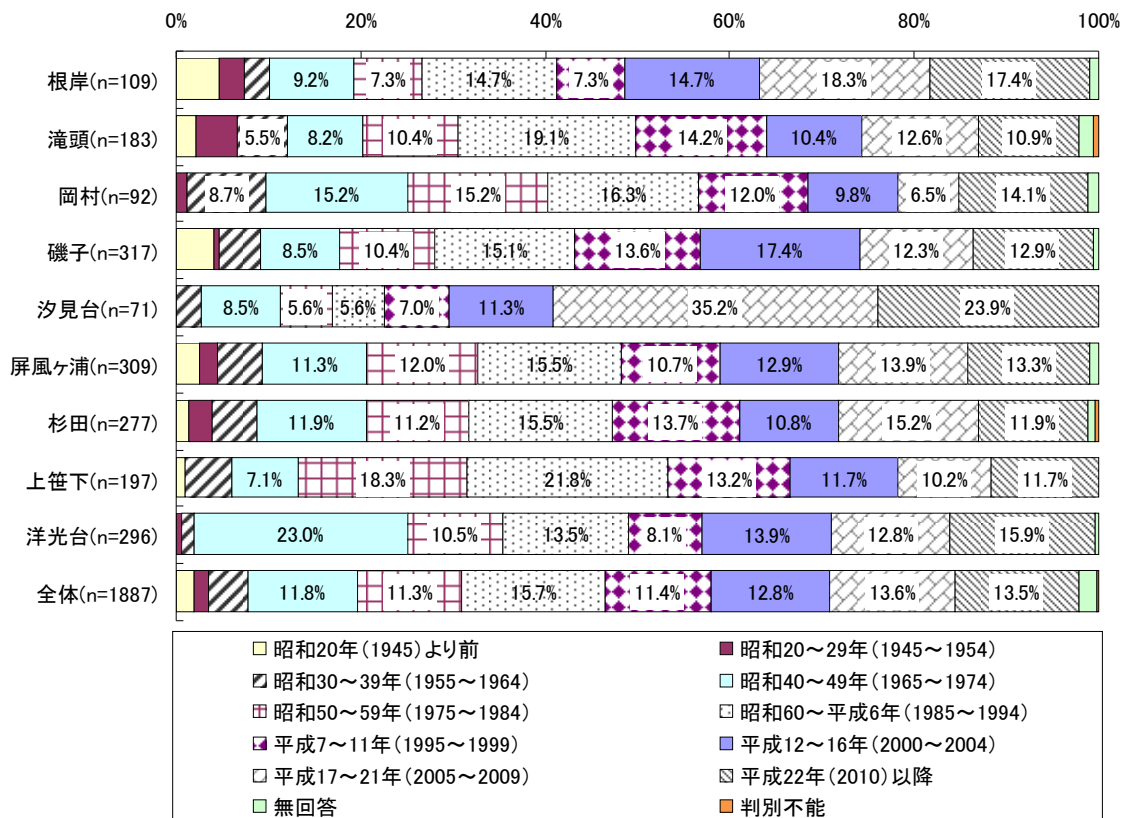


《居住地域別にみた回答者が今の住まいに組み始めた時期》

回答者が今の住まいに組み始めた時期を居住地域別にみると、図 15 のようになっています。

汐見台では平成 17 年 (2005 年) 以降に住み始めた方が約 6 割となっており、他の地域に比べ、現在の住まいに住んでからの期間が短い方が多いという特徴がみられます。

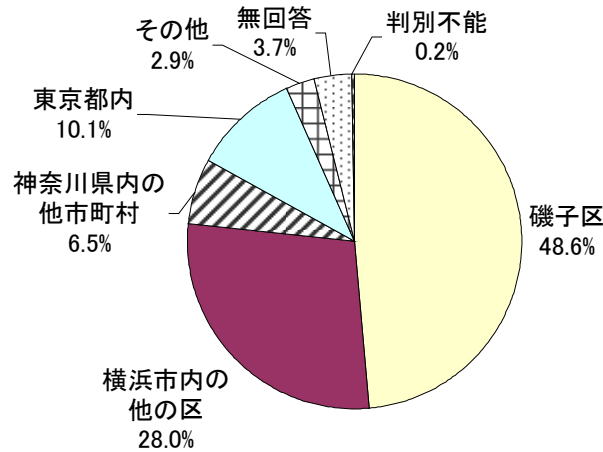
図 15 居住地域別にみた回答者が今の住まいに組み始めた時期



(10) F10 通勤・通学先

回答者の通勤・通学先（通勤・通学していない方については、日常生活を主に過ごす場所）についてたずねたところ、最も多かったのは「磯子区」で48.6%、次いで「横浜市内の他の区」が28.0%、「東京都内」が10.1%となっています。

図 16 回答者の通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所（n=1,887）【単数回答】



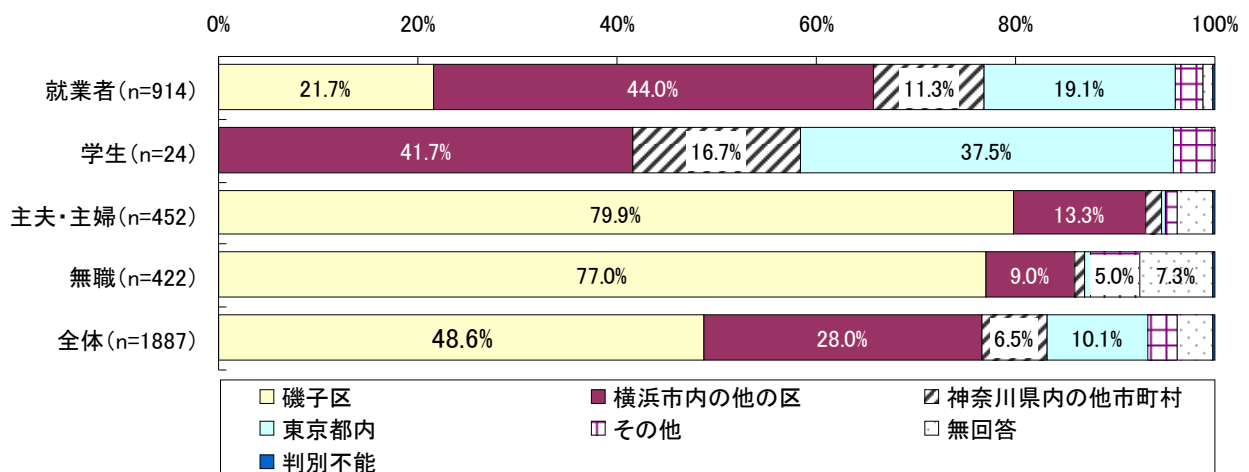
《職業別にみた通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所》

F6において、何らかの職について働いていると回答した方を「就業者」とし、通勤・通学先（通勤・通学していない方については、日常生活を主に過ごす場所）を職業別にみると、図 17 のようになっています。

「就業者」の通勤先は「横浜市内の他の区」が4割程度となっており、最も割合が高くなっています。また、「磯子区」の割合が21.7%であり、本調査の回答者については、区内で働いている方が「東京都内」と同程度の割合となっていることがわかります。

なお、「主夫・主婦」や「無職」の方の、日常生活を主に過ごす場所としては、「磯子区」が約8割となっています。

図 17 職業別にみた通勤・通学先、または日常生活を主に過ごす場所



(11) F11 普段利用している鉄道駅・鉄道駅までの交通手段

回答者が普段利用している鉄道駅（最も利用頻度の高い駅）についてたずねたところ、最も多かったのは「洋光台駅」で20.3%、次いで「磯子駅」が15.7%、「根岸駅」が14.8%となっています。

一方、「普段、鉄道を利用しない」という方は7.5%でした。

【F11-1 鉄道駅までの交通手段】

普段、鉄道を利用していると回答した方に対し、利用している鉄道駅までの交通手段についてたずねたところ、最も多かったのは「徒歩のみ」で52.1%、次いで「バス」が24.6%となっています。

図 18 回答者が普段利用している鉄道駅（n=1,887）【単数回答】

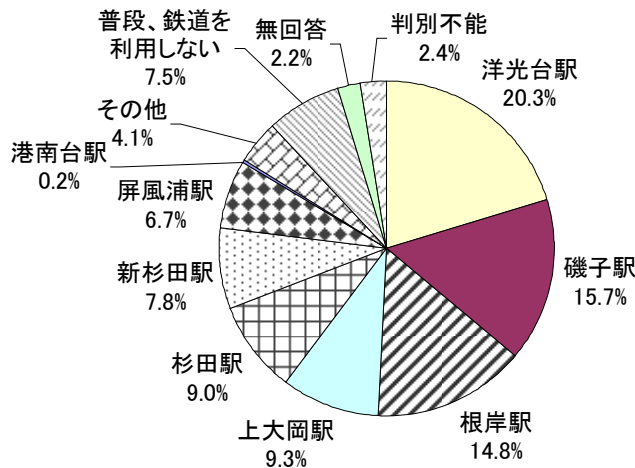
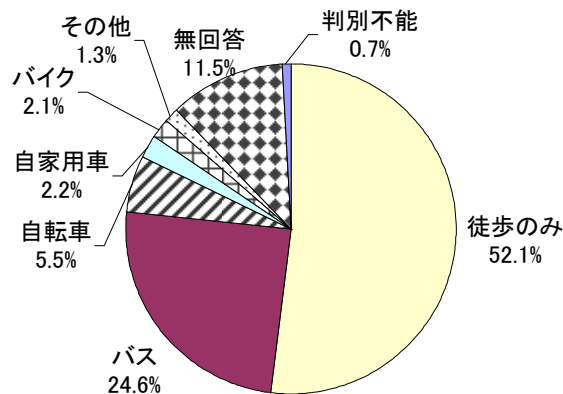


図 19 回答者の鉄道駅までの交通手段（n=1,659）【単数回答】



※F11-1については、F11における「普段、鉄道を利用しない」・「無回答」・「判別不能」以外の方を対象とした設問となっています。

2. 普段の生活のことや磯子区の魅力について

(1) 問1 現在の生活に対する満足度

現在の自分の生活に対する満足度は、「満足しているほう」が17.9%、「まあ満足しているほう」が47.5%、「どちらともいえない」が15.7%、「やや不満があるほう」が8.7%、「不満があるほう」が7.4%となっています。

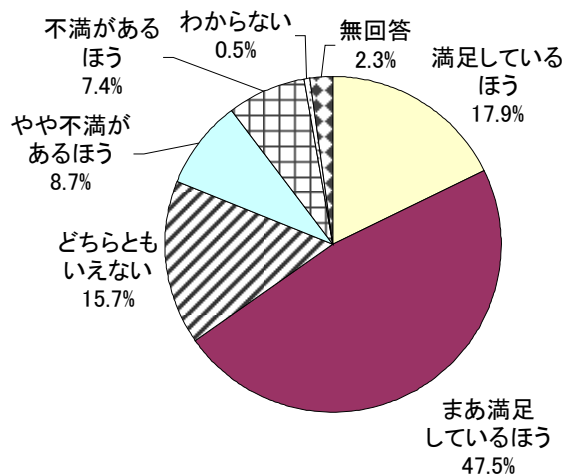
《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」等との比較》

「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」（平成16年度）や「磯子区民意識調査」（平成23年度）の回答と比較すると、「満足しているほう」や「まあ満足しているほう」の割合が高くなっており、満足度が高まっているようすがみられます。

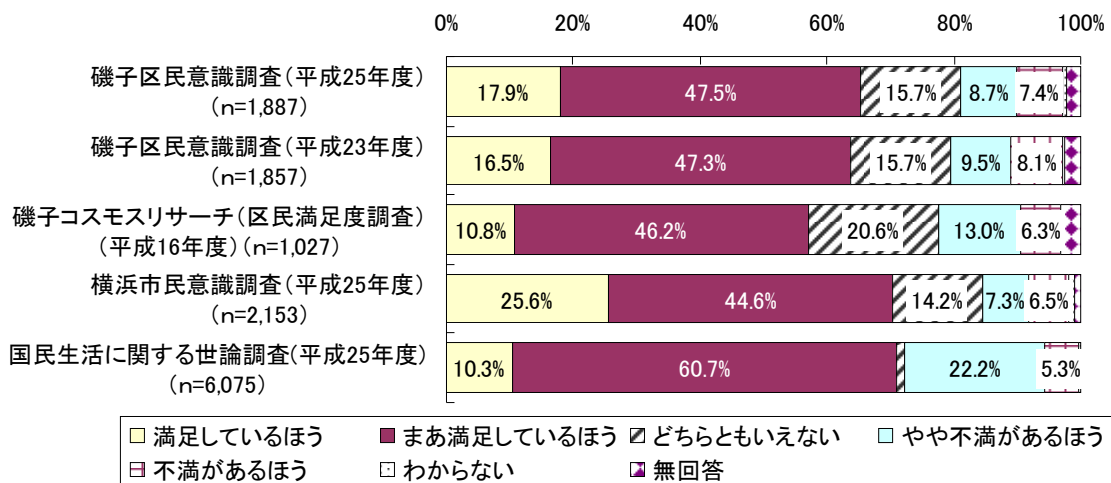
横浜市全体と磯子区の満足度を比較するため、「横浜市民意識調査」（平成25年度）をみると、「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計、「満足しているほう」の割合ともに横浜市より低くなっており、「満足しているほう」の割合は7.7ポイント低くなっています。

なお、「国民生活に関する世論調査」（平成25年度、内閣府）と比較すると、「満足しているほう」と「まあ満足している」の割合の合計が低く、全国と比べて満足度が低いことがうかがえます。

図20 現在の生活に対する満足度（n=1,887）【単数回答】



【参考】過去の「磯子区民意識調査」、「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」、及び「横浜市民意識調査」等との比較



※磯子コスモスリサーチには、「わからない」という選択肢はありませんでした。

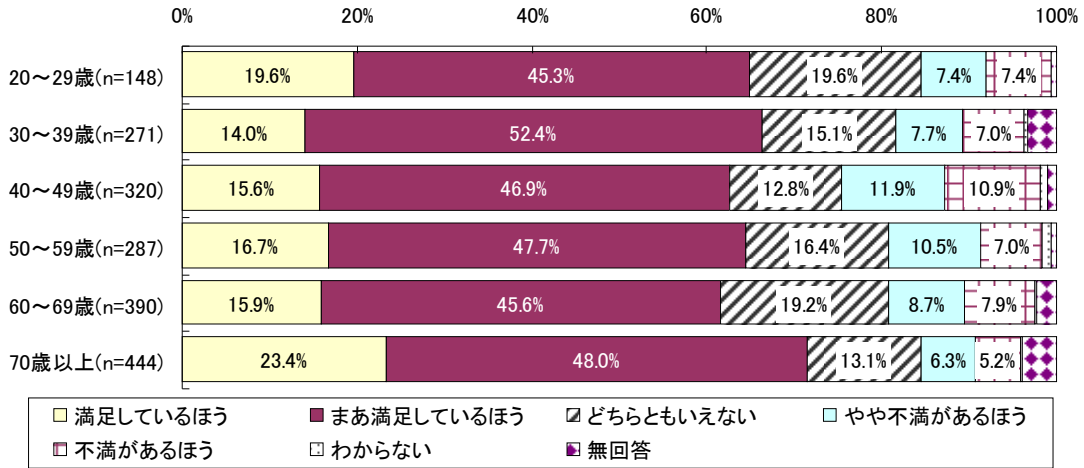
※「国民生活に関する世論調査」では、「満足している」・「まあ満足している」・「どちらともいえない」・「やや不満だ」・「不満だ」・「わからない」という選択肢が用いられています。

《年齢層別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の生活に対する満足度を年齢層別にみると、図 21 のようになっています。

「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計をみると、いずれの年代でも 6 割を超えています。また「70 歳以上」が最も高く、71.4%となっています。また「70 歳以上」においては、約 4 分の 1 の方が「満足しているほう」と回答しており、他の年齢層と比べ割合が高くなっています。

図 21 年齢層別にみた現在の生活に対する満足度

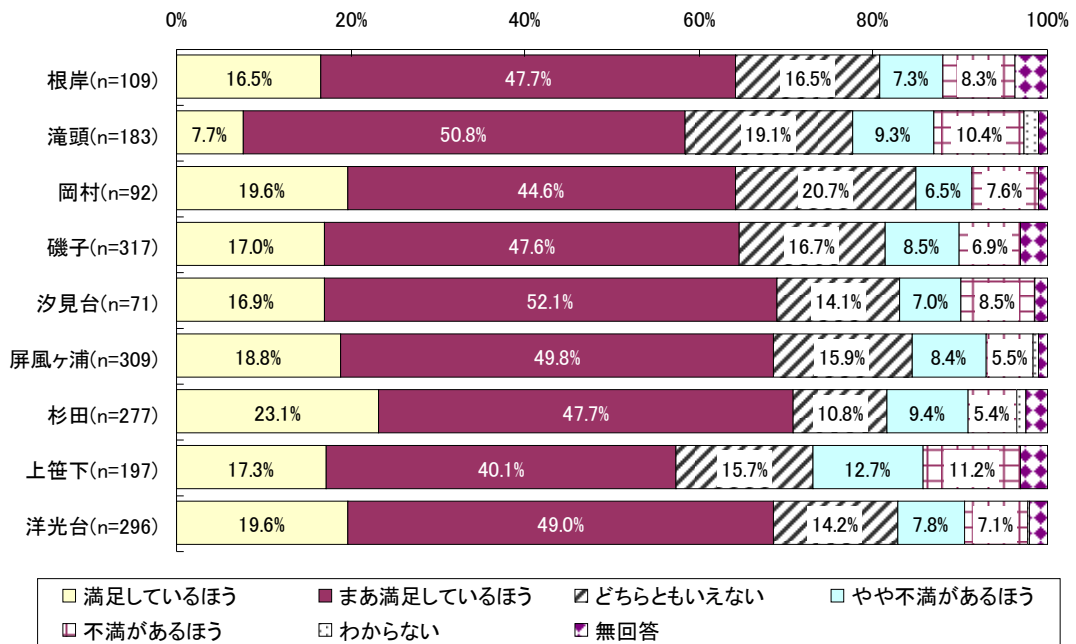


《居住地域別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の生活に対する満足度を居住地域別にみると、滝頭、上笹下を除く地域では「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の割合の合計が 6 割を超えており、特に杉田では「満足しているほう」の割合が 23.1%と、全地域中で最も高くなっています。

一方、滝頭、上笹下では「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の合計が他の地域と比べて低くなっており、特に滝頭では「満足しているほう」の割合が 7.7%と、最も低くなっています。

図 22 居住地域別にみた現在の生活に対する満足度

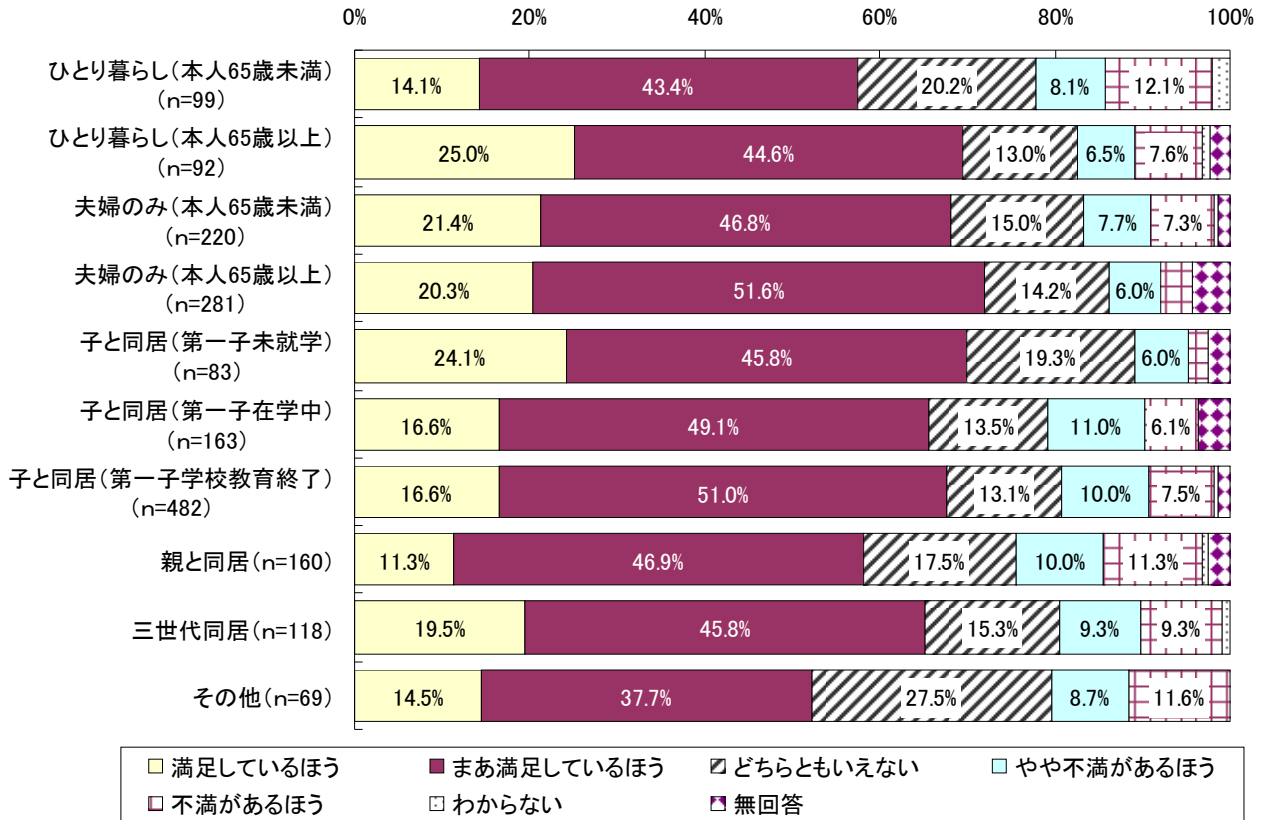


《世帯類型別にみた現在の生活に対する満足度》

現在の生活に対する満足度を世帯類型別にみると、「ひとり暮らし（本人 65 歳未満）」、「親と同居」、「その他」では「満足しているほう」と「まあ満足しているほう」の割合の合計が低くなっています。

「子と同居」の世帯についてみると、「子と同居（第一子未就学）」では 24.1%が「満足しているほう」と回答しているのに対し、「子と同居（第一子在学中）」と「子と同居（第一子学校教育終了）」ではともに 16.6%となっており、「子と同居（第一子未就学）」と比べて割合が低くなっています。

図 23 世帯類型別にみた現在の生活に対する満足度



(2) 問2 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて、あてはまる項目を3つまで挙げてもらったところ、「自分の病気や老後のこと」が48.5%と最も多く、次いで「家族の健康や生活上の問題」が37.7%、「景気や生活費のこと」が36.0%となっており、これらの3項目については多くの方が心配ごと・困っていることとして挙げています。

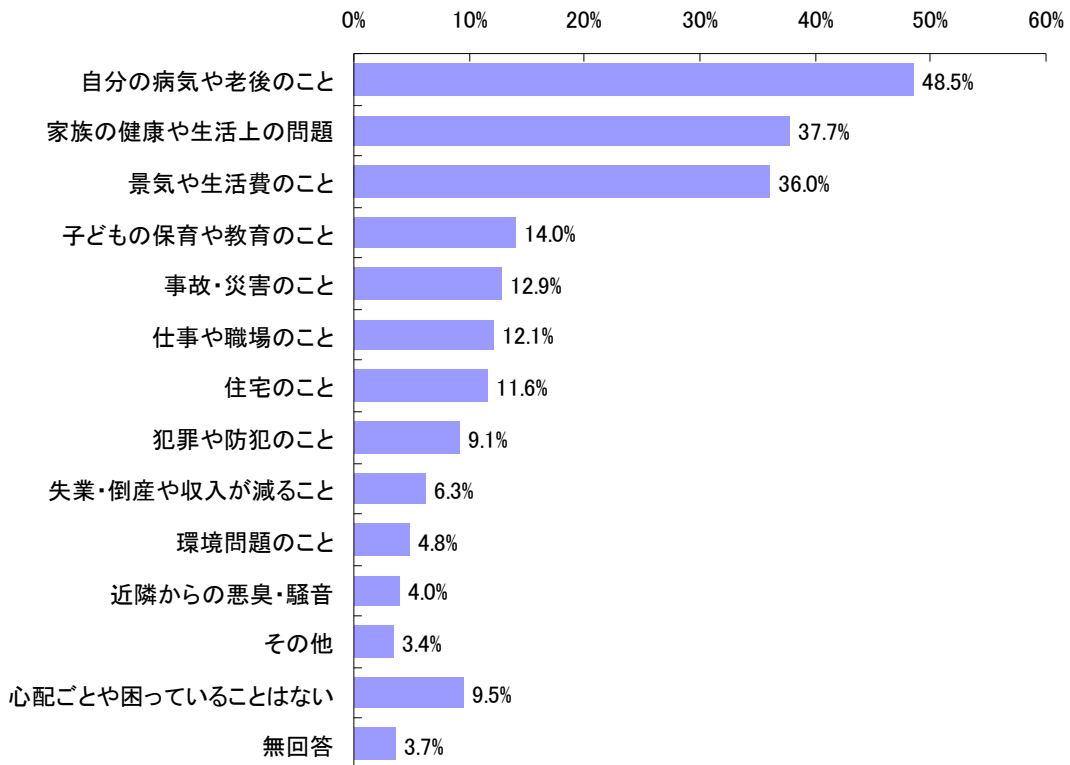
《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」等との比較》

「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」（平成16年度）における同様の設問の回答と比較すると、今回の調査では「環境問題のこと」、「犯罪や防犯のこと」、「失業・倒産や収入が減ること」、「住宅のこと」のように割合が低くなっている項目がみられる一方、「景気や生活費のこと」のように平成16年度よりも割合が高くなっているものもみられます。

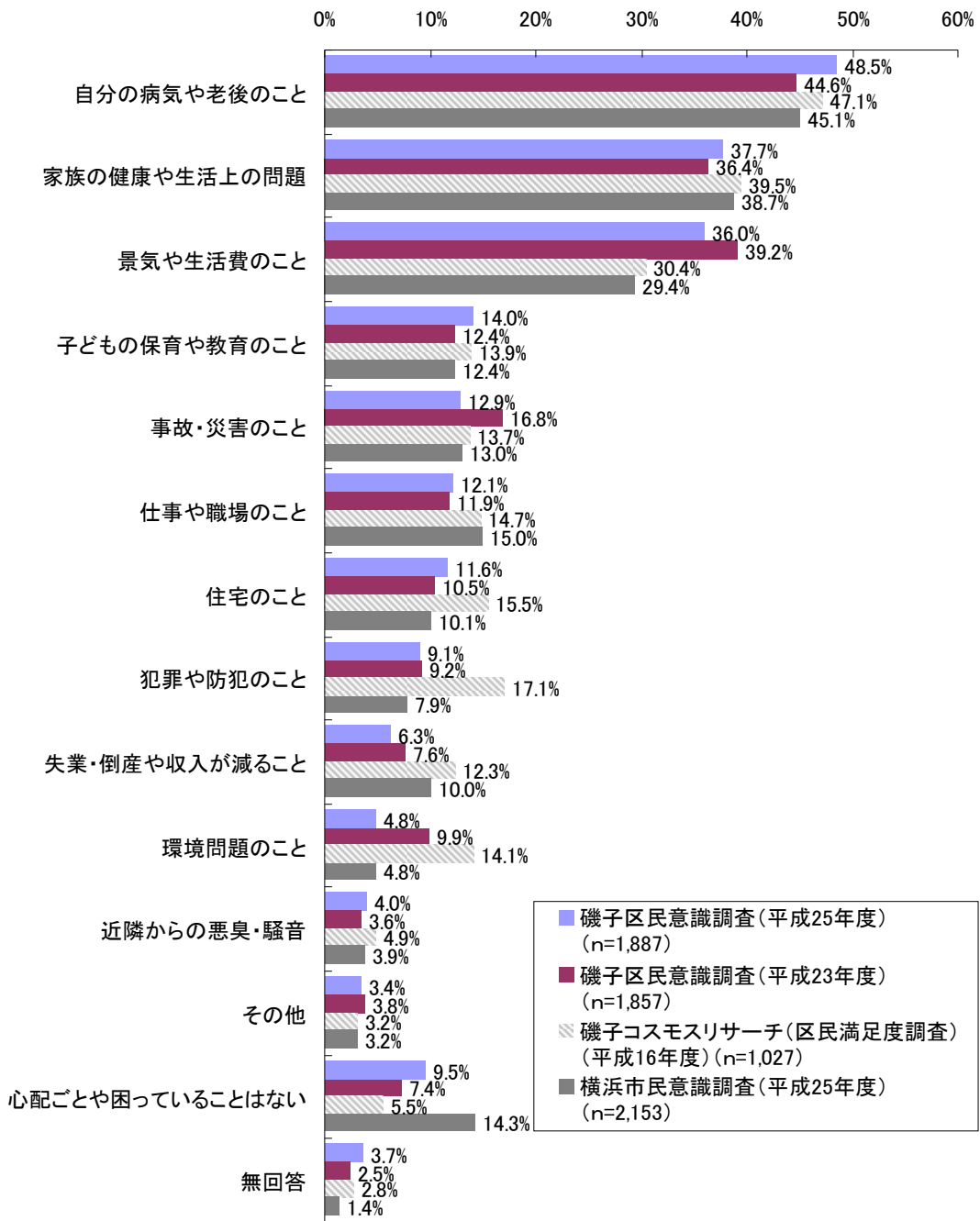
「磯子区民意識調査」（平成23年度）の結果と比較すると、今回の調査では、「自分の病気や老後のこと」等で割合が高くなっており、一方で「環境問題のこと」、「事故・災害のこと」、「景気や生活費のこと」等では割合が低くなっています。

「横浜市民意識調査」（平成25年度）における同様の設問の結果と比較すると、「景気や生活費のこと」の割合が6.6ポイント高く、他の項目と比べて差が大きくなっています。なお、「心配ごとや困っていることはない」の割合をみると、「横浜市民意識調査」よりも4.8ポイント低くなっています。

図24 自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること（n=1,887）【複数回答（3つまで）】



【参考】過去の「磯子区民意識調査」、「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」、
及び「横浜市民意識調査」との比較



《年齢層別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて年齢層別にみると、表2のようになっています。

「自分の病気や老後のこと」は年齢が高くなるほど割合が高まる傾向があり、逆に「仕事や職場のこと」では年齢が低いほうが割合が高くなっています。

また、「子どもの保育や教育のこと」は25～54歳の間で特に割合が高くなっているなど、一部の項目については、年齢と「心配ごとや困っていること」として挙げられている割合の間に関連性がみられます。

表2 年齢層別に見た自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気 や老後の こと	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	犯罪や防犯 のこと
20～24歳(n=59)	30.5%	37.3%	35.6%	5.1%	27.1%	5.1%	10.2%
25～29歳(n=89)	30.3%	41.6%	37.1%	12.4%	31.5%	11.2%	14.6%
30～34歳(n=116)	34.5%	43.1%	27.6%	34.5%	23.3%	7.8%	8.6%
35～39歳(n=155)	32.9%	44.5%	29.7%	41.9%	15.5%	10.3%	13.5%
40～44歳(n=176)	37.5%	39.8%	32.4%	33.0%	19.9%	8.5%	10.2%
45～49歳(n=144)	31.3%	40.3%	36.8%	25.7%	13.2%	11.1%	9.7%
50～54歳(n=137)	46.0%	35.0%	43.1%	15.3%	17.5%	2.2%	10.2%
55～59歳(n=150)	54.0%	31.3%	42.0%	7.3%	16.7%	3.3%	9.3%
60～64歳(n=191)	56.0%	38.7%	44.0%	3.7%	4.7%	8.4%	7.3%
65～69歳(n=199)	63.3%	34.2%	41.2%	2.0%	4.5%	5.5%	4.0%
70～74歳(n=175)	56.0%	30.9%	40.0%	0.6%	4.6%	3.4%	8.0%
75歳以上(n=269)	67.3%	27.1%	38.7%	1.5%	1.1%	2.6%	8.9%
	住宅のこと	事故・災害 のこと	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
20～24歳(n=59)	10.2%	16.9%	3.4%	0.0%	1.7%	11.9%	3.4%
25～29歳(n=89)	12.4%	11.2%	9.0%	4.5%	1.1%	6.7%	5.6%
30～34歳(n=116)	12.1%	9.5%	3.4%	2.6%	3.4%	5.2%	1.7%
35～39歳(n=155)	14.2%	13.5%	3.9%	6.5%	0.6%	9.0%	1.3%
40～44歳(n=176)	9.7%	10.8%	4.5%	2.3%	2.3%	8.0%	4.0%
45～49歳(n=144)	8.3%	5.6%	4.2%	2.8%	2.1%	12.5%	5.6%
50～54歳(n=137)	10.2%	10.9%	1.5%	5.8%	2.2%	10.2%	3.6%
55～59歳(n=150)	14.7%	8.0%	5.3%	6.0%	3.3%	9.3%	2.0%
60～64歳(n=191)	14.1%	16.8%	4.7%	3.1%	5.2%	7.3%	2.6%
65～69歳(n=199)	11.1%	16.6%	4.5%	2.0%	6.0%	7.0%	4.0%
70～74歳(n=175)	12.0%	14.3%	7.4%	6.9%	2.9%	12.6%	4.0%
75歳以上(n=269)	9.7%	15.2%	5.2%	3.7%	5.2%	12.6%	4.8%

 : 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《居住地域別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて居住地域別にみると、表3のようになっています。

汐見台では他の地域と比べて「自分の病気や老後のこと」の割合が38.0%と低く、「子どもの保育や教育のこと」や「仕事や職場のこと」の割合が高くなっているなど、他の地域とは異なった傾向がみられます。

表3 居住地域別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

	自分の病気 や老後の こと	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	犯罪や防犯 のこと
根岸(n=109)	46.8%	33.9%	37.6%	13.8%	13.8%	8.3%	7.3%
滝頭(n=183)	49.7%	33.9%	39.9%	13.1%	16.9%	7.1%	7.1%
岡村(n=92)	48.9%	37.0%	37.0%	9.8%	14.1%	8.7%	3.3%
磯子(n=317)	47.9%	36.3%	36.3%	15.5%	12.9%	5.4%	10.7%
汐見台(n=71)	38.0%	33.8%	33.8%	23.9%	18.3%	2.8%	5.6%
屏風ヶ浦(n=309)	49.5%	38.8%	35.3%	13.9%	12.9%	6.8%	11.3%
杉田(n=277)	50.5%	32.9%	41.2%	13.7%	7.6%	4.0%	10.8%
上笹下(n=197)	46.7%	42.6%	44.2%	15.7%	8.1%	7.1%	8.6%
洋光台(n=296)	49.7%	34.1%	34.8%	12.5%	12.5%	6.8%	9.1%
	住宅のこと	事故・災害 のこと	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
根岸(n=109)	5.5%	11.9%	8.3%	3.7%	3.7%	8.3%	2.8%
滝頭(n=183)	10.9%	13.7%	3.8%	2.7%	1.1%	8.7%	3.3%
岡村(n=92)	16.3%	14.1%	1.1%	3.3%	4.3%	10.9%	4.3%
磯子(n=317)	10.4%	15.1%	6.6%	5.7%	2.2%	11.0%	2.5%
汐見台(n=71)	15.5%	8.5%	2.8%	4.2%	7.0%	8.5%	4.2%
屏風ヶ浦(n=309)	10.7%	15.5%	5.5%	3.2%	2.9%	9.1%	2.6%
杉田(n=277)	8.7%	10.1%	4.7%	5.4%	4.7%	10.5%	4.7%
上笹下(n=197)	14.2%	8.6%	4.1%	3.6%	5.1%	6.1%	4.1%
洋光台(n=296)	14.5%	12.5%	3.7%	3.7%	3.0%	10.8%	4.1%

☐: 他の地域と比較して顕著な特徴の見られる部分

《世帯類型別にみた心配ごと、困っていること》

自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていることについて世帯類型別にみると、表4のようになっています。

最も割合が高かった項目は、「子と同居（第一子未就学）」や「子と同居（第一子在学中）」では「子どもの保育や教育のこと」、「三世帯同居」では「家族の健康や生活上の問題」、それ以外の世帯類型では「自身の病気や老後のこと」となっています。

なお、「心配ごとや困っていることはない」については、「ひとり暮らし（65歳以上）」が18.5%と、他の世帯類型と比べて割合が最も高くなっています。

表4 世帯類型別にみた自身や家族の生活のことでの心配ごとや困っていること

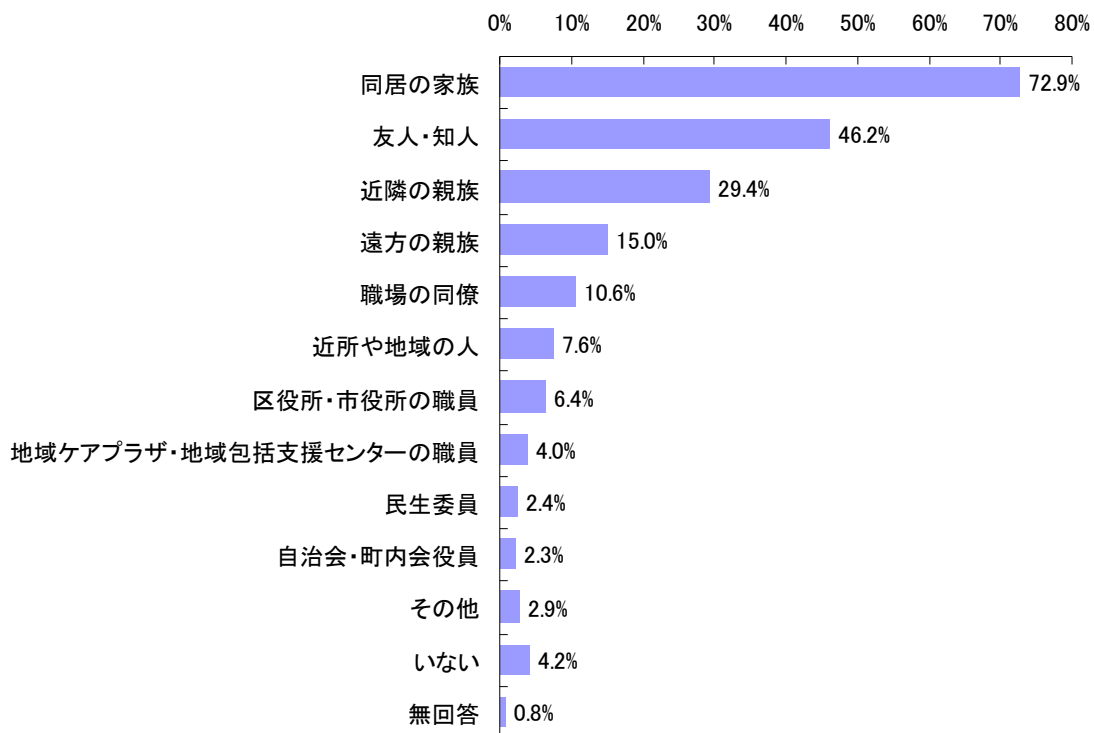
	自分の病気 や老後の こと	景気や生活 費のこと	家族の健康 や生活上の 問題	子どもの保 育や教育の こと	仕事や職場 のこと	失業・倒産 や収入が減 ること	犯罪や防犯 のこと
ひとり暮らし（本人65歳未満）（n=99）	51.5%	38.4%	27.3%	2.0%	34.3%	8.1%	6.1%
ひとり暮らし（本人65歳以上）（n=92）	70.7%	29.3%	9.8%	0.0%	0.0%	2.2%	7.6%
夫婦のみ（本人65歳未満）（n=220）	45.0%	35.5%	38.2%	7.7%	11.8%	6.4%	9.5%
夫婦のみ（本人65歳以上）（n=281）	66.2%	31.0%	42.3%	1.1%	2.1%	2.1%	6.8%
子と同居（第一子未就学）（n=83）	19.3%	39.8%	20.5%	63.9%	15.7%	6.0%	13.3%
子と同居（第一子在学中）（n=163）	27.6%	38.0%	29.4%	45.4%	13.5%	3.1%	12.3%
子と同居（第一子学校教育終了）（n=482）	47.7%	34.9%	44.0%	14.7%	7.7%	7.3%	9.3%
親と同居（n=160）	46.9%	38.1%	41.9%	3.1%	33.8%	13.8%	11.3%
三世帯同居（n=118）	42.4%	43.2%	47.5%	20.3%	11.0%	6.8%	11.9%
その他（n=69）	49.3%	44.9%	43.5%	14.5%	17.4%	8.7%	4.3%
	住宅のこと	事故・災害 のこと	環境問題の こと	近隣からの 悪臭・騒音	その他	心配ごとや 困っている ことはない	無回答
ひとり暮らし（本人65歳未満）（n=99）	12.1%	9.1%	5.1%	6.1%	2.0%	7.1%	4.0%
ひとり暮らし（本人65歳以上）（n=92）	14.1%	15.2%	7.6%	2.2%	3.3%	18.5%	2.2%
夫婦のみ（本人65歳未満）（n=220）	11.8%	12.3%	4.5%	7.7%	3.6%	10.5%	2.3%
夫婦のみ（本人65歳以上）（n=281）	10.0%	13.9%	5.7%	6.4%	5.0%	10.3%	4.6%
子と同居（第一子未就学）（n=83）	13.3%	16.9%	6.0%	6.0%	2.4%	4.8%	6.0%
子と同居（第一子在学中）（n=163）	11.0%	10.4%	2.5%	2.5%	1.8%	9.8%	4.3%
子と同居（第一子学校教育終了）（n=482）	12.0%	12.2%	4.4%	2.9%	3.9%	9.3%	3.1%
親と同居（n=160）	11.9%	10.0%	3.8%	1.9%	1.9%	7.5%	2.5%
三世帯同居（n=118）	7.6%	12.7%	5.1%	0.8%	3.4%	8.5%	4.2%
その他（n=69）	13.0%	14.5%	8.7%	4.3%	2.9%	7.2%	4.3%

◻◻◻◻: 他の世帯類型と比較して顕著な特徴の見られる部分

(3) 問3 日常生活で困ったことの相談相手

日常生活で困ったことが起きたときに、誰に相談しているかについて、複数回答形式でたずねたところ、「同居の家族」が72.9%、次いで「友人・知人」が46.2%、「近隣の親族」が29.4%となっています。なお、相談する相手が「いない」と回答した方は4.2%でした。

図 25 日常生活で困ったことの相談相手 (n=1,887) 【複数回答】



《年齢層別にみた日常生活で困ったことの相談相手》

日常生活で困ったことの相談相手について年齢層別にみると、表5のようになっています。

いずれの年齢層でも「同居の家族」が最も多くなっていますが、「友人・知人」は若い年齢層で割合が高く、特に「20～24歳」においては72.9%となっています。

また「75歳以上」については、「同居の家族」の割合が比較的 low、「近所や地域の人」、「区役所・市役所の職員」、「地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員」、「自治会・町内会役員」、「民生委員」について全年齢層の中で最も割合が高くなっているなど、他とは異なった特徴がみられます。

表5 年齢層別にみた日常生活で困ったことの相談相手

	同居の家族	近隣の親族	遠方の親族	友人・知人	職場の同僚	近所や地域の人	自治会・町内会役員
20～24歳(n=59)	79.7%	11.9%	1.7%	72.9%	11.9%	3.4%	1.7%
25～29歳(n=89)	67.4%	18.0%	16.9%	56.2%	28.1%	2.2%	0.0%
30～34歳(n=116)	74.1%	27.6%	19.8%	65.5%	20.7%	6.9%	0.0%
35～39歳(n=155)	83.2%	30.3%	16.1%	61.9%	10.3%	5.2%	0.0%
40～44歳(n=176)	73.3%	39.8%	16.5%	53.4%	17.0%	7.4%	1.1%
45～49歳(n=144)	73.6%	32.6%	12.5%	47.9%	22.9%	4.2%	1.4%
50～54歳(n=137)	80.3%	28.5%	13.9%	55.5%	13.9%	10.2%	2.9%
55～59歳(n=150)	76.7%	21.3%	14.0%	47.3%	14.7%	8.7%	0.7%
60～64歳(n=191)	75.9%	25.7%	12.0%	41.9%	7.9%	5.2%	0.5%
65～69歳(n=199)	71.9%	26.1%	17.1%	40.7%	2.5%	8.0%	1.5%
70～74歳(n=175)	76.0%	25.7%	17.1%	34.3%	0.0%	6.3%	3.4%
75歳以上(n=269)	58.4%	39.8%	15.2%	24.9%	0.7%	14.5%	8.6%
	民生委員	区役所・市役所の職員	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	いない	その他	無回答	
20～24歳(n=59)	0.0%	5.1%	3.4%	6.8%	0.0%	0.0%	
25～29歳(n=89)	0.0%	1.1%	1.1%	4.5%	1.1%	0.0%	
30～34歳(n=116)	0.0%	1.7%	0.0%	5.2%	1.7%	0.0%	
35～39歳(n=155)	0.0%	1.9%	0.6%	3.2%	1.3%	1.3%	
40～44歳(n=176)	1.1%	4.0%	1.1%	2.8%	1.7%	0.6%	
45～49歳(n=144)	0.7%	3.5%	0.7%	4.9%	4.2%	1.4%	
50～54歳(n=137)	1.5%	7.3%	3.6%	2.9%	4.4%	1.5%	
55～59歳(n=150)	1.3%	2.0%	2.7%	6.7%	1.3%	0.0%	
60～64歳(n=191)	0.5%	6.8%	3.1%	6.3%	1.6%	0.5%	
65～69歳(n=199)	3.0%	8.5%	5.5%	2.5%	3.0%	0.0%	
70～74歳(n=175)	4.0%	11.4%	4.0%	4.6%	4.6%	2.3%	
75歳以上(n=269)	7.8%	13.4%	12.3%	3.3%	5.2%	1.1%	

 : 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《世帯類型別にみた日常生活で困ったことの相談相手》

日常生活で困ったことの相談相手について世帯類型別にみると、表6のようになっています。

「ひとり暮らし」以外の世帯では7割～9割の方が「同居の家族」を挙げており、いずれの世帯類型においても最も割合が高くなっています。

一方、「ひとり暮らし」の世帯については、「ひとり暮らし(65歳未満)」では「職場の同僚」が27.3%、「ひとり暮らし(65歳以上)」では「近所や地域の人」の割合が20.7%であり、いずれも他の世帯類型と比べて顕著に割合が高くなっています。

表6 世帯類型別にみた日常生活で困ったことの相談相手

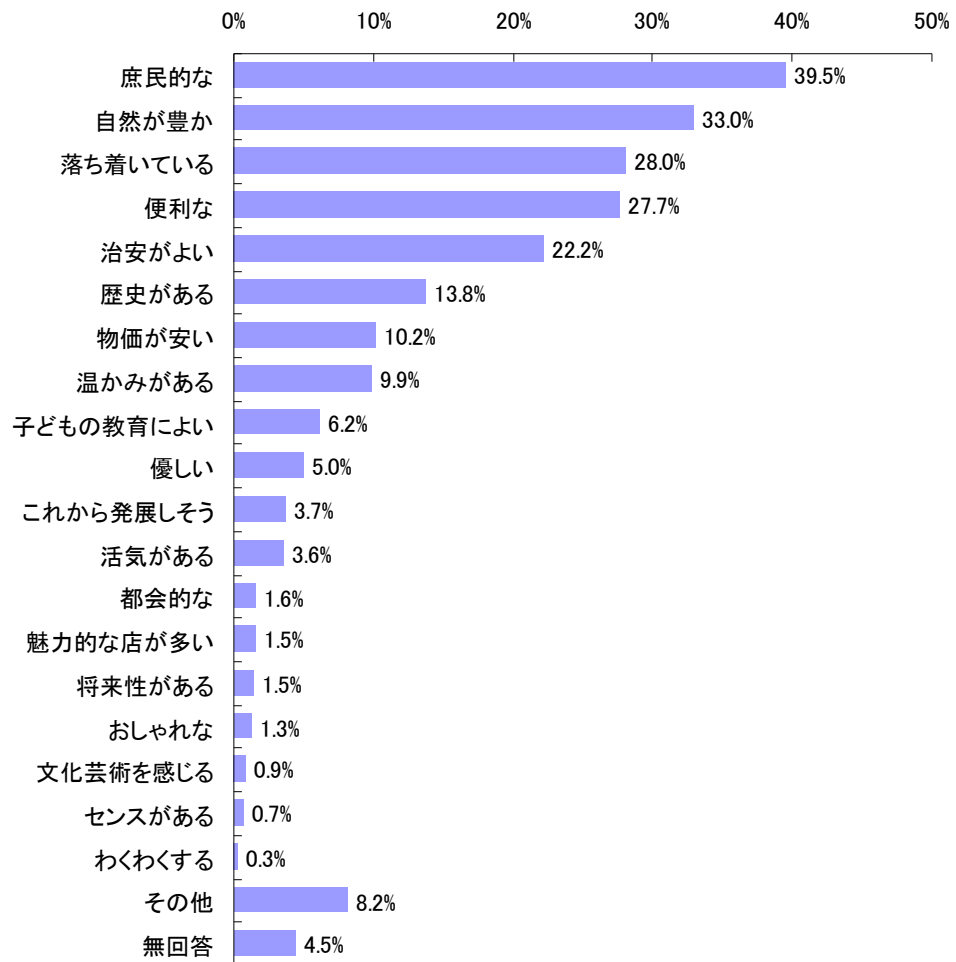
	同居の家族	近隣の親族	遠方の親族	友人・知人	職場の同僚	近所や地域の人	自治会・町内会役員
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=99)	11.1%	27.3%	28.3%	61.6%	27.3%	4.0%	0.0%
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=92)	8.7%	47.8%	20.7%	37.0%	0.0%	20.7%	4.3%
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=220)	84.1%	29.5%	12.3%	45.0%	10.9%	4.1%	1.4%
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=281)	71.2%	33.8%	14.9%	29.2%	1.4%	8.9%	5.3%
子と同居(第一子未就学)(n=83)	83.1%	55.4%	21.7%	59.0%	8.4%	9.6%	0.0%
子と同居(第一子在学中)(n=163)	84.7%	43.6%	18.4%	54.6%	14.1%	13.5%	1.8%
子と同居(第一子学校教育終了)(n=482)	84.0%	24.5%	16.6%	44.8%	10.6%	7.9%	2.5%
親と同居(n=160)	78.1%	11.9%	3.8%	58.1%	19.4%	1.3%	0.0%
三世帯同居(n=118)	87.3%	20.3%	6.8%	55.9%	11.9%	6.8%	4.2%
その他(n=69)	69.6%	21.7%	17.4%	43.5%	13.0%	4.3%	0.0%
	民生委員	区役所・市役所の職員	地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員	いない	その他	無回答	
ひとり暮らし(本人65歳未満)(n=99)	0.0%	3.0%	1.0%	8.1%	5.1%	0.0%	
ひとり暮らし(本人65歳以上)(n=92)	12.0%	16.3%	5.4%	3.3%	9.8%	1.1%	
夫婦のみ(本人65歳未満)(n=220)	0.5%	1.8%	1.4%	2.7%	2.7%	0.9%	
夫婦のみ(本人65歳以上)(n=281)	3.9%	12.5%	9.6%	4.3%	3.9%	1.1%	
子と同居(第一子未就学)(n=83)	0.0%	3.6%	0.0%	2.4%	1.2%	0.0%	
子と同居(第一子在学中)(n=163)	0.0%	4.3%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	
子と同居(第一子学校教育終了)(n=482)	2.3%	6.0%	5.0%	3.7%	2.1%	0.8%	
親と同居(n=160)	0.0%	1.9%	3.1%	7.5%	2.5%	0.6%	
三世帯同居(n=118)	1.7%	7.6%	3.4%	5.1%	3.4%	0.0%	
その他(n=69)	1.4%	7.2%	4.3%	7.2%	1.4%	0.0%	

◻:他の世帯類型と比較して顕著な特徴の見られる部分

(4) 問4 磯子区に対するイメージ

磯子区に対するイメージについて、あてはまると思うものを複数回答形式でたずねたところ、「庶民的な」が39.5%と最も多く、次いで「自然が豊か」が33.0%、「落ち着いた」が28.0%、「便利な」が27.7%となっています。

図 26 磯子区に対するイメージ (n=1,887) 【複数回答】

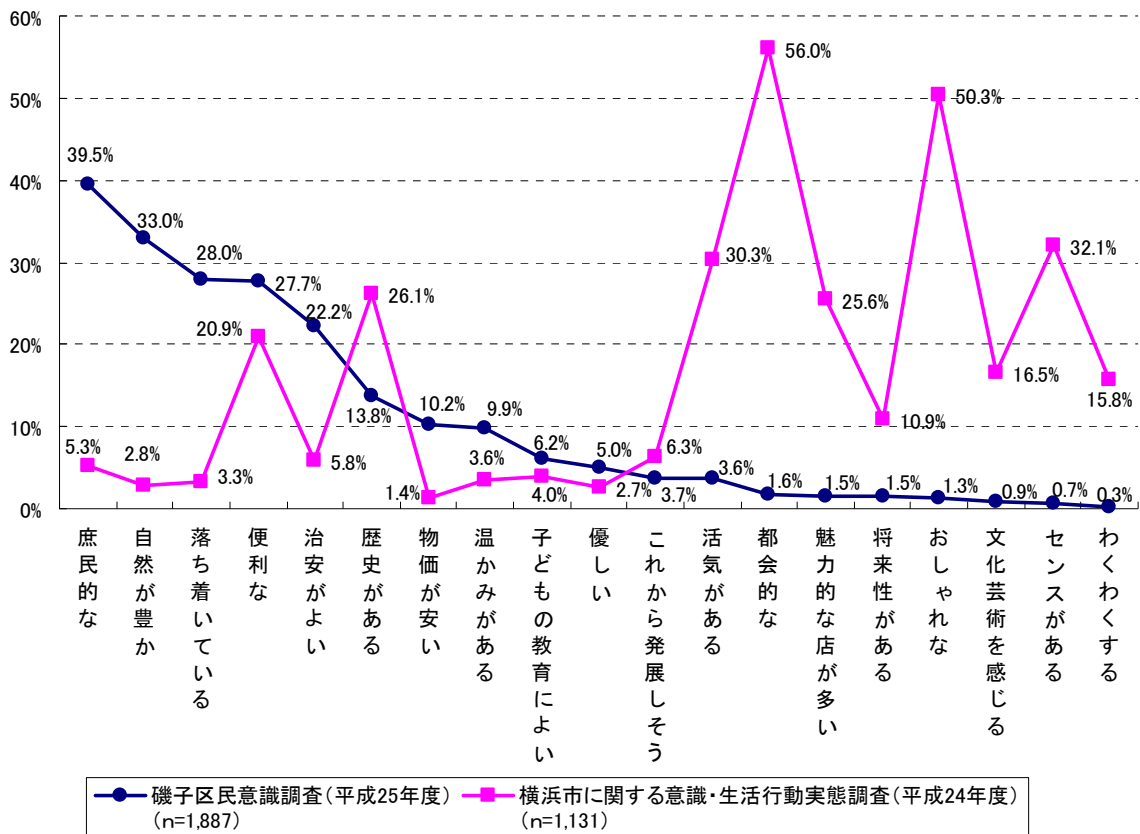


《「横浜市に関する意識・生活行動実態調査」との比較》

本調査では「磯子区に対するイメージ」をたずねていますが、横浜市文化観光局が平成 24 年度に実施した「横浜市に関する意識・生活行動実態調査」では、「横浜市に対するイメージ」につき、同じ選択肢で質問しています。なお、調査方法や調査対象者の抽出方法等が異なるため、調査結果の見方については留意が必要ですが、参考までに両者の結果をひとつのグラフにすると下図のようになります。

「磯子区に対するイメージ」で回答割合の高かった「庶民的な」、「自然が豊か」、「落ち着いた」といった項目は、「横浜市に対するイメージ」では比較的低い値となっています。一方、「都会的な」、「おしゃれな」、「センスがある」、「活気がある」等の項目は、「横浜市に対するイメージ」では高い割合となっていますが、磯子区のイメージとしては高くないなど、それぞれ異なった特徴がみられます。

【参考】「横浜市に関する意識・生活行動実態調査」（平成 24 年度）との比較



※「磯子区民意調査」においては「磯子区に対するイメージ」、「横浜市に関する意識・生活行動実態調査」では「横浜市に対するイメージ」についての質問となっています。

《年齢層別にみた磯子区に対するイメージ》

磯子区に対するイメージについて年齢層別にみると、表7のようになっています。

「物価が安い」や「自然が豊か」という項目では60歳以上の年齢層で割合が高くなっており、また「庶民的な」という項目では60歳以上で割合が低くなっているなど、60歳以上の方と、60歳未満の方では、磯子区に対して抱えているイメージが異なる項目があることがうかがえます。

表7 年齢層別にみた磯子区に対するイメージ

	おしゃれな	活気がある	センスがある	都会的な	治安がよい	子どもの教育に良い
20～29歳(n=148)	1.4%	4.1%	0.0%	2.7%	23.0%	10.8%
30～39歳(n=271)	0.7%	3.7%	0.0%	0.7%	14.8%	8.1%
40～49歳(n=320)	0.6%	3.4%	0.6%	0.6%	20.0%	8.1%
50～59歳(n=287)	1.7%	3.1%	0.3%	1.7%	16.4%	2.8%
60～69歳(n=390)	0.5%	2.6%	1.0%	1.3%	25.1%	4.6%
70歳以上(n=444)	2.7%	4.7%	1.1%	2.7%	29.1%	5.6%
	物価が安い	わくわくする	将来性がある	優しい	温かみがある	魅力的な店が多い
20～29歳(n=148)	5.4%	0.7%	1.4%	4.7%	12.2%	1.4%
30～39歳(n=271)	4.4%	0.0%	2.2%	4.4%	10.7%	0.7%
40～49歳(n=320)	6.9%	0.0%	1.6%	5.6%	10.6%	2.2%
50～59歳(n=287)	8.7%	0.7%	0.0%	5.2%	11.8%	2.1%
60～69歳(n=390)	14.9%	0.0%	1.8%	4.6%	8.2%	0.3%
70歳以上(n=444)	14.9%	0.5%	1.6%	4.7%	8.8%	2.0%
	これから発展しそう	便利な	庶民的な	落ち着いた	自然が豊か	文化芸術を感じる
20～29歳(n=148)	4.1%	22.3%	50.7%	34.5%	28.4%	0.0%
30～39歳(n=271)	3.7%	21.4%	49.4%	28.0%	26.6%	0.7%
40～49歳(n=320)	2.8%	27.2%	45.9%	24.1%	31.6%	0.6%
50～59歳(n=287)	3.1%	28.6%	45.6%	26.5%	31.0%	1.0%
60～69歳(n=390)	2.3%	30.0%	32.8%	28.5%	37.2%	0.8%
70歳以上(n=444)	5.9%	31.3%	27.7%	30.4%	37.6%	1.6%
	歴史がある	その他	無回答			
20～29歳(n=148)	8.1%	8.1%	1.4%			
30～39歳(n=271)	10.0%	12.2%	3.7%			
40～49歳(n=320)	15.3%	9.7%	3.4%			
50～59歳(n=287)	10.5%	9.4%	2.8%			
60～69歳(n=390)	15.1%	6.9%	5.9%			
70歳以上(n=444)	18.0%	5.0%	5.6%			

 : 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《居住地域別にみた磯子区に対するイメージ》

磯子区に対するイメージについて居住地域別にみると、表8のようになっています。

全体では割合の高かった項目についても、地域によって割合の差がみられます。例えば、「自然が豊か」という項目は、平均が33.0%でしたが、それに対し、汐見台では71.8%と非常に高く、最も低い根岸では17.4%となっており、特に差が大きな項目となっています。「庶民的な」、「落ち着いた」、「便利な」、「治安がよい」などの項目においても、割合には地域の差がみられ、地域によって抱いているイメージに差があることがうかがえます。

表8 居住地域別にみた磯子区に対するイメージ

	おしゃれな	活気がある	センスがある	都会的な	治安がよい	子どもの教育に良い
根岸(n=109)	1.8%	1.8%	0.0%	0.9%	26.6%	3.7%
滝頭(n=183)	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	17.5%	2.7%
岡村(n=92)	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	15.2%	1.1%
磯子(n=317)	1.9%	2.5%	0.9%	2.5%	23.3%	6.9%
汐見台(n=71)	2.8%	4.2%	2.8%	2.8%	31.0%	15.5%
屏風ヶ浦(n=309)	1.0%	5.8%	0.6%	3.2%	20.4%	5.5%
杉田(n=277)	0.4%	7.6%	0.7%	2.2%	15.2%	4.7%
上笹下(n=197)	2.5%	2.5%	1.0%	0.5%	27.4%	6.1%
洋光台(n=296)	1.0%	3.0%	0.3%	0.3%	27.7%	9.8%
	物価が安い	わくわくする	将来性がある	優しい	温かみがある	魅力的な店が多い
根岸(n=109)	4.6%	0.0%	1.8%	8.3%	18.3%	0.9%
滝頭(n=183)	6.6%	0.0%	1.6%	3.8%	9.3%	1.1%
岡村(n=92)	5.4%	0.0%	0.0%	5.4%	15.2%	0.0%
磯子(n=317)	9.8%	0.3%	1.6%	7.6%	12.3%	1.9%
汐見台(n=71)	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	12.7%	0.0%
屏風ヶ浦(n=309)	13.6%	0.3%	2.6%	2.9%	8.1%	1.0%
杉田(n=277)	23.5%	0.0%	1.4%	5.1%	10.1%	2.2%
上笹下(n=197)	6.1%	0.0%	2.0%	3.6%	4.6%	1.5%
洋光台(n=296)	6.1%	1.0%	0.7%	5.1%	8.8%	2.0%
	これから発展しそう	便利な	庶民的な	落ち着いた	自然が豊か	文化芸術を感じる
根岸(n=109)	1.8%	34.9%	42.2%	32.1%	17.4%	1.8%
滝頭(n=183)	2.2%	16.9%	45.9%	19.7%	26.8%	0.5%
岡村(n=92)	3.3%	15.2%	43.5%	19.6%	45.7%	0.0%
磯子(n=317)	3.5%	27.8%	33.4%	29.7%	25.9%	2.2%
汐見台(n=71)	4.2%	14.1%	28.2%	33.8%	71.8%	0.0%
屏風ヶ浦(n=309)	6.5%	37.9%	40.1%	24.9%	24.9%	0.6%
杉田(n=277)	4.0%	33.2%	52.3%	20.9%	26.7%	0.4%
上笹下(n=197)	4.6%	13.2%	39.1%	31.0%	50.8%	1.0%
洋光台(n=296)	2.4%	34.1%	31.1%	40.5%	40.5%	0.7%
	歴史がある	その他	無回答			
根岸(n=109)	12.8%	11.0%	3.7%			
滝頭(n=183)	18.6%	10.4%	5.5%			
岡村(n=92)	25.0%	12.0%	6.5%			
磯子(n=317)	12.9%	7.9%	6.9%			
汐見台(n=71)	4.2%	4.2%	0.0%			
屏風ヶ浦(n=309)	16.5%	9.4%	2.6%			
杉田(n=277)	14.4%	6.9%	3.2%			
上笹下(n=197)	11.7%	7.6%	3.6%			
洋光台(n=296)	8.8%	5.7%	3.7%			

: 他の地域と比較して顕著な特徴の見られる部分

(5) 問5 地域の自慢や宝、お気に入りについて

回答者の住んでいる地域の自慢や宝、お気に入りについて、自由記述形式でたずねたところ、全部で624件の回答があり、整理すると表9のような結果となりました。

最も多かったのは「自然が豊かであること」であり、176件の記述がありました。次いで「公園」、「住環境がよいこと」、「商店街、商業施設」が多くなっています。

なお、「特にない」との回答は14件であり、うち4件については「現在の磯子区は、以前の状態より悪くなっている」という意見となっています。

表9 地域の自慢や宝、お気に入りとして挙げられている事項【自由記述】

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
自然が豊かであること（海、山、花、緑等）	176件
公園	121件
住環境がよいこと（ゆったりしている、閑静である等）	93件
商店街、商業施設	81件
景色、眺望がよいこと	77件
名所旧跡（神社仏閣以外）、教養・娯楽施設	67件
生活に便利な地域であること	65件
地域のイベント、地域活動が活発であること	34件
地域のふれあいがあること	31件
安全、安心なまちであること	28件
子育て、教育に適した環境であること	27件
神社仏閣	27件
公共施設（図書館、地区センター等）	23件
有名人の出身地であること（ゆず、美空ひばり等）	19件
歴史があること	15件
スポーツ施設	13件
その他	53件
特にない	14件
（「特にない」のうち、特に否定的な意見）	（4件）

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

回答者の住んでいる地域の自慢や宝、お気に入りについて、特に回答件数の多かった7つの項目について、その内容として件数が比較的多かったものを挙げると、以下のようになっています。

《自然が豊かであること》

「自然が豊かであること」という分類のうち、回答が最も多かったのは「自然が豊か、自然が身近である」ということで、76件でした。なお、「海」や「山」といった特定のものではなく、広く「自然」という言葉が使われている回答が多くなっています。

次いで「緑が多い」が59件となっているほか、「桜の木が多い」、「市民の森」、「円海山」、「ホタルが生息している」という項目について10件を超える回答がありました。

表10 「自然が豊か」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
自然が豊か、自然が身近である	76件
緑が多い	59件
桜の木が多い	20件
市民の森	17件
円海山	17件
ホタルが生息している	13件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《公園》

「公園」という分類のうち、回答が最も多かったのは「久良岐公園」で、53件でした。具体的な場所についての回答では、他に「岡村公園」が8件などとなっています。特に場所を限定せず、「大きな公園がある、公園が多い」などの回答は46件でした。

表11 「公園」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
久良岐公園	53件
大きな公園がある、公園が多い等	46件
岡村公園	8件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《住環境がよいこと》

「住環境がよいこと」という分類のうち、回答が最も多かったのは「静か、騒音が少ない」で、22件でした。次いで「生活環境がよい、住みやすい」が20件、「気候が穏やか」が11件、「のんびりしている、ゆったりしている」が9件となっています。また、「利便性が高いわりに自然が多い」という回答が8件ありました。

表 12 「住環境がよいこと」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
静か、騒音が少ない	22件
生活環境がよい、住みやすい	20件
気候が穏やか（涼しい、風通しがよい等）	11件
のんびりしている、ゆったりしている	9件
（交通等の）利便性が高いわりに自然が多い	8件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《商店街、商業施設》

「商店街、商業施設」という分類のうち、回答が最も多かったのは「商店街に活気がある」で、18件でした。具体的な場所に関する回答としては「浜マーケット」が15件となっており、そのほかに「スーパー、コンビニが多い」、「買い物をする場所が多く便利」がそれぞれ14件となっています。

表 13 「商店街、商業施設」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
商店街に活気がある	18件
浜マーケット	15件
スーパー、コンビニが多い	14件
買い物をする場所が多く便利	14件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《景色、眺望がよいこと》

「景色、眺望がよいこと」という分類のうち、回答が最も多かったのは「海が見える、海が近い」で、29件でした。次いで「富士山が見える」が20件、「散歩やハイキングをするのによい」が11件となっており、また特に対象を限定せずに「景色、眺望がよい」と言っている回答が9件となっています。

表 14 「景色、眺望がよいこと」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
海が見える、海が近い	29件
富士山が見える	20件
散歩やハイキングをするのによい	11件
景色、眺望がよい	9件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《名所旧跡（神社仏閣以外）、教養・娯楽施設》

「名所旧跡（神社仏閣以外）、教養・娯楽施設」という分類のうち、回答が最も多かったのは「はまぎんこども宇宙科学館」で、18件でした。次いで「汐見台（風致地区）」が14件、「三殿台遺跡」が9件となっています。

表 15 「名所旧跡（神社仏閣以外）、教養・娯楽施設」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
はまぎんこども宇宙科学館	18件
汐見台（風致地区）	14件
三殿台遺跡	9件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

《生活に便利な地域であること》

「生活に便利な地域であること」という分類のうち、回答が最も多かったのは「交通の便がよい」で、29件でした。次いで「駅が近い」が11件、「横浜市の中心地に近い」が7件となっています。

表 16 「生活に便利な地域であること」という分類に含まれる事項の例

地域の自慢や宝、お気に入りとして回答に挙げられている事項	件数
交通の便がよい	29件
駅が近い	11件
横浜市の中心地に近い	7件

※1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について1件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

(6) 問6 磯子区での居住意向

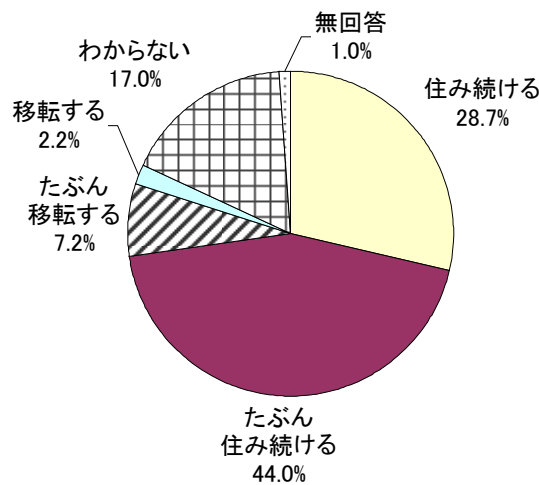
「これからもずっと磯子区に住み続けたい」と思うかどうかについてたずねたところ、「住み続ける」が28.7%、「たぶん住み続ける」が44.0%、「たぶん移転する」が7.2%、「移転する」が2.2%でした。

《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」等との比較》

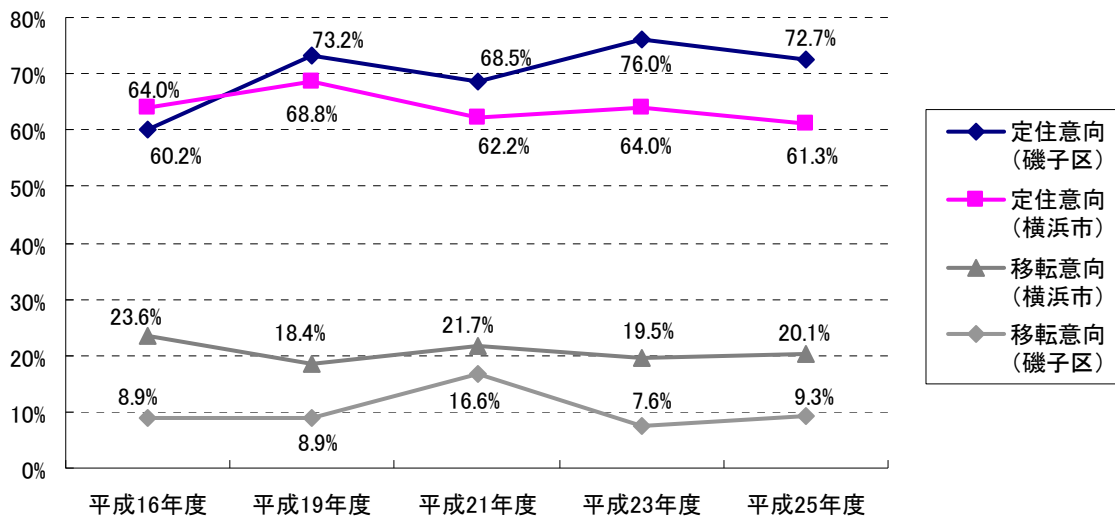
質問の仕方が異なる調査が含まれているため単純な比較はできませんが、参考までにこれまでに実施した「磯子区民意識調査」及び「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」（平成16年度）と比較すると、「住み続けたい」という意向が平成23年度調査よりも低く、平成19年度調査と同程度となっています。

また「横浜市民意識調査」と比較すると、磯子区では横浜市全体よりも定住意向が高く、移転意向が低いという傾向が見られます。

図27 磯子区での居住意向（n=1,887）【単数回答】



【参考】過去の「磯子区民意識調査」、「磯子コスモスリサーチ（区民満足度調査）」、及び「横浜市民意識調査」との比較



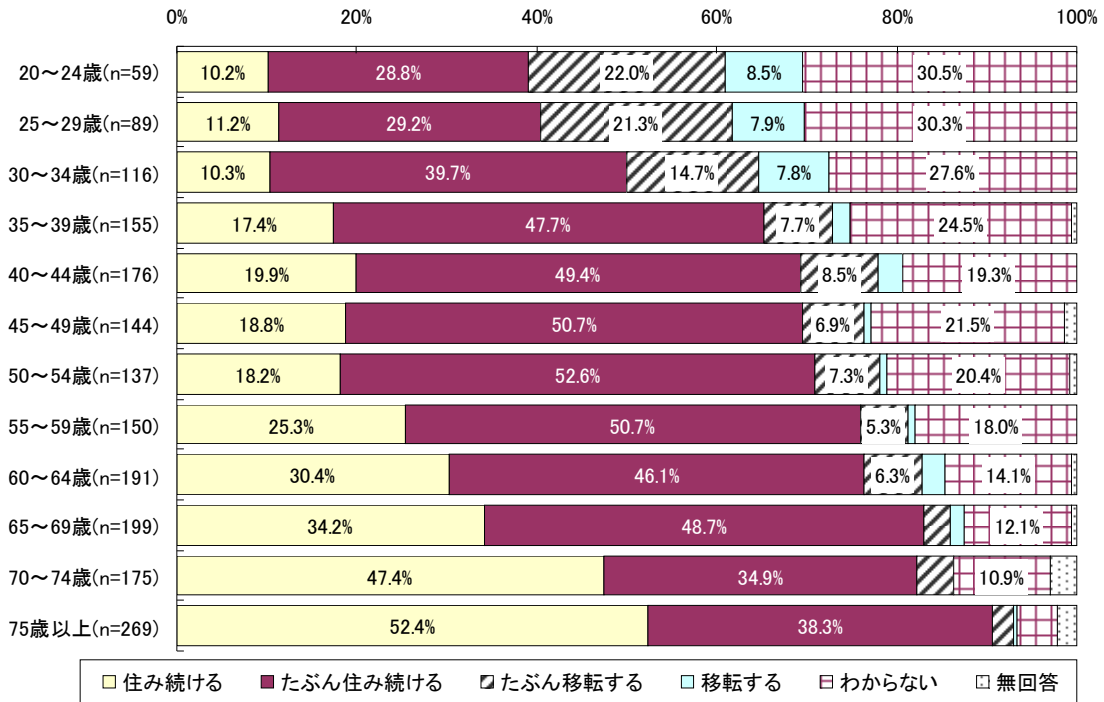
※「磯子区民意識調査」（平成19年度、21年度）、及び「横浜市民意識調査」では、「現在の住まいに住み続けたいか」という趣旨の質問となっています。
 ※定住意向：「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計。
 移転意向：「移転する」と「たぶん移転する」の割合の合計。

《年齢層別に見た磯子区での居留意向》

「これからもずっと磯子区に住み続けたい」と思うかどうかについて、年齢層別にみると、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計をみると、20歳代では4割程度となっていますが、年齢層が高いほど割合が高まる傾向がみられ、35歳以上ではいずれも6割を超えています。

また、「住み続ける」について、55歳以上の層では年齢が高いほど割合が高くなっており、75歳以上では5割を超えています。

図 28 年齢層別に見た磯子区での居留意向

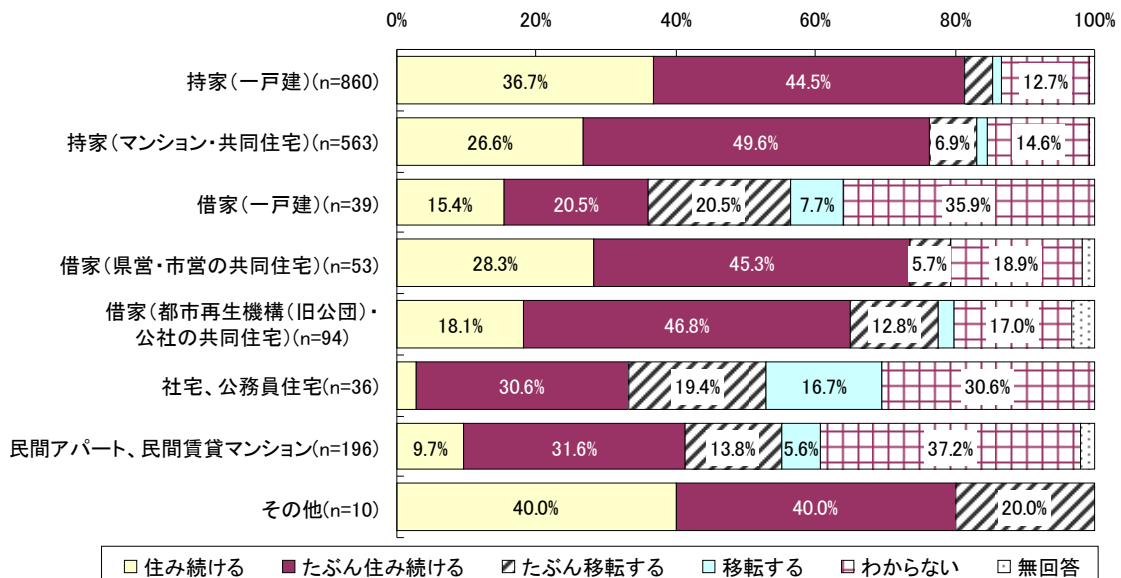


《住まいの形態別に見た磯子区での居留意向》

「これからもずっと磯子区に住み続けたい」と思うかどうかについて、住まいの形態別にみると、図 29 のようになっています。

「持家」では「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計が7割を超えていますが、借家に住んでいる方でも、「借家（県営・市営の共同住宅）」では73.6%、「借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）」では64.9%となっており、他のタイプの借家と比べて割合が高くなっています。

図 29 住まいの形態別に見た磯子区での居留意向



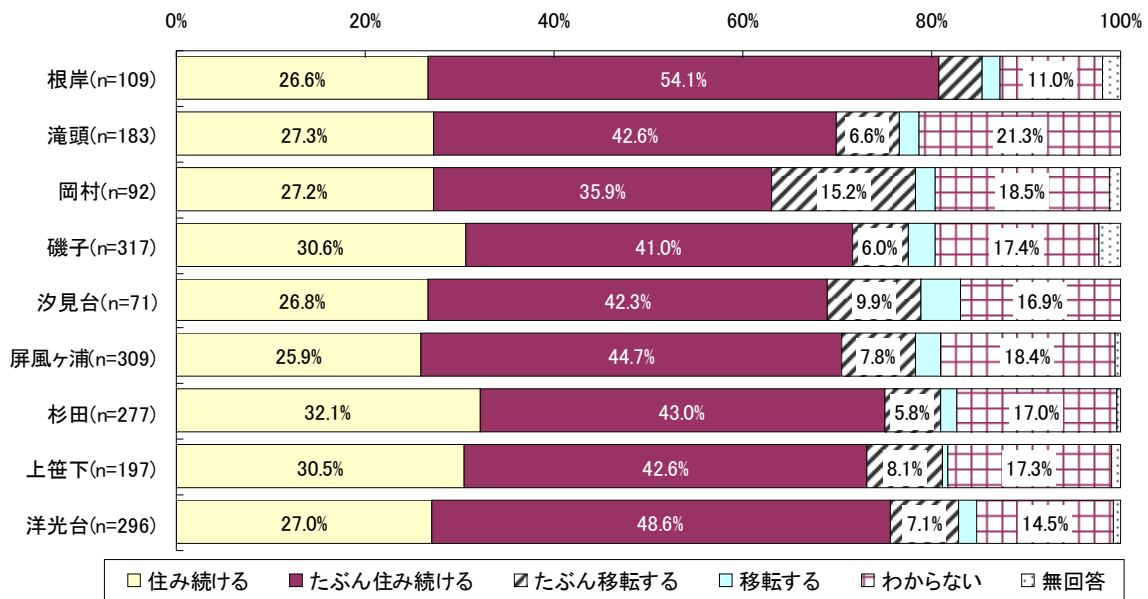
《居住地域別にみた磯子区での居留意向》

「これからもずっと磯子区に住み続けたい」と思うかどうかについて、居住地域別にみると、図 30 のようになっています。

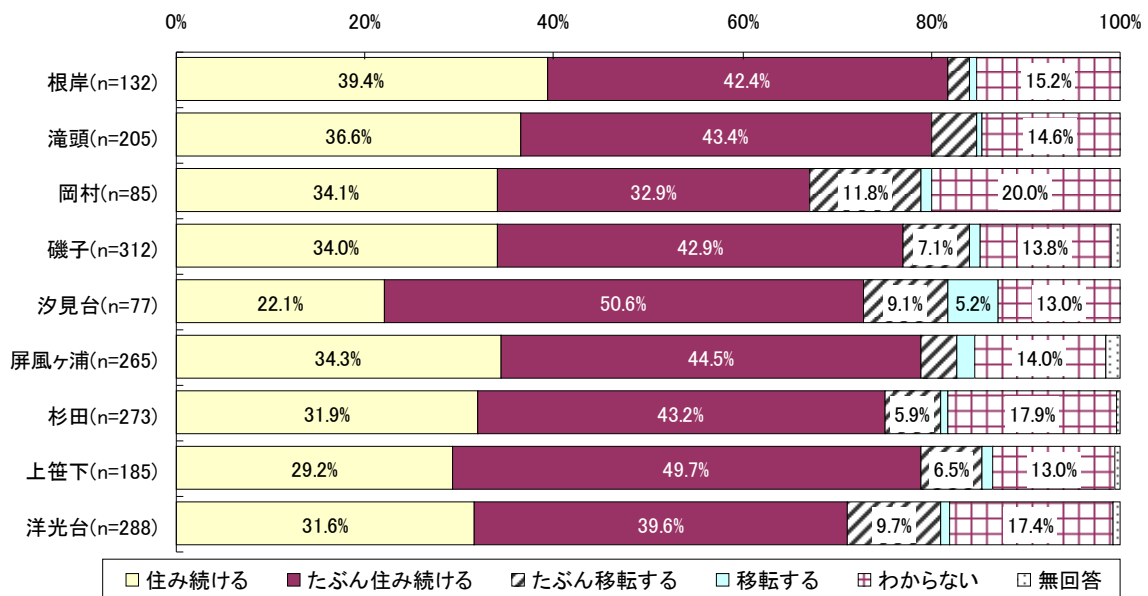
「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計をみると、概ね7割を超えていますが、岡村では割合がやや低く、63.1%となっています。なお、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の割合の合計が最も高かったのは根岸で、80.7%となっています。

参考までに「磯子区民意識調査」（平成 23 年度）の結果と比較すると、全体的にみて「住み続ける」の割合が低下しています。なお、平成 23 年度調査では汐見台の「住み続ける」の割合が他と比べて低いことが目立っていますが、今年度の調査では、あまり顕著な差はみられなくなっています。

図 30 居住地域別にみた磯子区での居留意向



【参考】「磯子区民意識調査」（平成 23 年度）の居住地域別にみた磯子区での居留意向

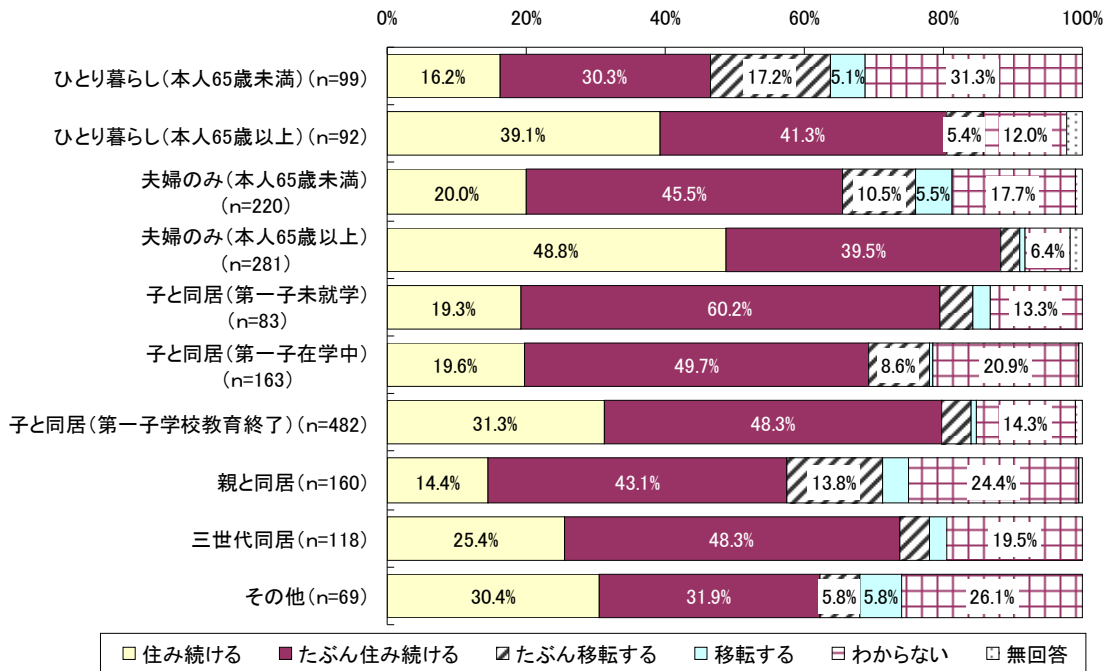


《世帯類型別にみた磯子区での居住意向》

「これからもずっと磯子区に住み続けたい」と思うかどうかについて、世帯類型別にみると、図 31 のようになっています。

「ひとり暮らし（65 歳以上）」と「夫婦のみ（本人 65 歳以上）」では「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計が 8 割を超えており、特に「住み続ける」の割合が他の世帯類型と比べ割合が高くなっています。一方、「ひとり暮らし（本人 65 歳未満）」、及び「親と同居」では、「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計が 6 割を下回っており、他と比べて移転意向が強いことがうかがえます。

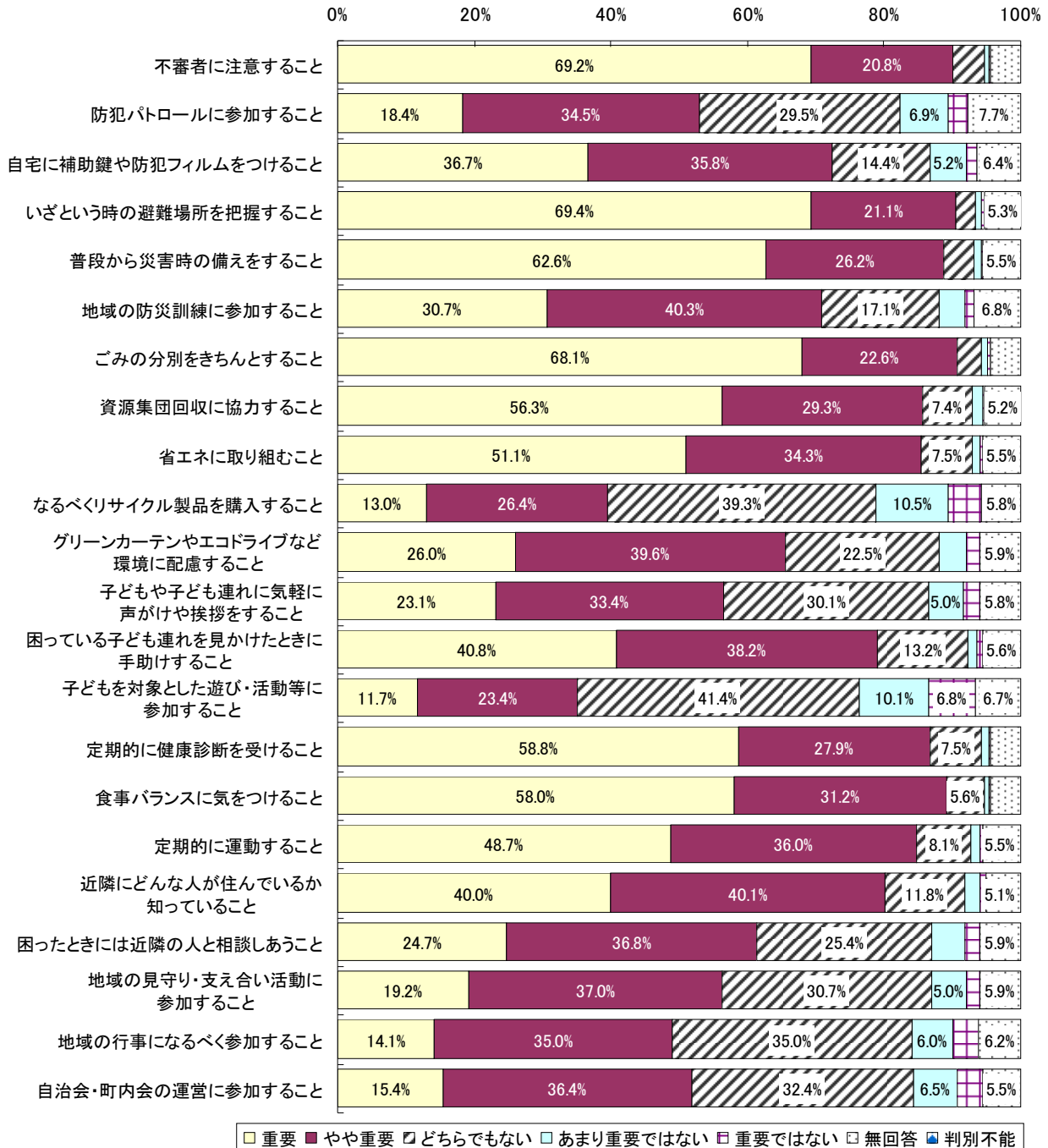
図 31 世帯類型別にみた磯子区での居住意向



(7) 問7 普段生活するうえで重要だと思うこと

普段生活するうえで重要だと思うことについて、「重要」との回答が高いのは、「いざという時の避難場所を把握すること」、「不審者に注意すること」、「ごみの分別をきちんとすること」等となっています。一方、「子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること」、「なるべくリサイクル製品を購入すること」、「地域の行事になるべく参加すること」等では「重要」との回答割合は低くなっています。

図 32 普段生活するうえで重要だと思うこと (n=1,887) 【単数回答】

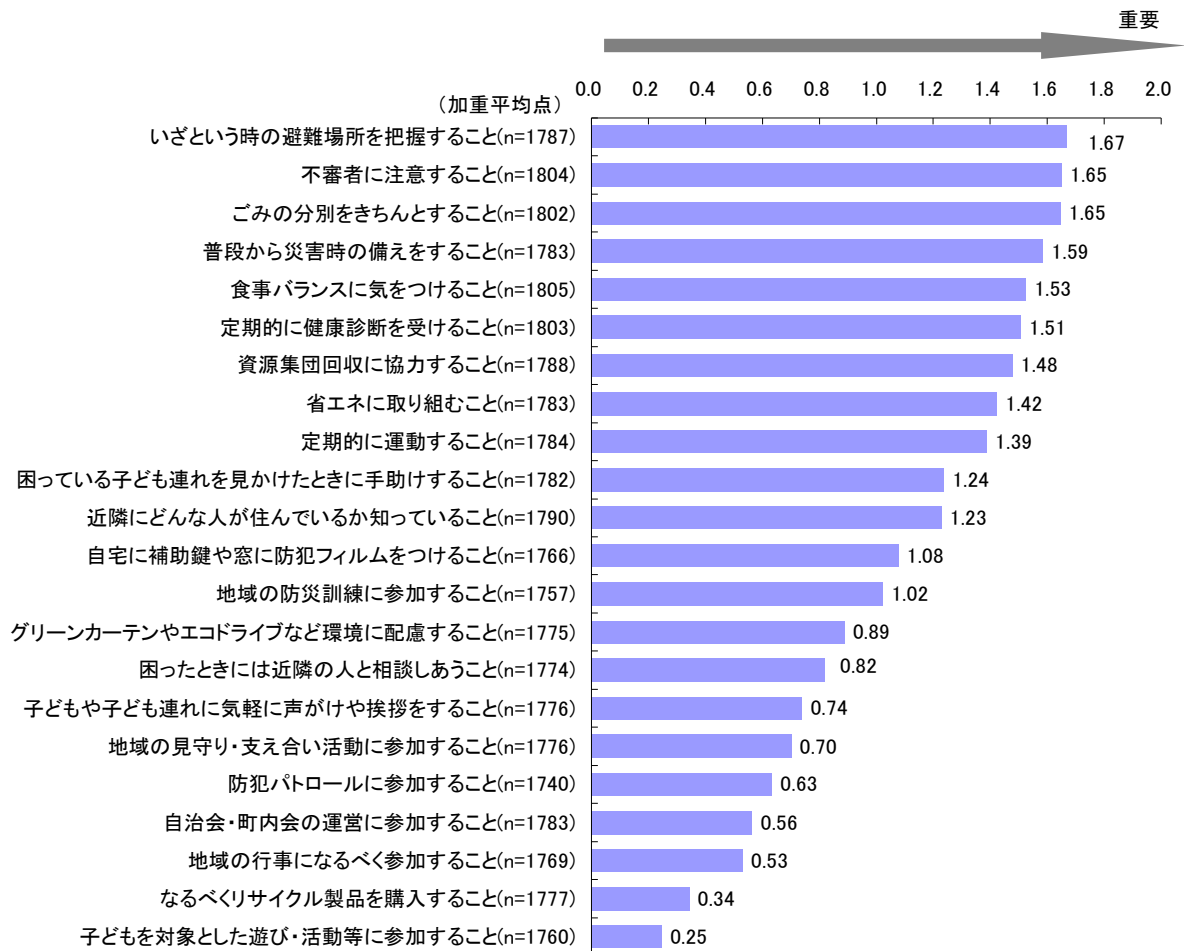


《加重平均による指標化》

「重要」を+2点、「やや重要」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまり重要ではない」を-1点、「重要ではない」を-2点として加重平均し、各項目についての重要度の評価を指標化したところ、図33のようになりました。

回答結果を得点化して見た場合にも、項目ごとの重要度については問7における回答結果と同様となっていることを把握することができます。

図33 観点別・項目別の重要度に関する評価（加重平均による指標化）

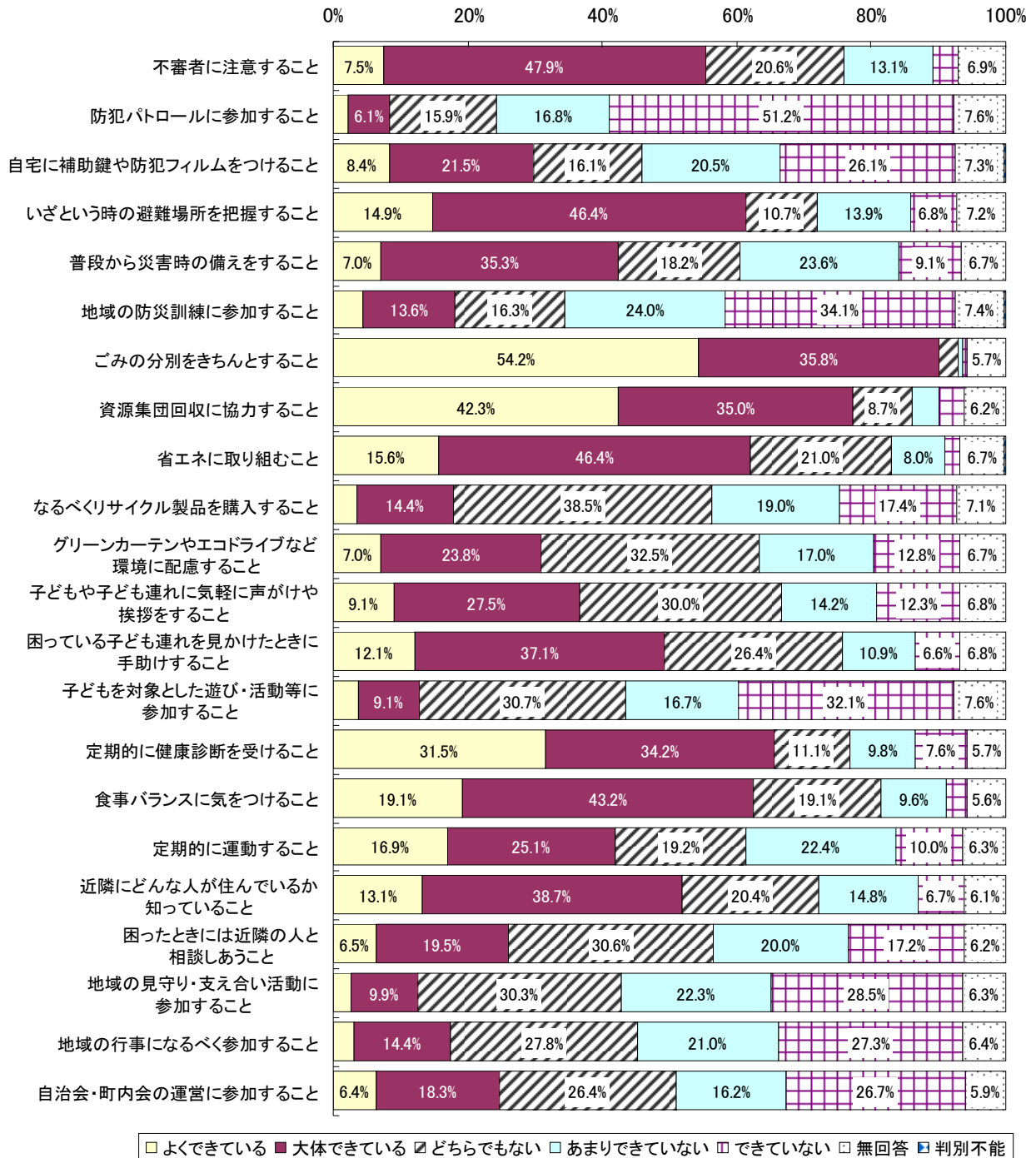


※回答について、「重要」2点、「やや重要」1点、「どちらでもない」0点、「あまり重要ではない」-1点、「重要ではない」-2点、として平均点を算出しました。なお、「無回答」と「判別不能」は除外しています。

(8) 問7 各項目についての現在の取り組み状況

「重要だと思うこと」としてたずねた各項目について、現在の取り組み状況をたずねたところ、「よくできている」との回答が多いのは、「ごみの分別をきちんとすること」、「資源集団回収に協力すること」、「定期的に健康診断を受けること」等となっています。

図 34 各項目についての現在の取り組み状況 (n=1,887) 【単数回答】

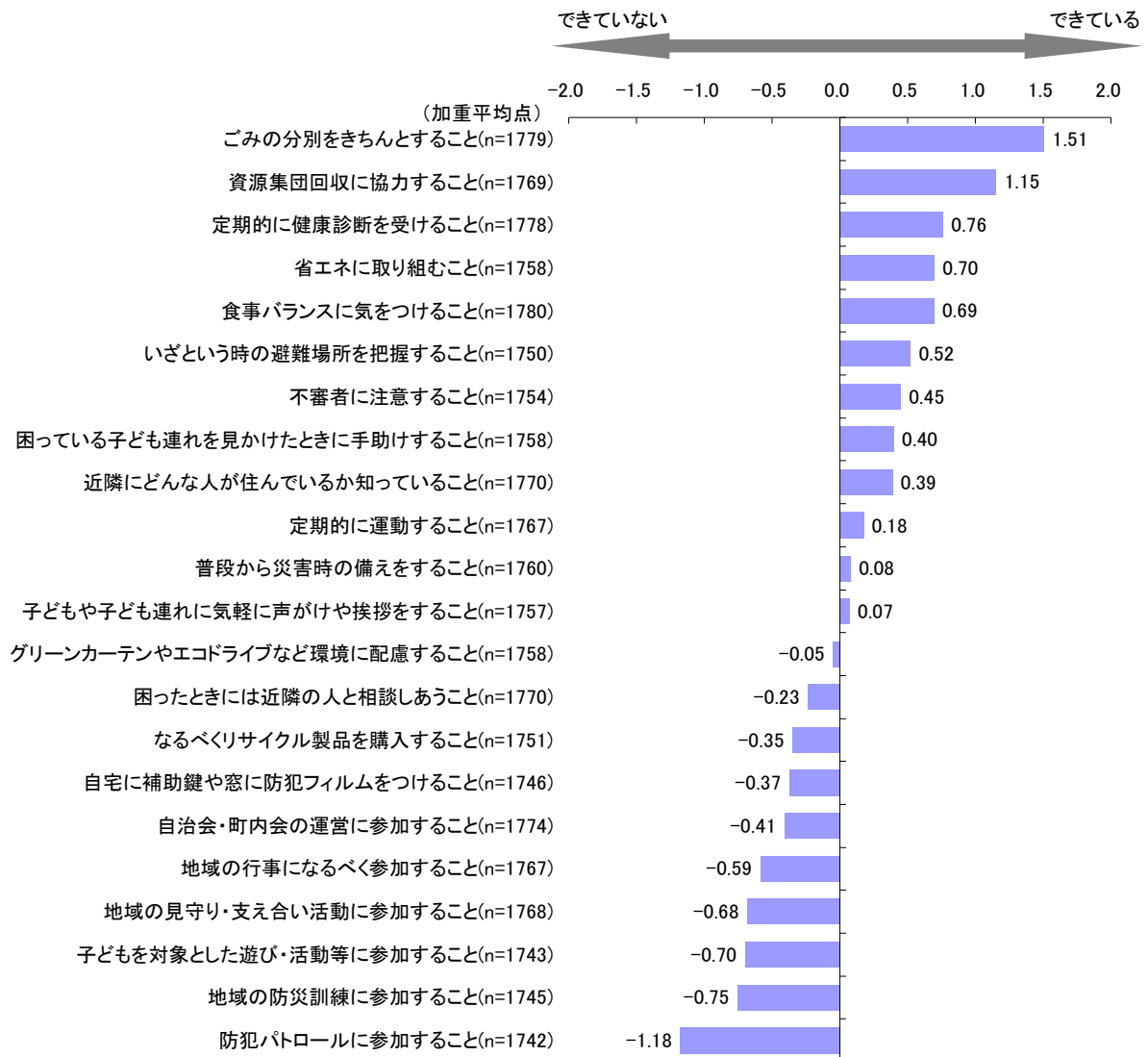


《加重平均による指標化》

各項目に対する取り組み状況について「よくできている」を+2点、「大体できている」を+1点、「どちらでもない」を0点、「あまりできていない」を-1点、「できていない」を-2点として加重平均し、各項目についての取り組みの評価を指標化したところ、図35のようになりました。

最も取り組み状況のよかった「ごみの分別をきちんとすること」の得点は1.51点でした。「防犯パトロールに参加すること」など10項目では、得点がマイナスとなっています。

図35 観点別・項目別の取り組み状況に関する評価（加重平均による指標化）



※回答について、「よくできている」2点、「大体できている」1点、「どちらでもない」0点、「あまりできていない」-1点、「できていない」-2点、として平均点を算出しました。
なお、「無回答」と「判別不能」は除外しています。

《「重要度」と「取り組み状況」の関係》

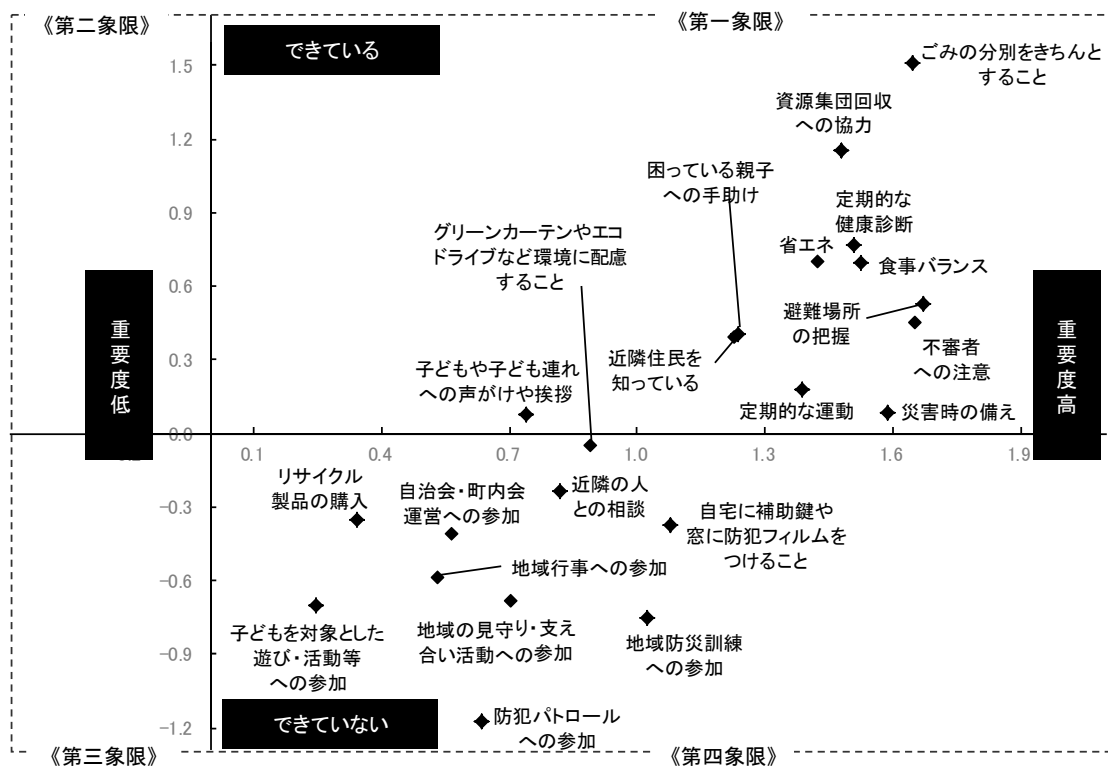
問7の「重要度」と「取り組み状況」について、それぞれ指標化した結果から両者の関係を見ると、図36のような結果となりました。

第一象限（「重要度高」・「できている」）には、12項目が位置しています。3番目に重要度の高かった「ごみの分別をきちんとすること」は、取り組み状況をみても1.51ポイントと高い位置にあります。

一方、最も重要度が高いとされた「いざという時の避難場所を把握すること」（図中では「避難場所の把握」）は、取り組み状況は0.52ポイントとなっており、重要度に対して取り組み状況の評価が低いという結果となりました。それ以外にも、「普段から災害時の備えをすること」（図中では「災害時の備え」）、「地域の防災訓練に参加すること」（図中では「地域防災訓練への参加」）といった防災に関する項目には、重要度に対して取り組み状況の評価が低いという傾向がみられます。

第四象限（「重要度高」・「できていない」）には10項目が位置しています。取り組み状況が最も悪かったのは「防犯パトロールに参加すること」（図中では「防犯パトロールへの参加」）であり、-1.18ポイントとなっていますが、重要度は0.63ポイントとなっており、第四象限に位置する他の項目と比較すると、重要度の評価に対して取り組み状況が特に低く評価されています。

図36 「重要度」と「取り組み状況」の関係



3. 隣近所との付き合いや地域での活動について

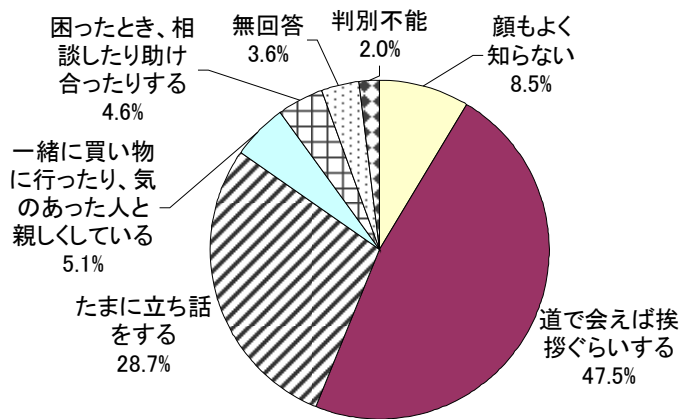
(1) 問8 隣近所との付き合い方

隣近所と普段どのような付き合い方をしているかについてたずねたところ、最も多かったのは「道で会えば挨拶ぐらいする」で47.5%、次いで「たまに立ち話をする」が28.7%、「顔もよく知らない」が8.5%でした。

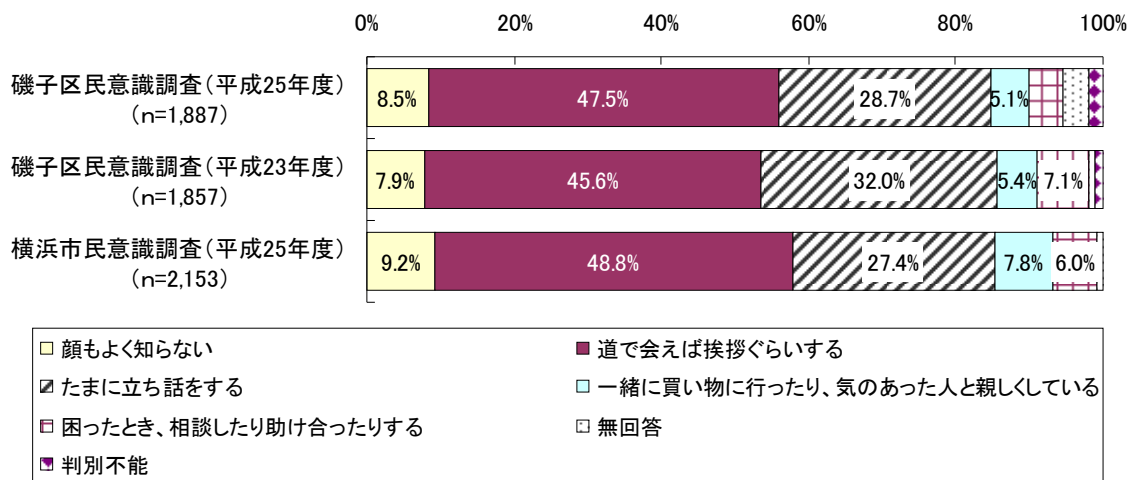
《過去の「磯子区民意識調査」、「横浜市民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成23年度）と比較すると、概ね同様の結果となっています。また、「横浜市民意識調査」（平成25年度）との比較においても、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」や「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の割合がやや低くなっていますが、全体としては概ね同様の結果となっています。

図37 隣近所との付き合い方（n=1,887）【単数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」（平成23年度）及び「横浜市民意識調査」との比較



《性別・年齢層別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との普段の付き合い方について性別・年齢層別にみると、図 38、図 39 のようになっています。男女ともに、年齢の若い層では隣近所との付き合いが浅い方が多いようですがみられます。また、女性では年齢が高いほど隣近所との付き合いが深くなるという傾向が男性以上に顕著にみられます。

図 38 年齢層別にみた隣近所との付き合い方（男性）

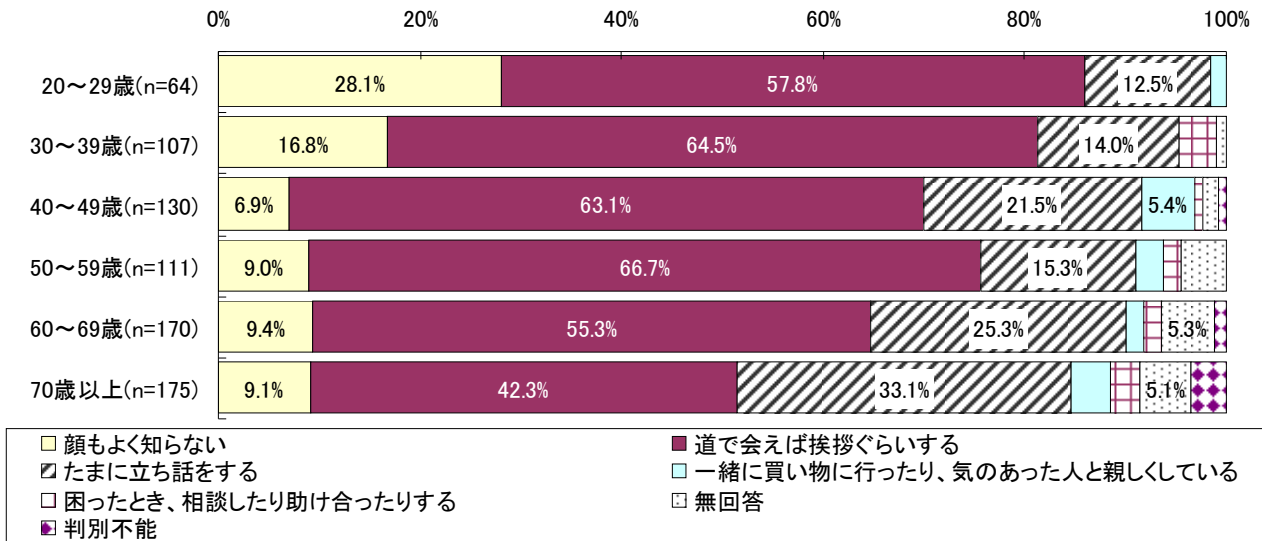
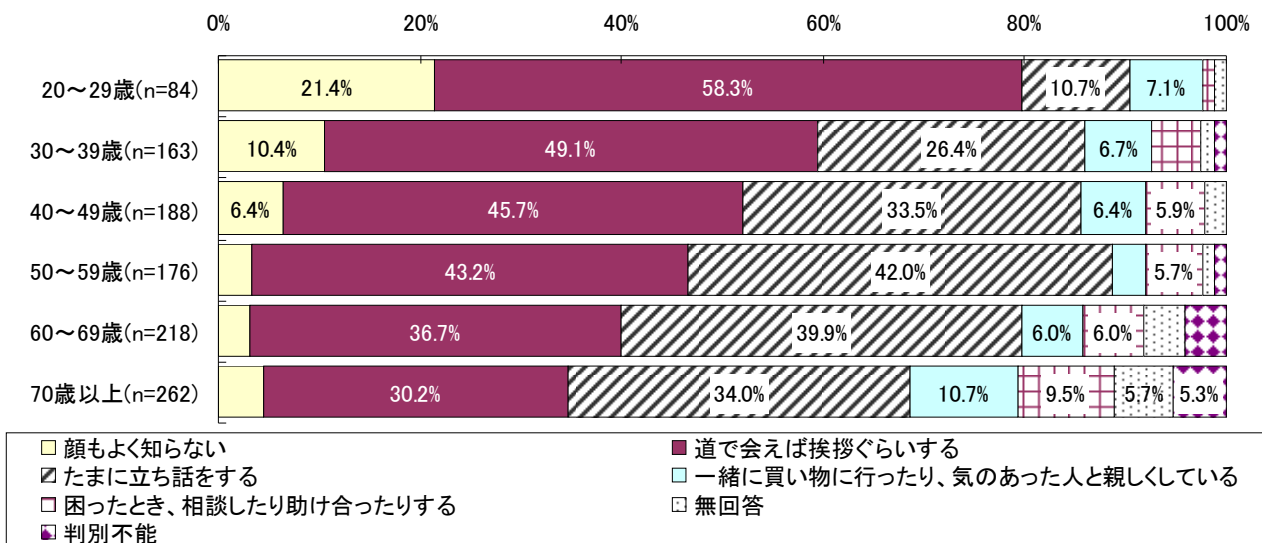


図 39 年齢層別にみた隣近所との付き合い方（女性）

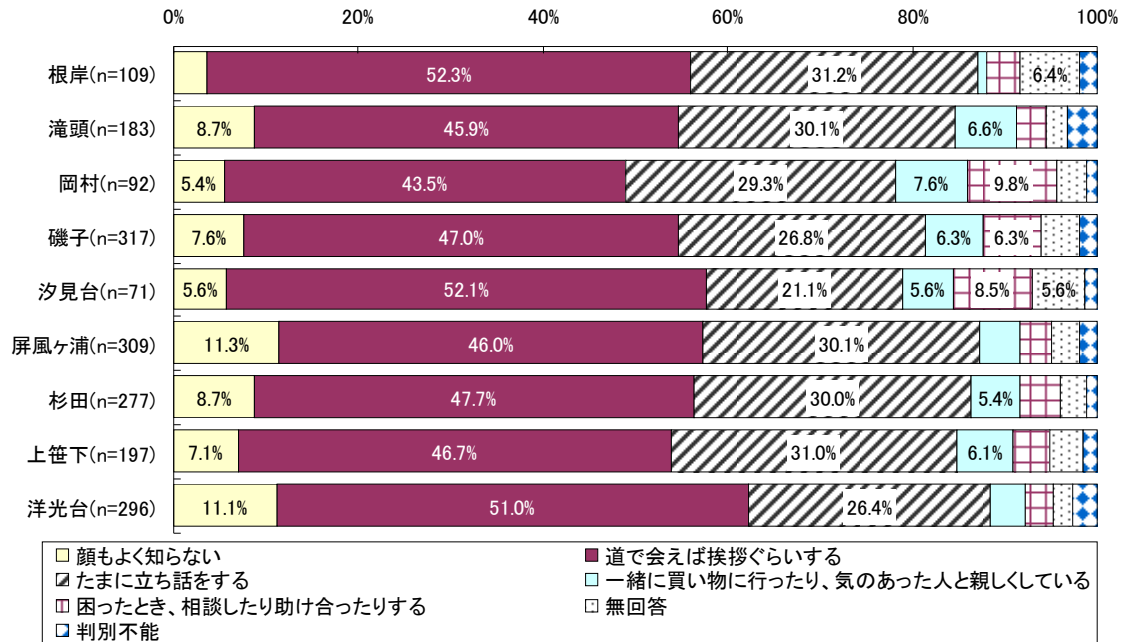


《居住地域別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との普段の付き合い方について居住地域別にみると、図40のようになっています。

洋光台では、「顔もよく知らない」と「道で会えば挨拶ぐらいする」の合計が他の地域と比べ高くなっており、隣近所との付き合い方が浅い方が他の地域よりも多いことがうかがえます。

図40 居住地域別にみた隣近所との付き合い方

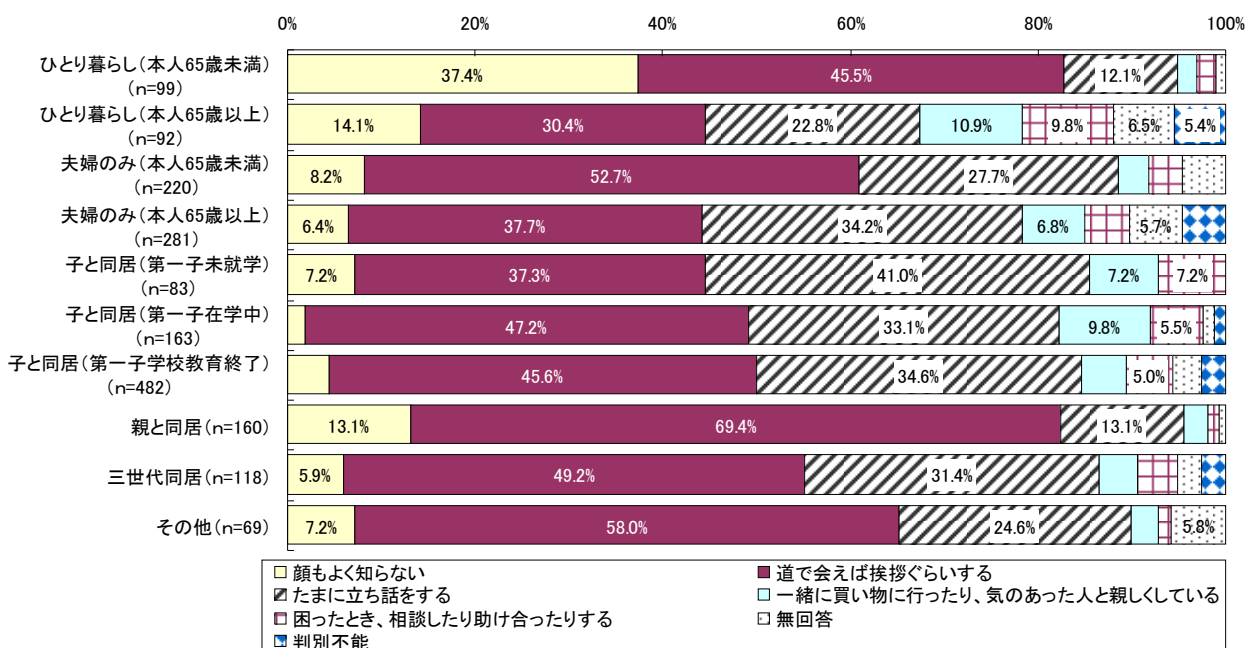


《世帯類型別にみた隣近所との付き合い方》

隣近所との普段の付き合い方について世帯類型別にみると、図41のようになっています。

「ひとり暮らし(本人65歳未満)」では「顔もよく知らない」の割合が37.4%と、他と比べ非常に高くなっています。また、「親と同居」の方は、「道で会えば挨拶ぐらいする」が約7割であり、どちらも隣近所との付き合い方が浅い方の割合が高いことがうかがえます。

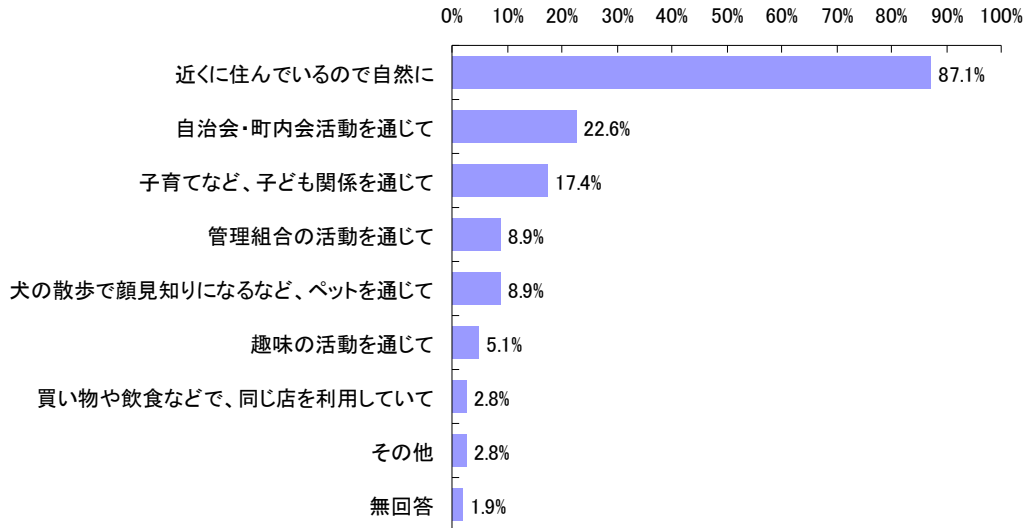
図41 世帯類型別にみた隣近所との付き合い方



【問 8-1 隣近所との付き合いを始めたきっかけ】

「顔もよく知らない」と回答した方、もしくは無回答・判別不能であった方以外の回答者に対し、付き合いを始めたきっかけについて複数回答形式でたずねたところ、「近くに住んでいるので自然に」が87.1%と最も多く、次いで「自治会・町内会活動を通じて」が22.6%となっています。

図 42 隣近所との付き合いを始めたきっかけ (n=1,622) 【複数回答】



※問 8-1 については、問 8 における「顔もよく知らない」・「無回答」・「判別不能」以外の方を対象とした設問となっています。

《性別・年齢層別にみた、付き合いを始めたきっかけ》

隣近所との付き合いを始めたきっかけについて性別・年齢層別にみると表 17 のようになっています。男女とも、30～50 歳代の層では「子育てなど、子ども関係を通じて」の割合が高くなっており、特に女性では顕著な差がみられます。また、「自治会・町内会の活動を通じて」については、男女ともに 40 歳以上の層で割合が高くなっています。

表 17 性別・年齢層別にみた、付き合いを始めたきっかけ

(男性)

	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	管理組合の活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	その他	無回答
20～29歳(n=46)	91.3%	17.4%	2.2%	4.3%	4.3%	2.2%	8.7%	4.3%	0.0%
30～39歳(n=88)	92.0%	11.4%	3.4%	11.4%	0.0%	1.1%	3.4%	1.1%	2.3%
40～49歳(n=117)	89.7%	14.5%	11.1%	21.4%	0.9%	0.0%	4.3%	4.3%	1.7%
50～59歳(n=96)	86.5%	18.8%	18.8%	9.4%	3.1%	1.0%	12.5%	2.1%	1.0%
60～69歳(n=145)	80.7%	26.2%	17.9%	6.2%	4.1%	3.4%	9.7%	1.4%	4.8%
70歳以上(n=145)	86.2%	29.0%	6.9%	5.5%	9.7%	2.8%	9.0%	4.1%	4.1%

(女性)

	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	管理組合の活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	その他	無回答
20～29歳(n=64)	92.2%	9.4%	3.1%	15.6%	1.6%	3.1%	10.9%	0.0%	1.6%
30～39歳(n=144)	88.9%	8.3%	3.5%	29.2%	0.0%	1.4%	6.9%	1.4%	0.0%
40～49歳(n=173)	82.7%	23.1%	4.6%	40.5%	1.7%	0.6%	12.1%	4.6%	0.6%
50～59歳(n=165)	87.9%	28.5%	11.5%	30.3%	4.2%	2.4%	12.1%	3.0%	1.2%
60～69歳(n=193)	87.0%	32.6%	10.9%	11.9%	7.8%	5.2%	10.9%	2.6%	1.6%
70歳以上(n=219)	87.2%	27.9%	8.7%	10.0%	13.2%	5.0%	5.5%	3.2%	2.7%

◻:他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

《隣近所との付き合い方別にみた、付き合いを始めたきっかけ》

隣近所との付き合いを始めたきっかけについて、問8でたずねた隣近所との普段の付き合い方別にみると、表18のようになっています。

「自治会・町内会活動を通じて」の割合について、「道で会えば挨拶ぐらいする」という方では16.9%となっていますが、それ以外の付き合い方ではいずれも2割を超えています。また、隣近所との付き合いの深い方では「子育てなど、子ども関係を通じて」の割合が高くなっています。

表18 隣近所との付き合い方別にみた、付き合いを始めたきっかけ

	近くに住んでいるので自然に	自治会・町内会活動を通じて	管理組合の活動を通じて	子育てなど、子ども関係を通じて	趣味の活動を通じて	買い物や飲食などで、同じ店を利用して	犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて	その他	無回答
道で会えば挨拶ぐらいする (n=897)	88.4%	16.9%	8.7%	7.1%	2.3%	2.0%	7.2%	2.5%	2.7%
たまたま立ち話をする (n=542)	88.7%	30.4%	9.6%	26.0%	5.9%	3.7%	12.2%	2.8%	0.7%
一緒に買い物に行ったり、 気のあった人と親しくしている (n=97)	71.1%	23.7%	8.2%	46.4%	18.6%	5.2%	3.1%	4.1%	2.1%
困ったとき、相談したり 助け合ったりする (n=86)	80.2%	30.2%	8.1%	38.4%	12.8%	2.3%	11.6%	4.7%	1.2%

 : 他と比較して顕著な特徴の見られる部分

(2) 問9 自治会・町内会への加入状況

自治会・町内会に加入しているかどうかについてたずねたところ、「加入している」が74.7%、「加入していない」が14.4%となっています。

【問9-1 自治会・町内会に加入していない理由】

自治会・町内会に加入していない方に対し、加入していない理由を複数回答形式でたずねたところ、「特にない」が21.8%と最も多く、次いで「加入のメリットがわからないから」が21.4%、「加入するきっかけや誘いがいいから」が21.0%となっています。

図43 自治会・町内会への加入状況 (n=1,887) 【単数回答】

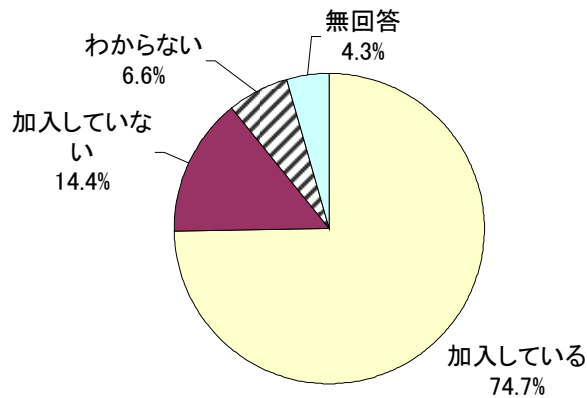
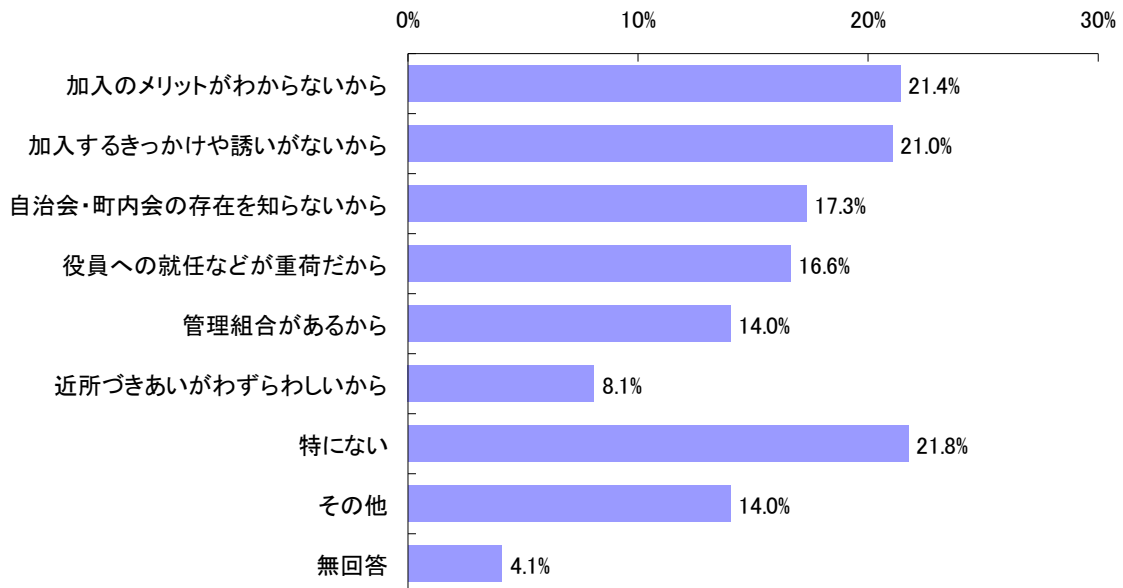


図44 自治会・町内会に加入していない理由 (n=271) 【複数回答】



※問9-1については、問9において「加入していない」と回答した方を対象とした設問となっています。

【問 9-2 自治会・町内会に加入していてよかったこと】

自治会・町内会に加入している方に対し、加入していてよかったと思うことについて自由記述形式でたずねたところ、842 件の回答があり、内容を整理すると表 19 のような結果となりました。

最も多かったのは「地域の人との交流ができる」で、414 件（うち、「地域のイベントや行事に参加できる」が 111 件）でした。次いで「地域の情報が得られる」が 268 件、「地域の人と助け合ったり、相談ができる」が 106 件となっています。

一方、「特にメリットが感じられない」という回答が 75 件ありました。また自治会・町内会に対し、否定的な意見を述べている回答が 20 件あり、例として「大変なことが多い」、「役員が若い人の意見を聞いてくれない」、「役員が固定化されている」といったことが挙げられています。

表 19 「自治会・町内会に加入していてよかったこと」として挙げられている事項の例【自由記述】

「自治会・町内会に加入していてよかったこと」	件数
地域の人との交流ができる	414 件
うち、地域のイベントや行事に参加できる	(111 件)
うち、自分と異なる世代と交流できる	(22 件)
地域の情報が得られる	268 件
うち、回覧板が回ってくる	(81 件)
地域の人と助け合ったり、相談ができる	106 件
自治会・町内会の活動を通じて地域に貢献できる	76 件
（加入していることが）子ども、孫のためになる	44 件
市の広報が配布される	32 件
その他	73 件
メリットの有無にかかわらず、加入するものだと考えている	21 件
特にメリットが感じられない	75 件
自治会・町内会に対する否定的な意見	20 件
わからない	32 件

※問 9-2 については、問 9 において「加入している」と回答した方を対象とした設問となっています。

※1 つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について 1 件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

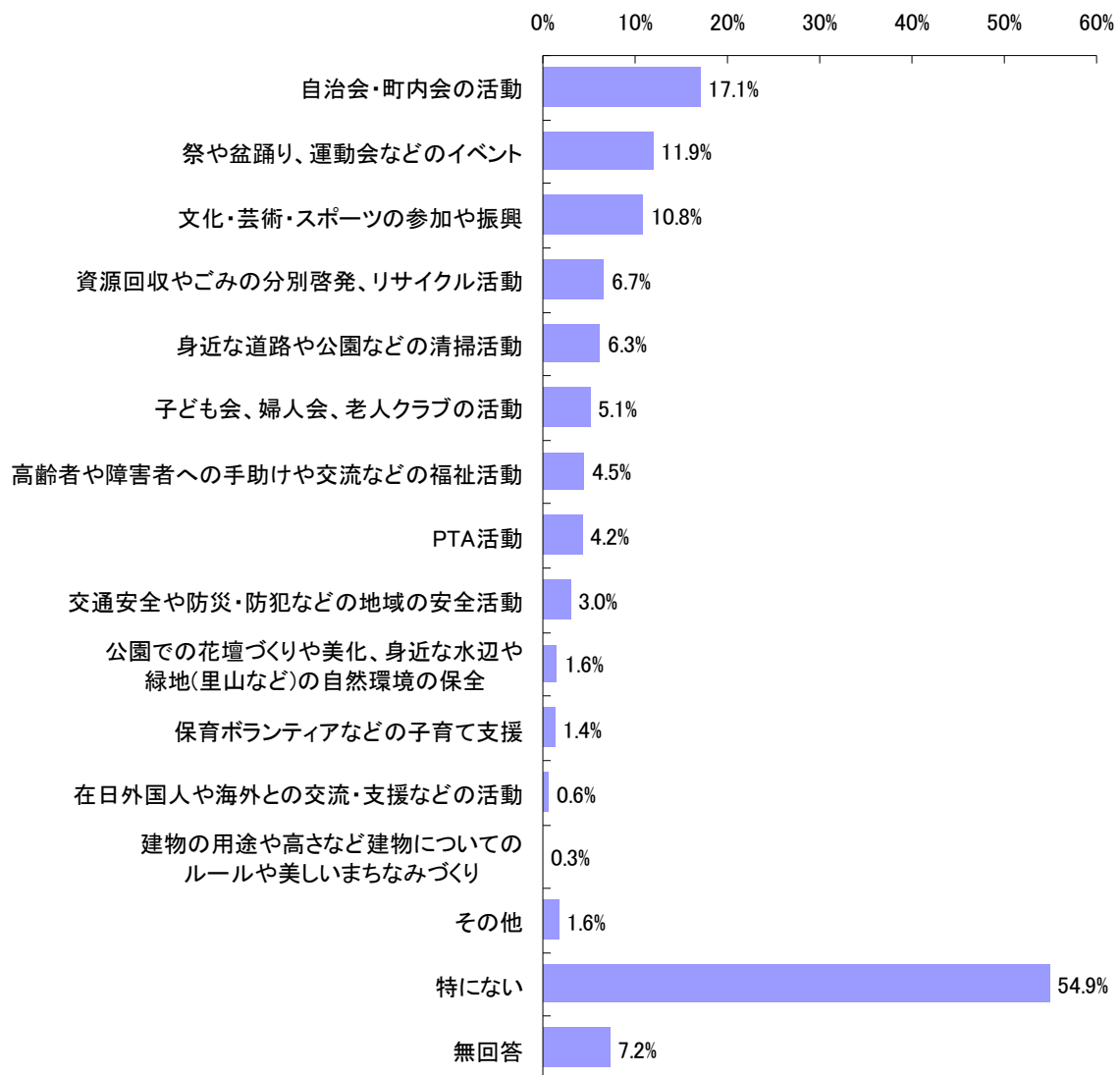
(3) 問 10 仕事や学業以外で参加している活動

仕事や学業以外でどのような活動に参加しているかについて、複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「特にない」で 54.9%でした。「特にない」を除くと、最も多かったのは「自治会・町内会の活動」が 17.1%、次いで「祭や盆踊り、運動会などのイベント」が 11.9%となっています。

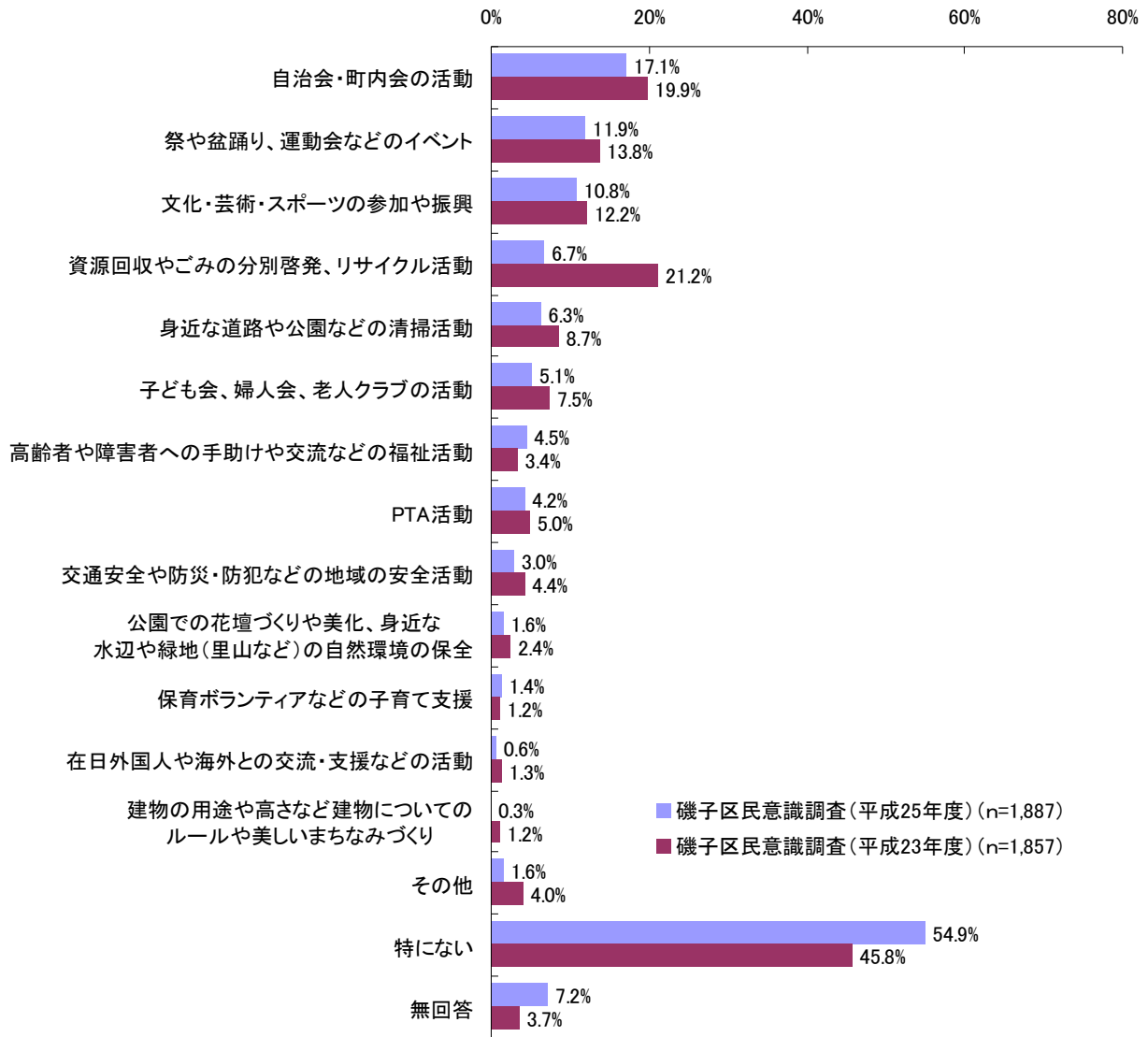
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

平成 23 年度の調査においても、同様のことがらに関する質問が設けられています。一部の選択肢については今回の調査と異なる文言を用いており、また選択肢の順番が異なっているため、単純に比較することはできませんが、参考までに過去の結果と比較すると、「特にない」の割合が高くなっており、全体的にみて各種の活動に取り組んでいる割合が低くなっています。なお、「資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動」では特に差が大きくなっていますが、平成 23 年度調査では「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」という選択肢となっており、表現が変わったことによる影響も考えられます。

図 45 仕事や学業以外で参加している活動（n=1,887）【複数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」（平成 23 年度）との比較



※平成 25 年度と平成 23 年度について、いくつかの選択肢では文言が異なっているため、単純に比較できない場合があります（下表参照）。また、平成 25 年度と平成 23 年度では、調査票に記載される選択肢の順番が異なります。

（平成 23 年度調査と文言が異なっている選択肢）

磯子区民意識調査（平成 25 年度）	磯子区民意識調査（平成 23 年度）
資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動	資源回収やごみの分別、リサイクル活動
公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地（里山など）の自然環境の保全	公園での花壇づくりや美化活動、身近な水辺の緑地（里山など）の自然環境の保全
その他	その他の社会奉仕などボランティア活動

《性別・年齢層別にみた仕事や学業以外で参加している活動》

仕事や学業以外で参加している活動について性別・年齢層別にみると、表 20 のようになっています。

男女とも、「特にない」の割合は若い年齢層で割合が高く、一方で「自治会・町内会の活動」は 40 歳以上で割合が高くなっています。

また、70 歳以上の男性の「身近な道路や公園などの清掃活動」、「30～39 歳」の女性の「祭や盆踊り、運動会などのイベント」、「40～49 歳」の女性の「PTA 活動」など、一部の項目においては、特定の性別・年齢層において割合が著しく高くなっています。

表 20 性別・年齢層別にみた仕事や学業以外で参加している活動

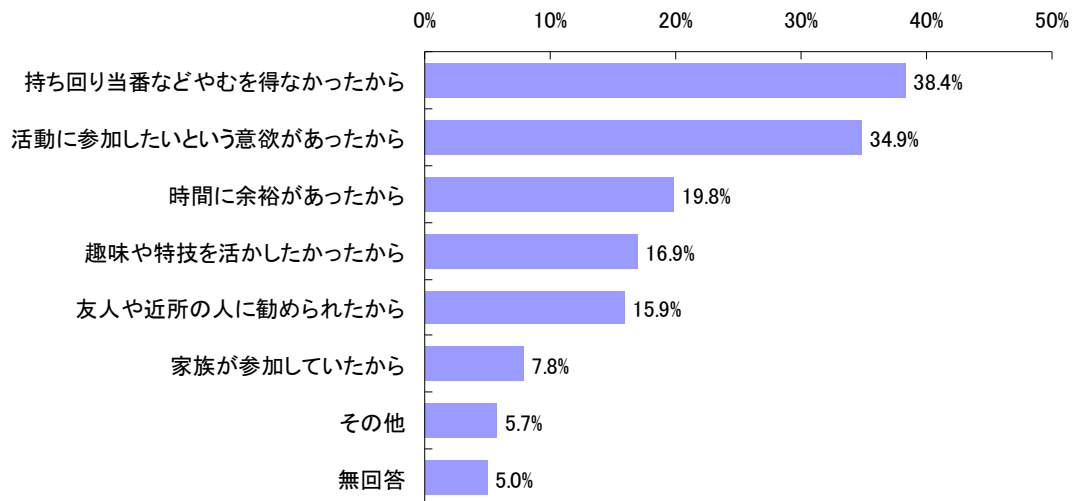
		高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動	身近な道路や公園などの清掃活動	文化・芸術・スポーツの参加や振興	祭や盆踊り、運動会などのイベント	資源回収やごみの分別、リサイクル活動	公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地(里山など)の自然環境の保全	在日外国人や海外との交流・支援などの活動	自治会・町内会の活動
男性	20～29歳(n=64)	0.0%	3.1%	9.4%	4.7%	3.1%	1.6%	1.6%	4.7%
	30～39歳(n=107)	0.9%	0.0%	6.5%	9.3%	3.7%	0.0%	0.0%	7.5%
	40～49歳(n=130)	3.8%	5.4%	9.2%	15.4%	5.4%	0.8%	0.0%	14.6%
	50～59歳(n=111)	2.7%	4.5%	12.6%	8.1%	4.5%	0.9%	0.9%	16.2%
	60～69歳(n=170)	7.1%	2.9%	8.8%	10.6%	7.6%	2.4%	1.2%	20.6%
	70歳以上(n=175)	6.3%	16.0%	10.9%	14.9%	10.3%	6.3%	0.0%	22.3%
女性	20～29歳(n=84)	1.2%	1.2%	9.5%	7.1%	3.6%	0.0%	1.2%	3.6%
	30～39歳(n=163)	0.6%	3.1%	11.0%	23.3%	5.5%	0.0%	1.2%	11.7%
	40～49歳(n=188)	2.7%	6.9%	13.3%	17.6%	10.6%	2.7%	0.5%	16.5%
	50～59歳(n=176)	5.7%	4.0%	11.4%	9.7%	4.5%	0.6%	1.1%	23.9%
	60～69歳(n=218)	7.8%	10.1%	12.4%	11.5%	5.5%	1.4%	0.0%	26.6%
	70歳以上(n=262)	6.1%	8.4%	11.8%	7.3%	9.2%	1.1%	0.8%	15.3%
		子ども会、婦人会、老人クラブの活動	PTA活動	保育ボランティアなどの子育て支援	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり	その他	特にない	無回答
男性	20～29歳(n=64)	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	76.6%	6.3%
	30～39歳(n=107)	0.9%	1.9%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	72.9%	1.9%
	40～49歳(n=130)	3.8%	6.9%	1.5%	2.3%	1.5%	0.0%	63.1%	3.8%
	50～59歳(n=111)	0.9%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	56.8%	4.5%
	60～69歳(n=170)	0.6%	0.0%	0.6%	5.3%	1.2%	1.2%	57.6%	6.5%
	70歳以上(n=175)	8.0%	0.0%	0.0%	6.9%	0.6%	3.4%	46.9%	12.0%
女性	20～29歳(n=84)	0.0%	2.4%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	76.2%	2.4%
	30～39歳(n=163)	14.7%	11.0%	3.1%	2.5%	0.0%	2.5%	55.8%	3.7%
	40～49歳(n=188)	11.2%	18.1%	1.1%	3.7%	0.0%	0.0%	47.9%	2.7%
	50～59歳(n=176)	2.8%	3.4%	4.5%	2.8%	0.0%	1.7%	54.5%	2.3%
	60～69歳(n=218)	2.8%	0.0%	2.3%	3.2%	0.0%	1.8%	50.0%	6.4%
	70歳以上(n=262)	6.5%	0.4%	0.0%	3.4%	0.0%	3.8%	45.8%	16.0%

☐: 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

【問 10-1 仕事や学業以外の活動に参加した主な理由】

問 10 で「特にない」と回答した方、及び無回答の方以外の回答者に対し、仕事や学業以外の活動に参加した主な理由について複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「持ち回り当番などやむを得なかったから」で 38.4%、次いで「活動に参加したいという意欲があったから」が 34.9%となっています。

図 46 仕事や学業以外の活動に参加した主な理由 (n=716) 【複数回答】

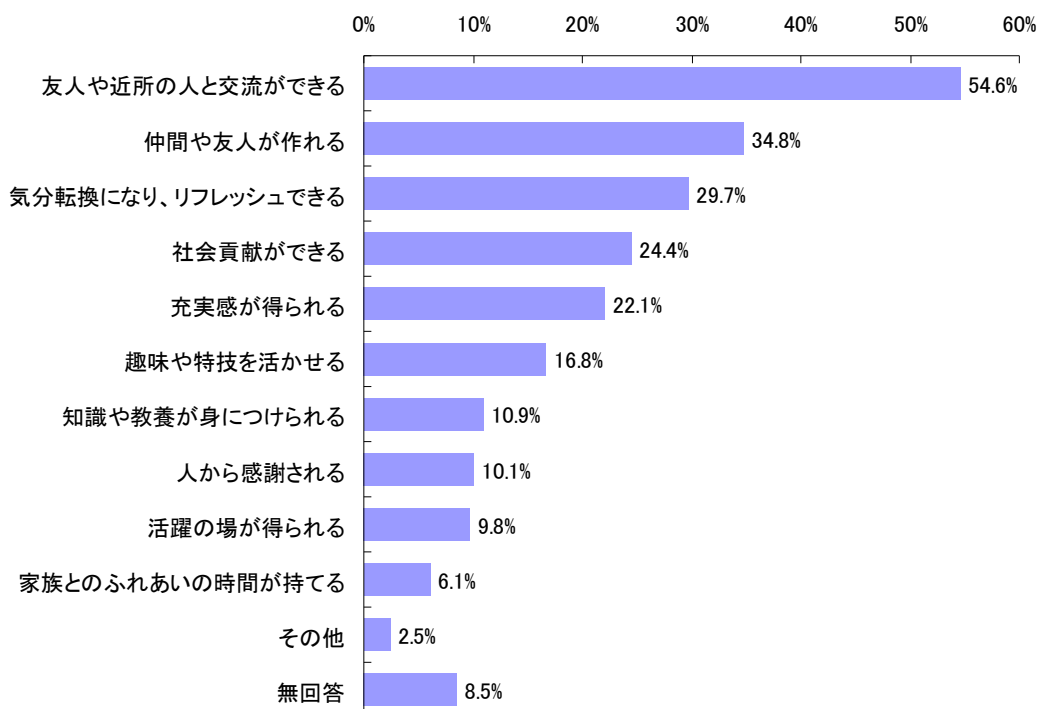


※問 10-1 については、問 10 における「特にない」・「無回答」以外の方を対象とした設問となっています。

【問 10-2 仕事や学業以外の活動に参加する楽しみ】

問 10 で「特にない」と回答した方、及び無回答の方以外の回答者に対し、仕事や学業以外の活動に参加する楽しみについて複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「友人や近所の人と交流ができる」で 54.6%、次いで「仲間や友人が作れる」が 34.8%、「気分転換になり、リフレッシュできる」が 29.7%となっています。

図 47 仕事や学業以外の活動に参加する楽しみ (n=716) 【複数回答】



※問 10-2 については、問 10 における「特にない」・「無回答」以外の方を対象とした設問となっています。

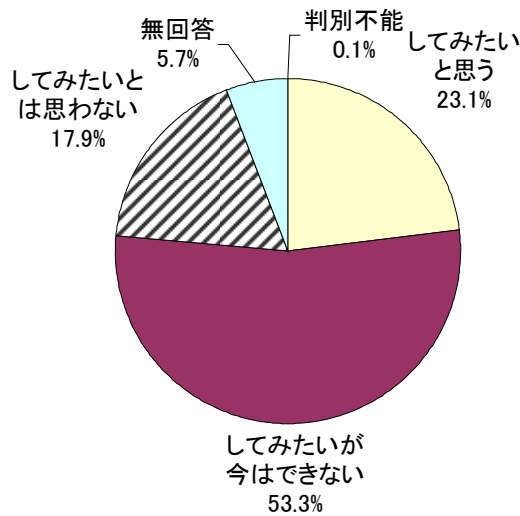
(4) 問 11 地域や社会に役立つ活動への参加意向

何か自分にできることで、地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思うかどうかについてたずねたところ、「してみたいと思う」は23.1%、「してみたいが今はできない」が53.3%、「してみたいとは思わない」が17.9%でした。

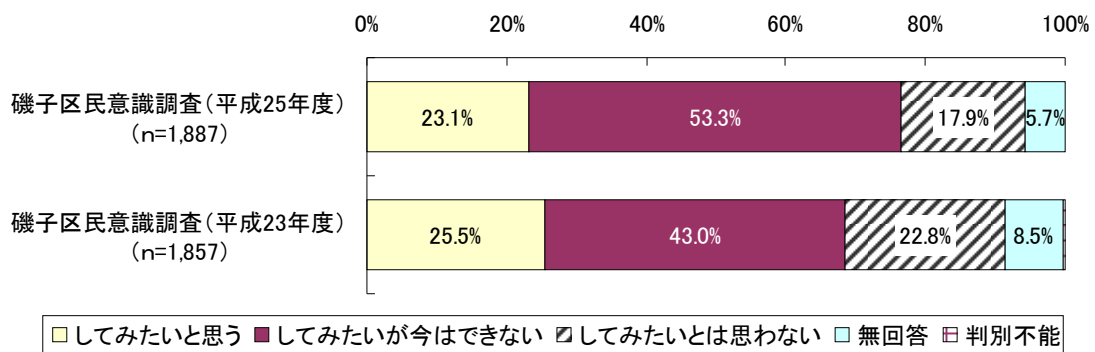
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」(平成23年度)と比較すると、「してみたいと思う」の割合はやや減少していますが、「してみたいとは思わない」の割合が減少し、「してみたいが今はできない」の割合が増加しており、「参加したい」という意向そのものは前回調査よりも高まっていることがうかがえます。

図 48 地域や社会に役立つ活動への参加意向 (n=1,887) 【単数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度)との比較

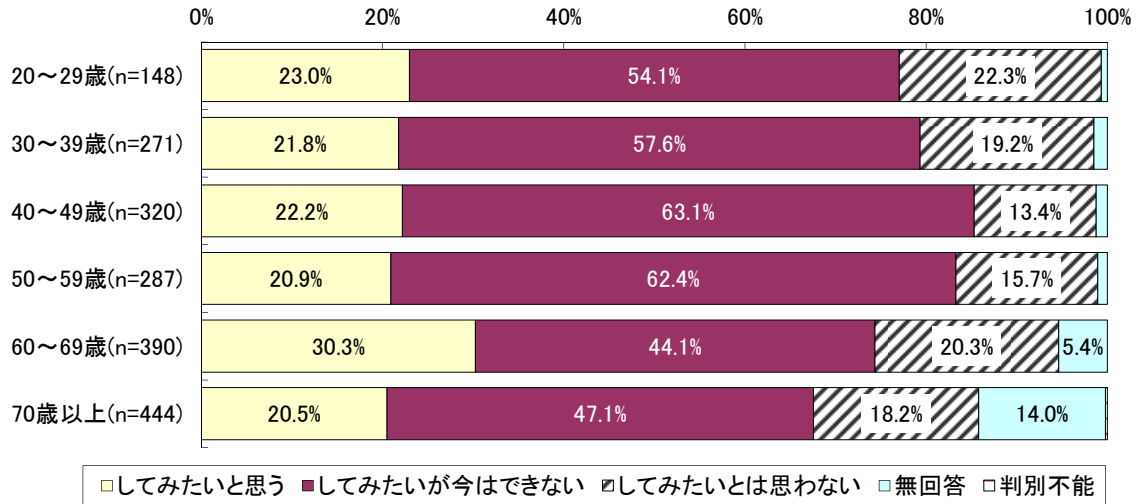


《年齢層別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向》

地域や社会に役立つ活動への参加意向について、年齢層別にみたところ、「してみたいと思う」と「してみたいが今はできない」の割合の合計は、「70歳以上」を除き7割を超えています。特に「40～49歳」と「50～59歳」では8割を超えており、特に割合が高くなっています。

なお、「してみたいと思う」の割合が最も高いのは「60～69歳」で、30.3%でした。

図 49 年齢層別にみた地域や社会に役立つ活動への参加意向



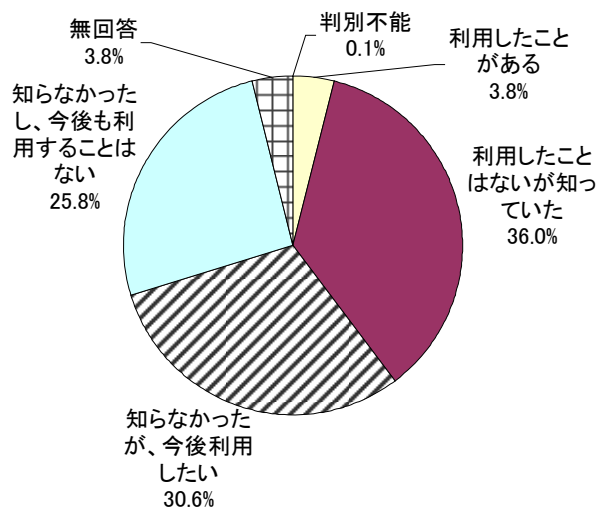
(5) 問 12 「磯子区民活動支援センター」の認知度

「磯子区民活動支援センター」を知っているかどうかたずねたところ、「利用したことがある」は 3.8%、「利用したことはないが知っていた」は 36.0%であり、39.8%が「知っていた」と回答しています。一方、56.4%の方が「知らなかった」（「知らなかったが、今後利用したい」＋「知らなかったし、今後も利用することはない」と回答していますが、うち「知らなかったが、今後利用したい」という回答が 30.6%となっています。

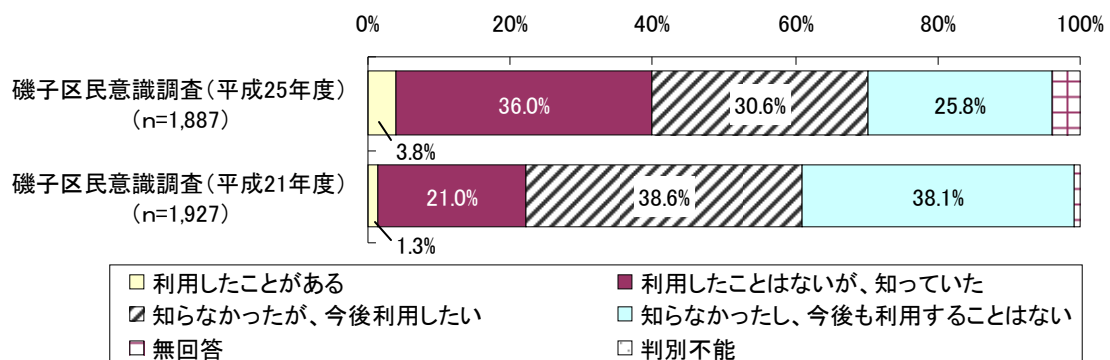
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成 21 年度）に「磯子区民活動支援センター」の認知度について同じ形式でたずねる設問がありましたが、この結果と比較すると、「利用したことがある」の割合が増加していることに加え、「利用したことはないが知っていた」の割合が大きく増加しており、4 年前と比べ認知度が高くなっています。

図 50 「磯子区民活動支援センター」の認知度（n=1,887）【単数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」（平成 21 年度）との比較



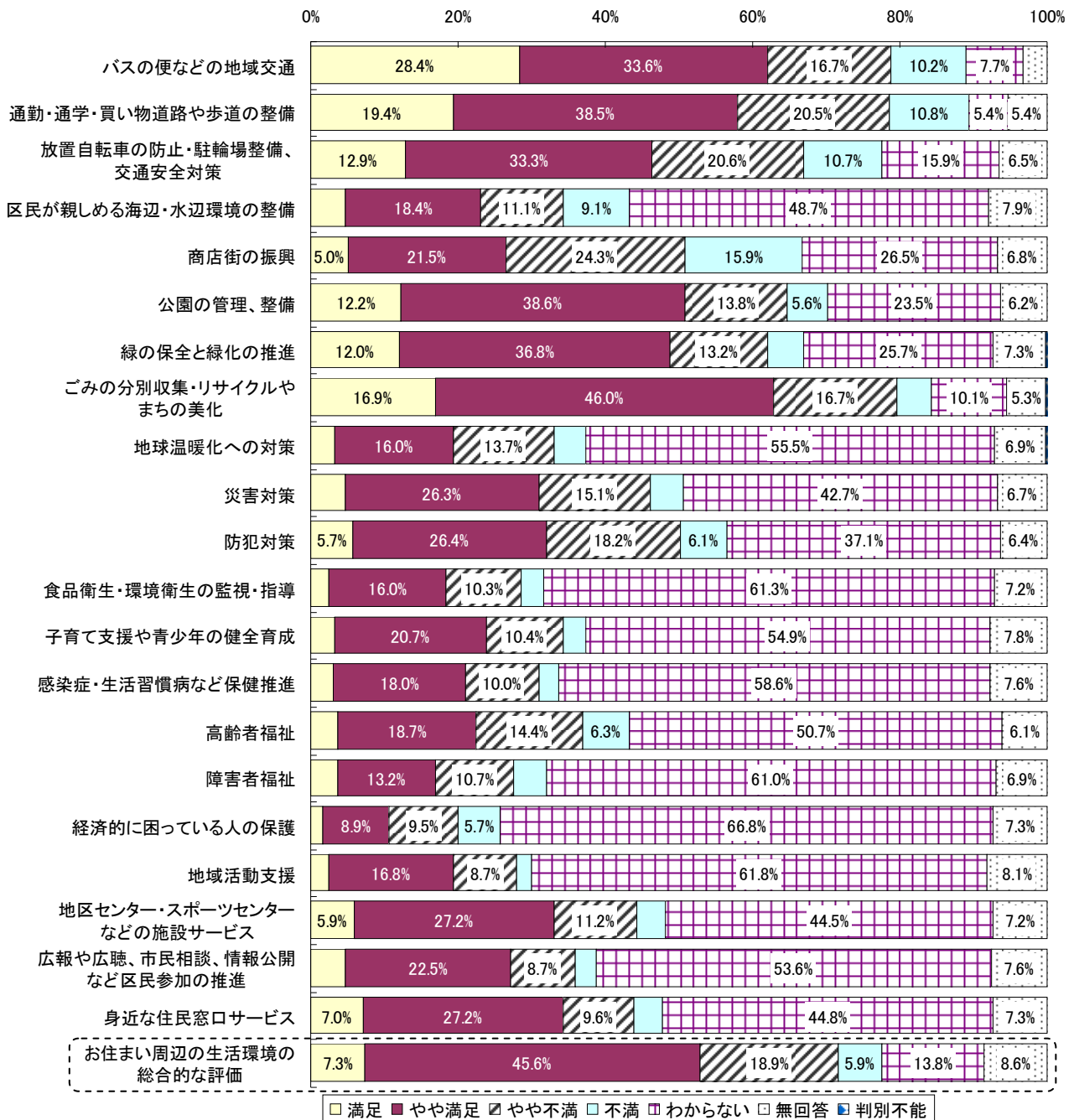
4. 生活環境全般に対する満足度・重要度について

(1) 問 13 生活環境に対する満足度

現在のお住まいの周辺の生活環境に対する満足度に関して、「総合的な評価」としては、「満足」が7.3%、「やや満足」が45.6%、「やや不満」が18.9%、「不満」が5.9%となっています。

観点別・項目別には、「満足」との回答は、「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」等で高く、一方、「不満」との回答は、「商店街の振興」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」等で高くなっています。

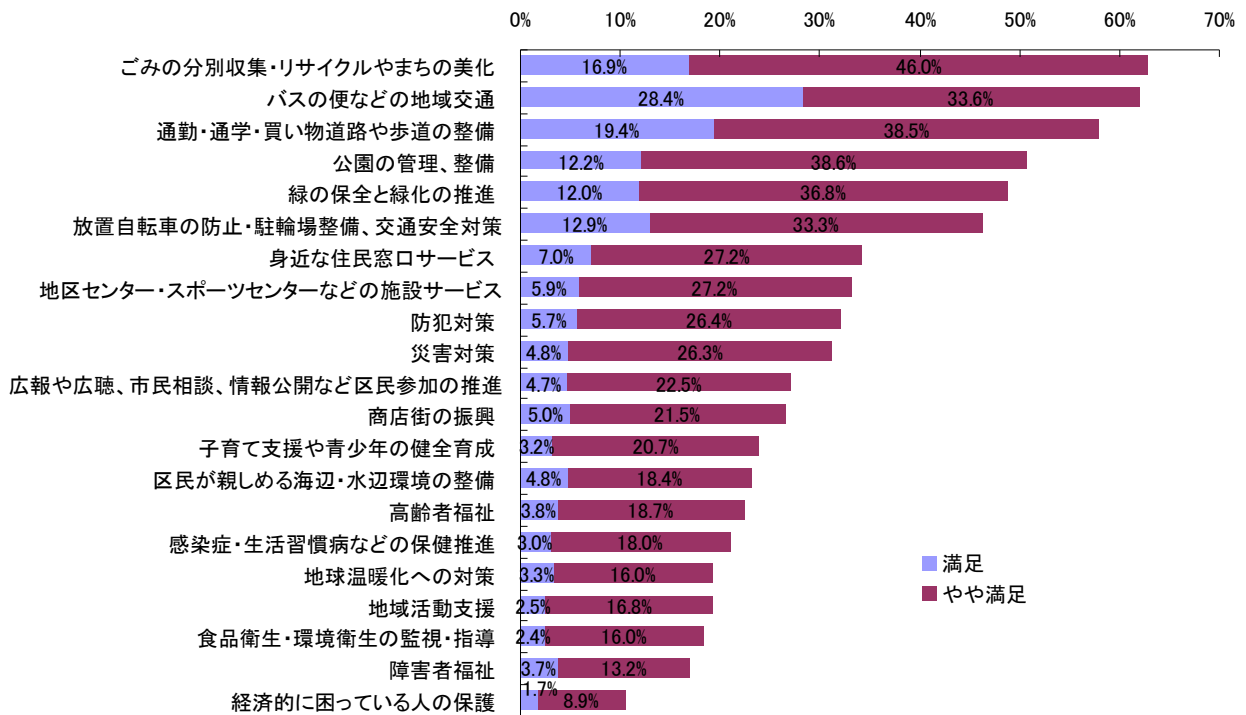
図 51 生活環境に対する観点別・項目別にみた満足度、及び総合的な満足度（n=1,887）【単数回答】



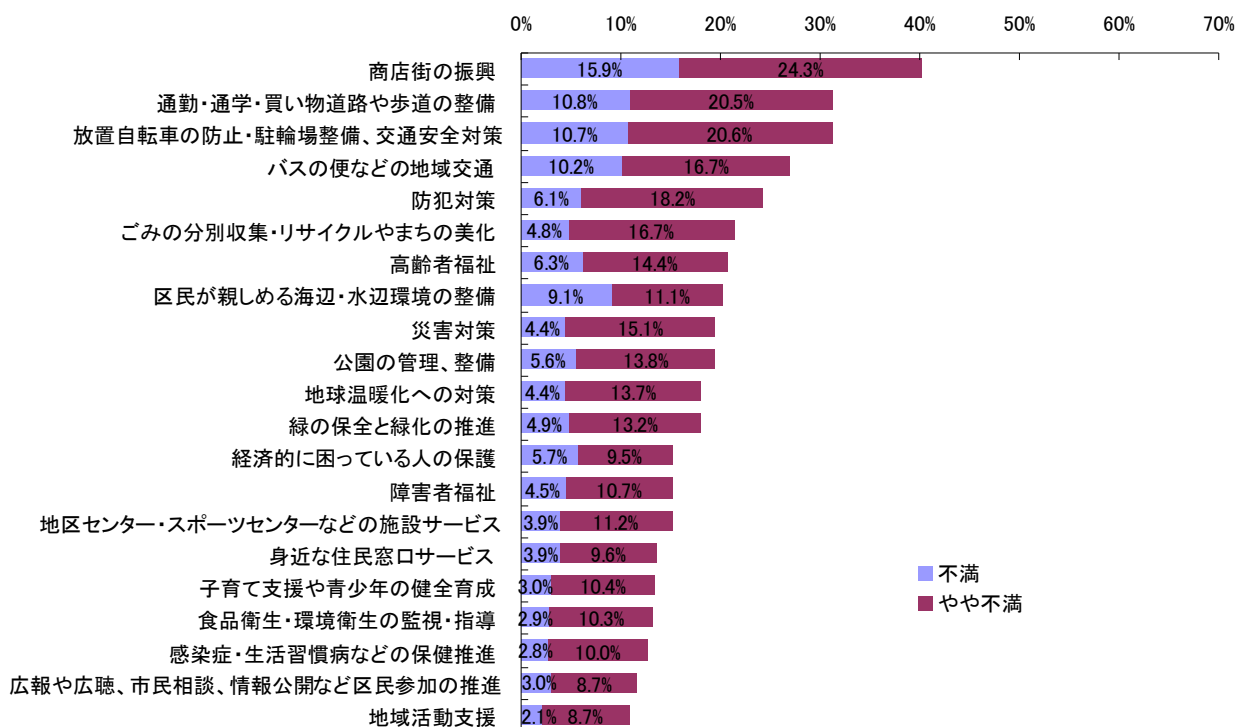
「満足」「やや満足」の合計が多い順に並べると下図のようになり、「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」が最も多く、次いで「バスの便などの地域交通」が多くなっていることを確認することができます。

同様に、「不満」「やや不満」の合計が多い順に並べると、「商店街の振興」や「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」に不満を感じている方がとくに多いことを、あらためて確認することができます。

【図 51-1】 観点別・項目別にみた生活環境に対する「満足」と「やや満足」の割合（n=1,887）

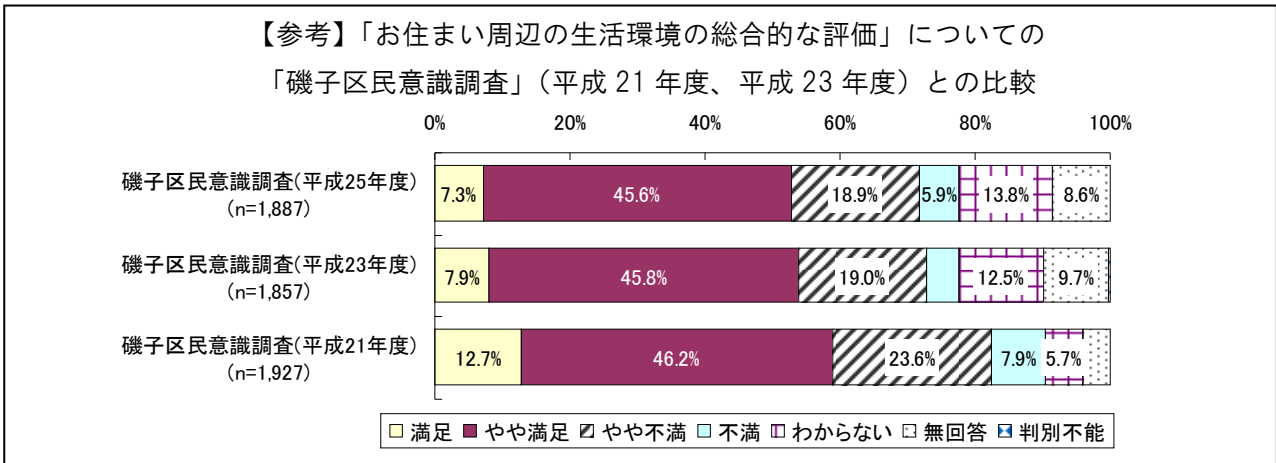


【図 51-2】 観点別・項目別にみた生活環境に対する「不満」と「やや不満」の割合（n=1,887）



《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」について、満足度を過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、平成 23 年度の調査結果とはあまり差がみられませんが、平成 21 年度の調査結果と比べると、「満足」の割合が低下しており、「わからない」の割合が高くなっています。

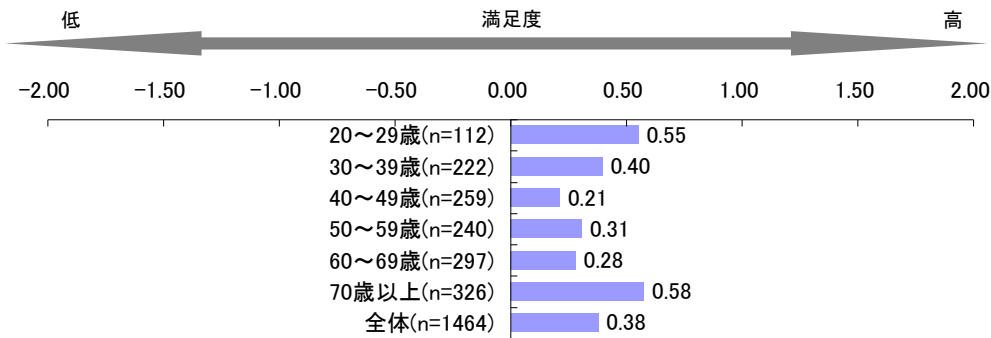


《年齢層別・居住地域別にみた「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」》

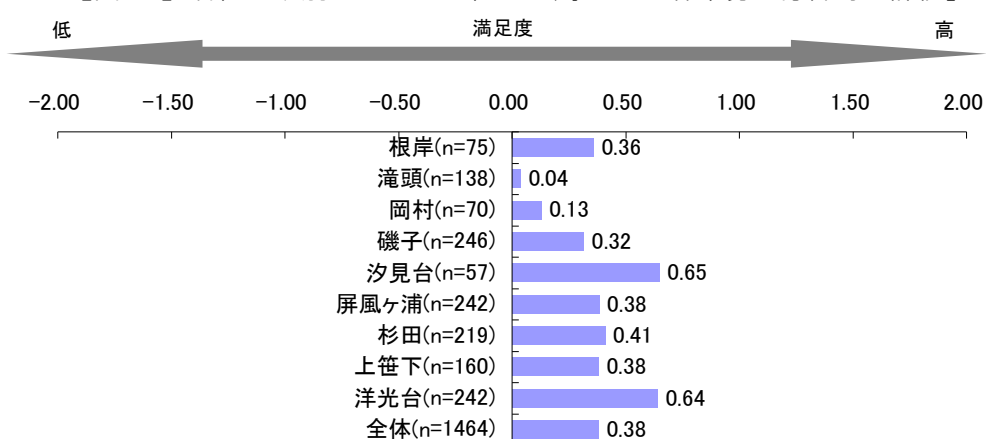
「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」について、「満足」を+2点、「やや満足」を+1点、「やや不満」を-1点、「不満」を-2点として加重平均し、満足度を指標化した数値を年齢層別にみると、「40～49歳」で評価が低く、「20～29歳」、及び「70歳以上」で高くなっていることがわかります。

また、同様の指標を用いて居住地域別に満足度をみると、汐見台、洋光台の2地域で満足度が高く、ともに0.60ポイントを上回っています。一方、滝頭では0.04ポイントとなっており、満足度についてプラスにはなっていませんが、他地域と比較して特に満足度が低くなっています。

【図 52】年齢層別にみた「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」



【図 53】居住地域別にみた「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」



《居住地域別にみた生活環境に対する満足度》

居住地域別に「満足」と「やや満足」の割合の合計が高い項目をみると、表 21 のようになります。

「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」（表中では「ごみの分別」）、「バスの便などの地域交通」（表中では「地域交通」）や、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（表中では「道路整備」）、「公園の管理、整備」（表中では「公園の管理」）、「緑の保全と緑化の推進」（表中では「緑化推進」）が各地域で上位に入っていますが、その順位には地域による差がみられます。

一方、「やや不満」と「不満」の割合の合計が高い項目をみると、表 22 のようになります。

ほとんどの地域で「商店街の振興」、「放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策」（表中では「交通安全対策」）に対し不満と感じている割合が高くなっています。特に、汐見台では「商店街の振興」（表中では「商店街振興」）について「やや不満」と「不満」の合計が 6 割を超えています。

また「バスの便などの地域交通」（表中では「地域交通」）、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（表中では「道路整備」）など、「満足」と「やや満足」の割合が高い項目についても、不満と感じている方の割合が高い場合があることがわかります。特に「バスの便などの地域交通」（表中では「地域交通」）について、上笹下では「やや不満」と「不満」の割合が 4 割を超え、全項目の中で最も不満を感じている方が多い項目となっています。

※表 21、表 22、及び図 56、図 57、図 59、図 60 に記載されている項目は、名称を省略して表記しており、その対応関係は以下の通りです。

項目略称	元の項目名	項目略称	元の項目名
地域交通	バスの便などの地域交通	食品・環境衛生	食品衛生・環境衛生の監視・指導
道路整備	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	子育て支援	子育て支援や青少年の健全育成
交通安全対策	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	保健推進	感染症・生活習慣病など保健推進
水辺環境整備	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	高齢者福祉	高齢者福祉
商店街振興	商店街の振興	障害者福祉	障害者福祉
公園の管理	公園の管理、整備	経済的困窮者保護	経済的に困っている人の保護
緑化推進	緑の保全と緑化の推進	地域活動支援	地域活動支援
ごみの分別	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	施設サービス	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス
地球温暖化対策	地球温暖化への対策	広報・広聴等	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進
災害対策	災害対策	窓口サービス	身近な住民窓口サービス
防犯対策	防犯対策		

表 21 居住地域別にみた生活環境に対する「満足」+「やや満足」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸 (n=109)	地域交通	74.3%	ごみの分別	66.1%	道路整備	61.5%	交通安全対策	55.0%	公園の管理	45.0%
滝頭 (n=183)	地域交通	58.5%	ごみの分別	49.7%	道路整備	44.8%	公園の管理	44.8%	緑化推進	42.6%
岡村 (n=92)	ごみの分別	66.3%	地域交通	59.8%	公園の管理	59.8%	緑化推進	54.3%	道路整備	46.7%
磯子 (n=317)	ごみの分別	66.6%	地域交通	65.3%	道路整備	59.9%	公園の管理	50.2%	緑化推進	48.6%
汐見台 (n=71)	ごみの分別	77.5%	道路整備	76.1%	公園の管理	70.4%	緑化推進	69.0%	交通安全対策	64.8%
屏風ヶ浦 (n=309)	地域交通	63.1%	ごみの分別	58.9%	道路整備	56.6%	交通安全対策	49.5%	公園の管理	40.5%
杉田 (n=277)	ごみの分別	57.8%	地域交通	56.0%	公園の管理	51.6%	緑化推進	48.7%	施設サービス	45.1%
上笹下 (n=197)	ごみの分別	64.0%	道路整備	60.4%	公園の管理	54.8%	緑化推進	53.3%	地域交通	51.3%
洋光台 (n=296)	道路整備	79.1%	ごみの分別	73.3%	地域交通	69.6%	交通安全対策	65.9%	緑化推進	61.5%

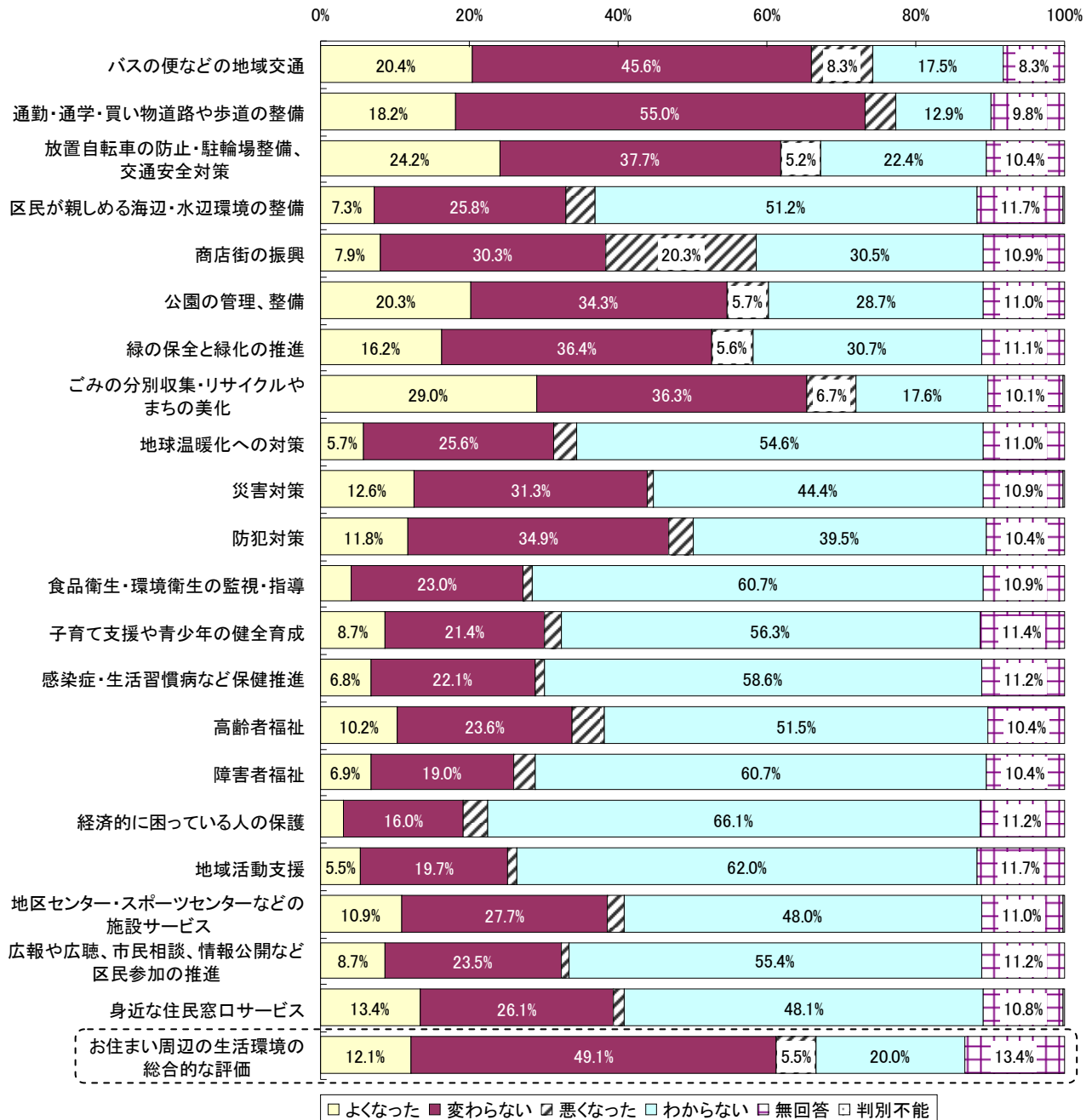
表 22 居住地域別にみた生活環境に対する「やや不満」+「不満」の割合の高い項目

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
根岸 (n=109)	商店街振興	31.2%	交通安全対策	29.4%	道路整備	25.7%	高齢者福祉	21.1%	緑化推進	20.2%
滝頭 (n=183)	商店街振興	46.4%	道路整備	44.8%	交通安全対策	41.5%	地域交通	37.2%	ごみの分別	30.6%
岡村 (n=92)	商店街振興	45.7%	道路整備	38.0%	地域交通	35.9%	交通安全対策	31.5%	高齢者福祉	28.3%
磯子 (n=317)	商店街振興	38.2%	道路整備	28.4%	交通安全対策	28.4%	地域交通	22.7%	水辺環境整備	22.7%
汐見台 (n=71)	商店街振興	64.8%	地域交通	33.8%	防犯対策	22.5%	災害対策	21.1%	道路整備	19.7%
屏風ヶ浦 (n=309)	商店街振興	40.5%	交通安全対策	34.3%	道路整備	33.0%	防犯対策	27.2%	ごみの分別	26.5%
杉田 (n=277)	道路整備	46.6%	交通安全対策	43.3%	商店街の振興	32.5%	地域交通	31.4%	ごみの分別	27.1%
上笹下 (n=197)	地域交通	42.6%	商店街振興	37.6%	道路整備	32.5%	防犯対策	30.5%	交通安全対策	28.4%
洋光台 (n=296)	商店街振興	44.6%	防犯対策	20.6%	交通安全対策	20.6%	高齢者福祉	18.9%	公園の管理	18.6%

(2) 問 13 生活環境に対する満足度の以前との比較

生活環境に対する満足度について、以前と比べての変化についてたずねたところ、「よくなった」との回答が多かったのは「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」、「放置自転車の防止・駐車場整備、交通安全対策」、「バスの便などの地域交通」、「公園の管理、整備」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」等となっています。一方、「悪くなった」との回答が特に多かったのは、「商店街の振興」でした。

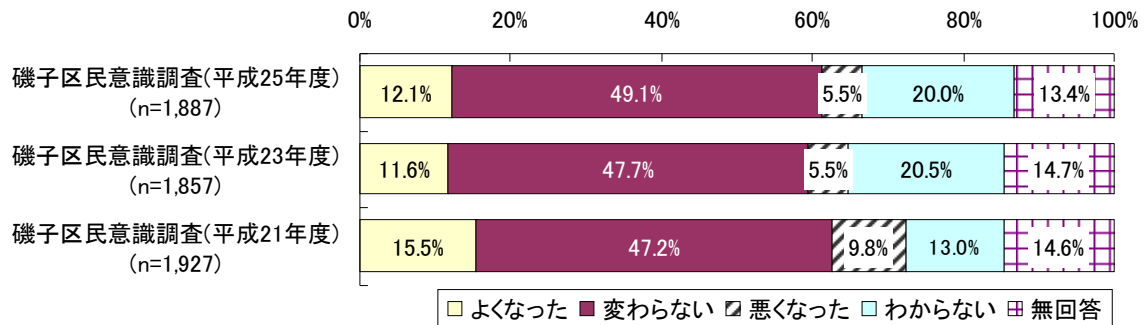
図 54 生活環境に対する満足度の以前との比較 (n=1,887) 【単数回答】



《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」について、以前からの変化を過去の「磯子区民意識調査」と比較すると、平成 23 年度の調査結果とはあまり差が見られませんが、平成 21 年度の調査結果と比べると、「よくなった」、及び「悪くなった」の割合が低下しており、「わからない」の割合が高くなっています。

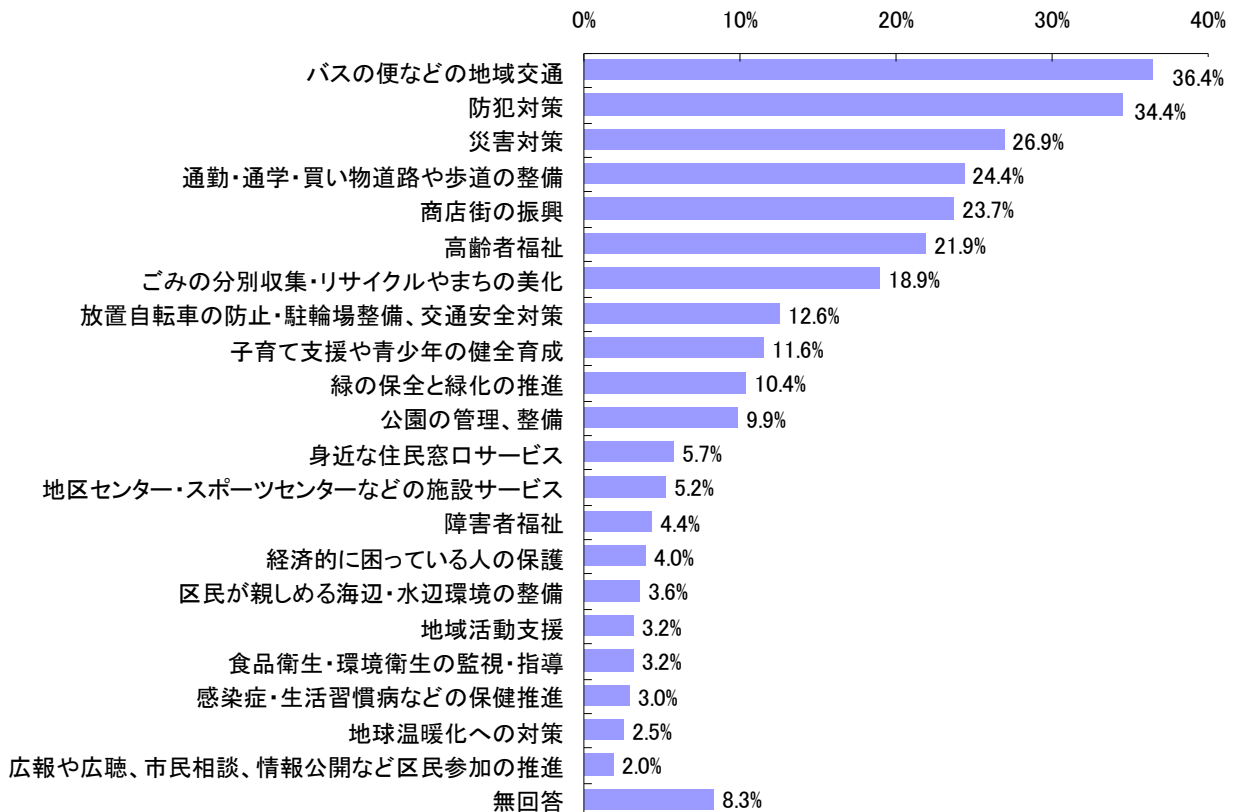
【参考】「お住まい周辺の生活環境の総合的な評価」についての
「磯子区民意識調査」（平成 21 年度、23 年度）との比較



(3) 問 14 住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いもの

住まいの周辺の環境に関し、「とくに重要度が高いと考えるもの」について項目を3つまで挙げてもらったところ、「バスの便などの地域交通」が36.4%と最も多く、次いで「防犯対策」が34.4%、「災害対策」が26.9%となっています。

図 55 住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの (n=1,887)【複数回答 (3つまで)】



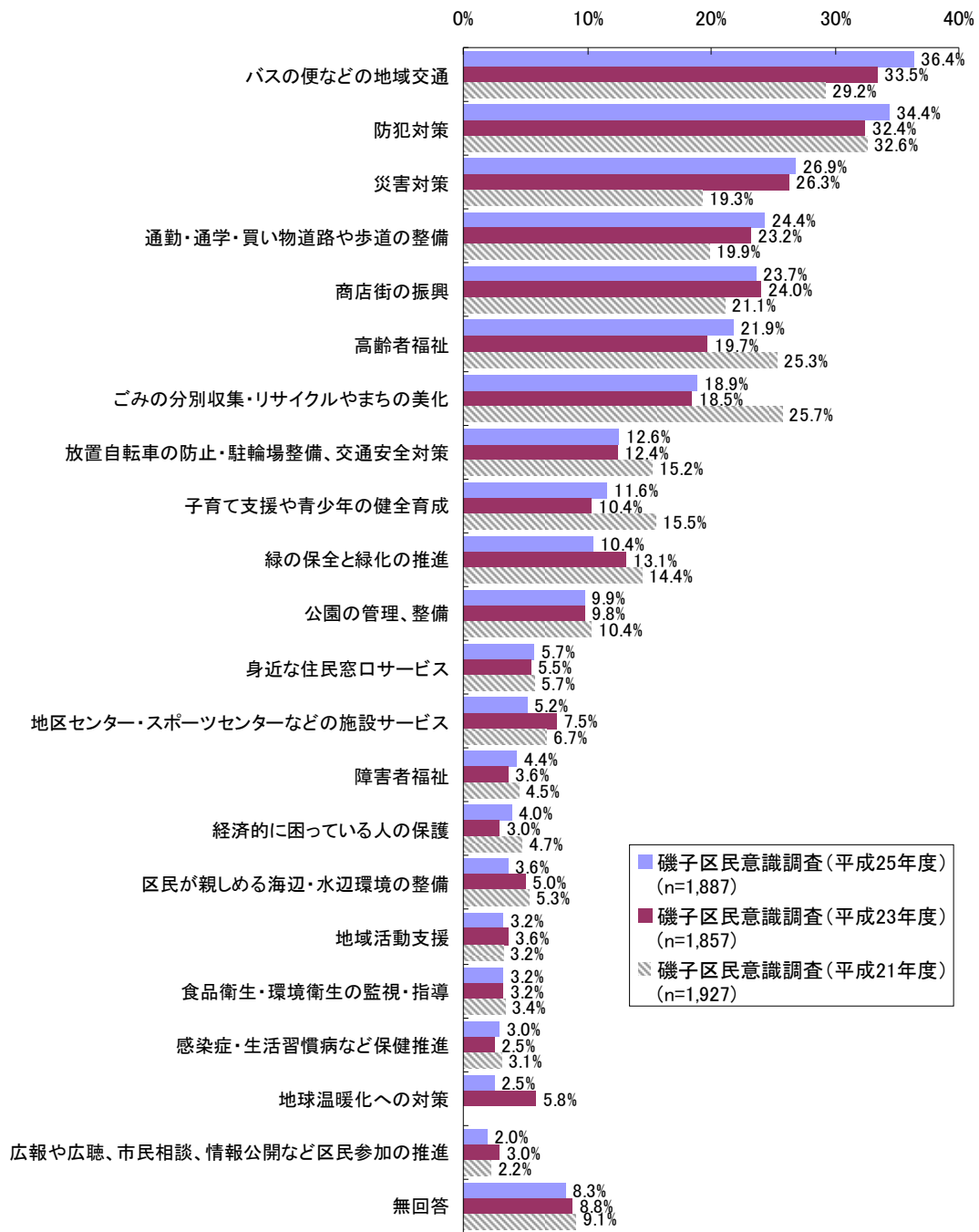
《「磯子区民意識調査」(平成21年度、平成23年度)との比較》

「磯子区民意識調査」(平成23年度)と比較すると、全体的にみて、どれが割合の高い項目か、あるいは低い項目かということについては、ほぼ同様の結果となっています。

各項目の割合についてみると、「バスの便などの地域交通」、「防犯対策」等の項目では平成23年度よりも割合が高くなっており、一方で「緑の保全と緑化の推進」、「地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス」、「地球温暖化への対策」等では割合が低くなっています。

また、平成21年度の調査結果と比較すると、「災害対策」や「バスの便などの地域交通」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」などの項目では今回の調査のほうが割合が高くなっていますが、一方で「ごみの分別やまちの美化」、「緑の保全と緑化の推進」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「高齢者福祉」などの項目では割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」（平成21年度、平成23年度）との比較



《割合の高かった項目（上位5項目）》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査 (平成25年度) (n=1,887)	地域の交通	36.4%	防犯対策	34.4%	災害対策	26.9%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	24.4%	商店街の振興	23.7%
磯子区民意識調査 (平成23年度) (n=1,857)	地域の交通	33.5%	防犯対策	32.4%	災害対策	26.3%	商店街の振興	24.0%	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	23.2%
磯子区民意識調査 (平成21年度) (n=1,927)	防犯対策	32.6%	地域の交通	29.2%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	25.7%	高齢者福祉	25.3%	商店街の振興	21.1%

《居住地域別にみた「住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いもの」》

「住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いもの」について居住地域別にみると、表 23 のようになっています。

「バスの便などの地域交通」は、全体では回答割合の最も高かった項目となっていますが、地域によってその割合には差がみられ、最も高かった汐見台では 49.3%であったのに対し、最も低かった根岸では 25.7%となっています。同様に、「商店街の振興」、「放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」等の項目でも地域によって大きな差がみられ、特に「商店街の振興」は汐見台で 42.3%であるのに対し根岸では 15.6%となっており、地域による重要度の差が顕著に表れています。

表 23 居住地域別にみた「住まいの周辺の環境にとって、特に重要度が高いもの」

	バスの便などの地域交通	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	商店街の振興	公園の管理、整備	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	地球温暖化への対策	災害対策	防犯対策
根岸(n=109)	25.7%	23.9%	23.9%	3.7%	15.6%	5.5%	10.1%	27.5%	1.8%	25.7%	31.2%
滝頭(n=183)	43.7%	32.2%	12.6%	4.4%	20.2%	7.1%	8.2%	20.8%	3.8%	25.1%	31.7%
岡村(n=92)	45.7%	25.0%	5.4%	6.5%	18.5%	8.7%	6.5%	18.5%	3.3%	33.7%	29.3%
磯子(n=317)	38.2%	24.3%	10.4%	3.5%	24.9%	7.6%	10.4%	15.5%	2.2%	30.3%	28.7%
汐見台(n=71)	49.3%	19.7%	4.2%	5.6%	42.3%	22.5%	15.5%	14.1%	1.4%	16.9%	31.0%
屏風ヶ浦(n=309)	29.1%	25.6%	16.8%	2.6%	22.3%	9.4%	10.7%	24.6%	2.6%	28.2%	40.1%
杉田(n=277)	38.6%	29.6%	14.4%	3.6%	22.0%	10.5%	11.6%	15.9%	1.1%	22.0%	37.2%
上笹下(n=197)	43.7%	25.4%	11.7%	2.0%	22.8%	10.7%	9.6%	15.2%	3.0%	26.9%	38.1%
洋光台(n=296)	29.1%	14.9%	9.5%	4.4%	28.7%	12.5%	12.5%	18.2%	3.7%	29.4%	36.8%
	食品衛生・環境衛生の監視・指導	子育て支援や青少年の健全育成	感染症・生活習慣病などの保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	経済的に困っている人の保護	地域活動支援	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	身近な住民窓口サービス	無回答
根岸(n=109)	1.8%	11.0%	1.8%	21.1%	2.8%	3.7%	1.8%	10.1%	1.8%	2.8%	12.8%
滝頭(n=183)	1.1%	9.8%	4.4%	16.4%	5.5%	5.5%	1.6%	2.7%	2.7%	5.5%	8.7%
岡村(n=92)	3.3%	10.9%	0.0%	18.5%	3.3%	7.6%	1.1%	6.5%	4.3%	3.3%	12.0%
磯子(n=317)	2.2%	9.1%	4.1%	21.8%	5.7%	2.8%	4.4%	4.7%	1.6%	5.7%	12.0%
汐見台(n=71)	0.0%	18.3%	0.0%	15.5%	7.0%	7.0%	2.8%	1.4%	2.8%	4.2%	4.2%
屏風ヶ浦(n=309)	4.9%	12.9%	4.5%	22.3%	3.6%	2.9%	4.5%	6.8%	1.0%	5.8%	4.2%
杉田(n=277)	4.3%	10.5%	3.6%	25.6%	4.7%	4.7%	4.0%	4.7%	2.5%	5.4%	5.4%
上笹下(n=197)	3.6%	13.2%	1.5%	20.3%	3.0%	4.6%	2.5%	3.0%	2.5%	7.1%	7.6%
洋光台(n=296)	3.7%	13.9%	1.7%	26.4%	4.1%	2.7%	3.0%	6.8%	1.4%	7.8%	6.8%

: 他の地域と比較して顕著な特徴の見られる部分

《重要度と満足度の関係》

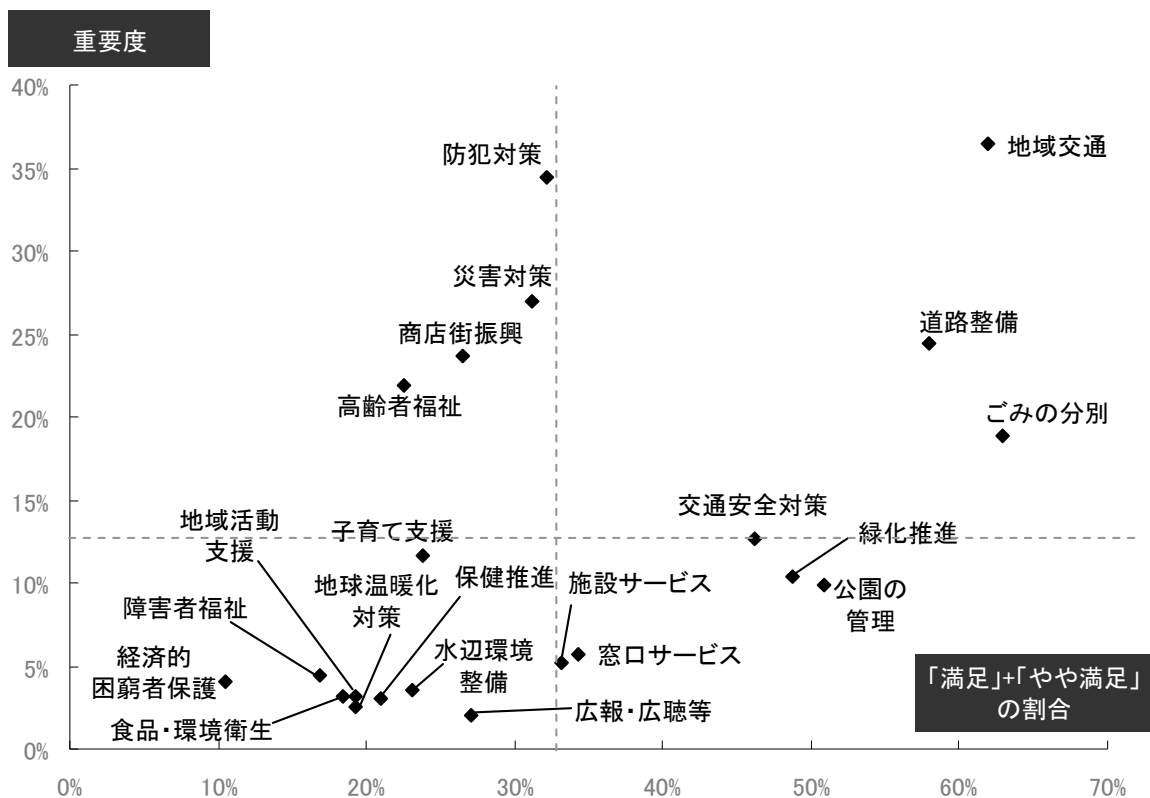
住まいの周辺の環境に関し、各項目の「とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問 13 における「満足」+「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、図 56 のようになります。

重要度の高い項目についてみると、「バスの便などの地域交通」（図中では「地域交通」）や「ごみの分別」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（図中では「道路整備」）は重要度、「満足」+「やや満足」の割合がともに高い位置にあります。一方で「防犯対策」、「災害対策」、「商店街の振興」（図中では「商店街振興」）といった項目は問 13 における「満足」と「やや満足」の合計は 2 割から 3 割程度となっており、項目全体からみて割合があまり高くないところに位置しています。

また、「とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問 13 における「不満」+「やや不満」の割合（横軸）の関係についてみると、図 57 のようになります。

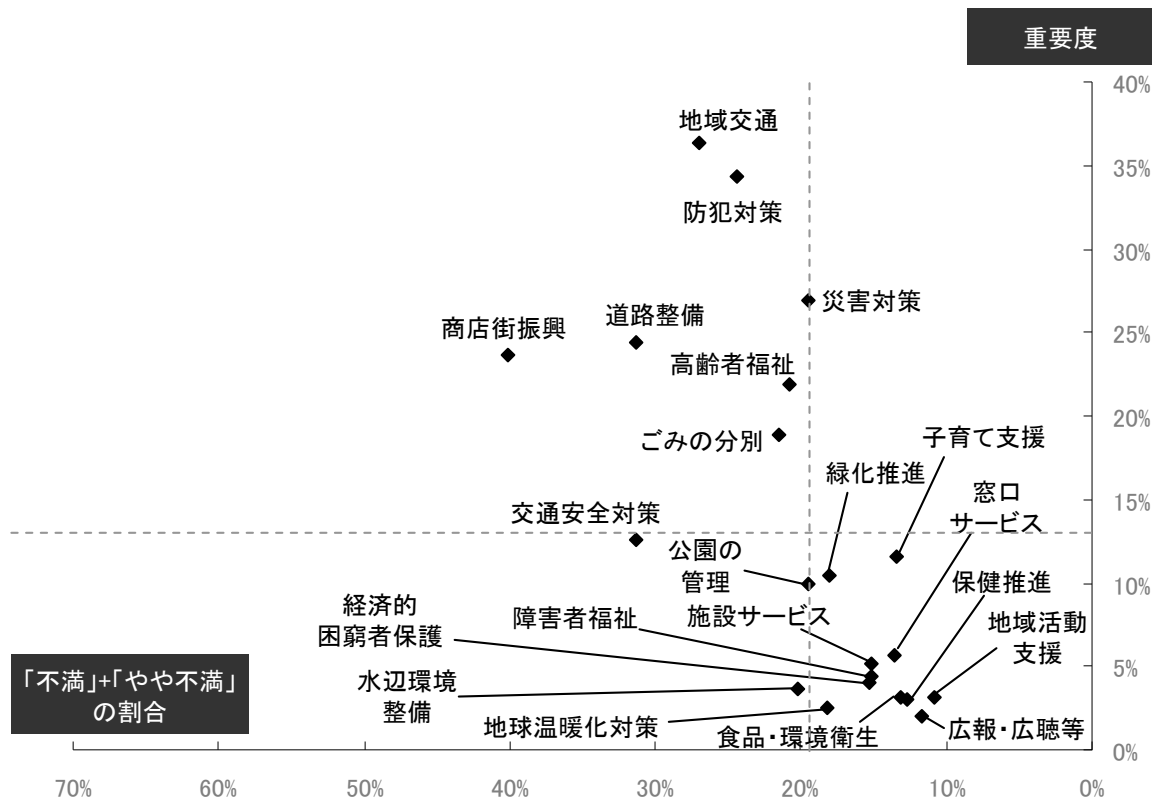
「バスの便などの地域交通」（図中では「地域交通」）、「防犯対策」、「災害対策」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」（図中では「道路整備」）、「商店街の振興」（図中では「商店街振興」）等の項目は重要度が高い位置にありますが、「不満」+「やや不満」の割合が高くなっています。

図 56 住まいの周辺環境における重要度と「満足」+「やや満足」の割合



※図中の点線は、各項目についての「住まいの周辺の環境に関し、とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「満足」+「やや満足」の平均値を意味しています。

図 57 住まいの周辺環境における重要度と「不満」+「やや不満」の割合

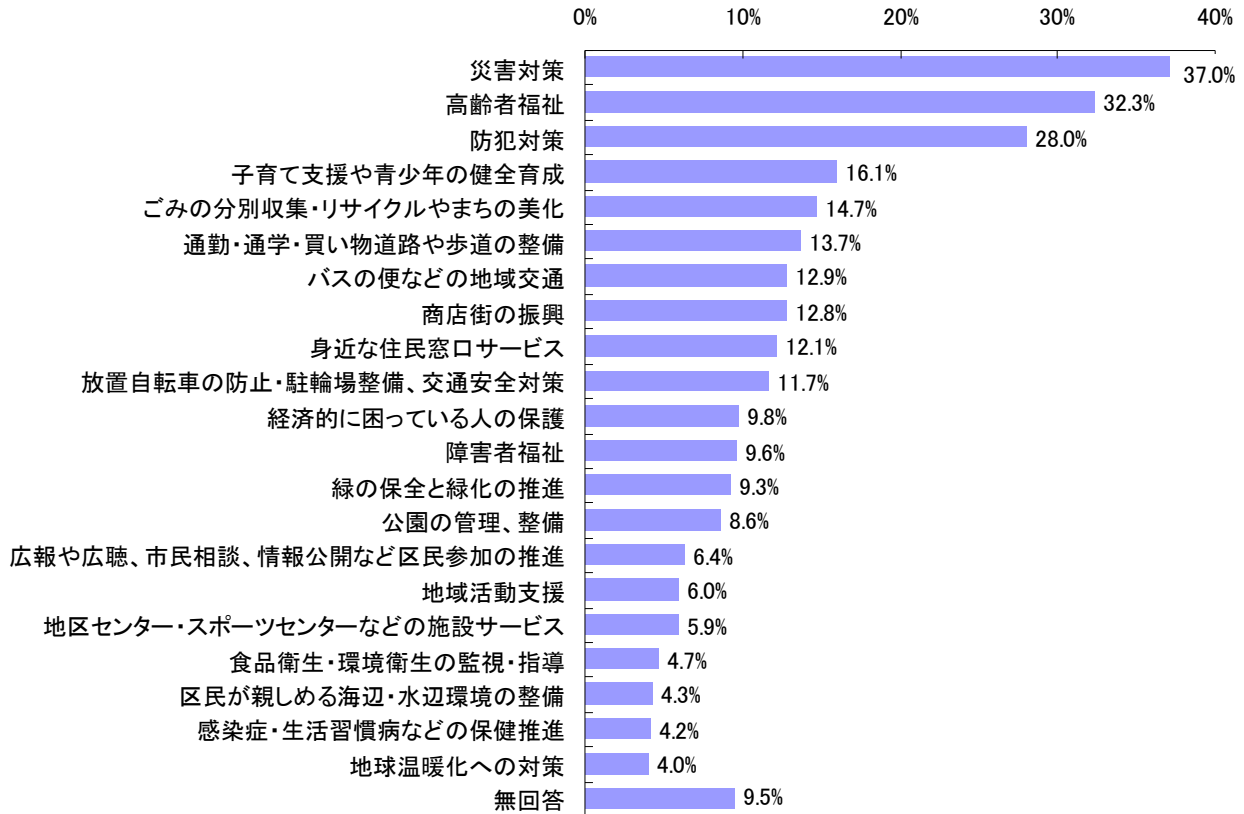


※図中の点線は、各項目についての「住まいの周辺の環境に関し、とくに重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「不満」+「やや不満」の平均値を意味しています。

(4) 問 15 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの

問 14 と同様の項目について、「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」を 3 つまで挙げてもらったところ、「災害対策」が 37.0%と最も多く、次いで「高齢者福祉」が 32.3%、「防犯対策」が 28.0%となっています。この 3 つの項目については、他と比べて特に多くの回答が集まっていることがわかります。

図 58 磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの (n=1,887) 【複数回答 (3 つまで)】



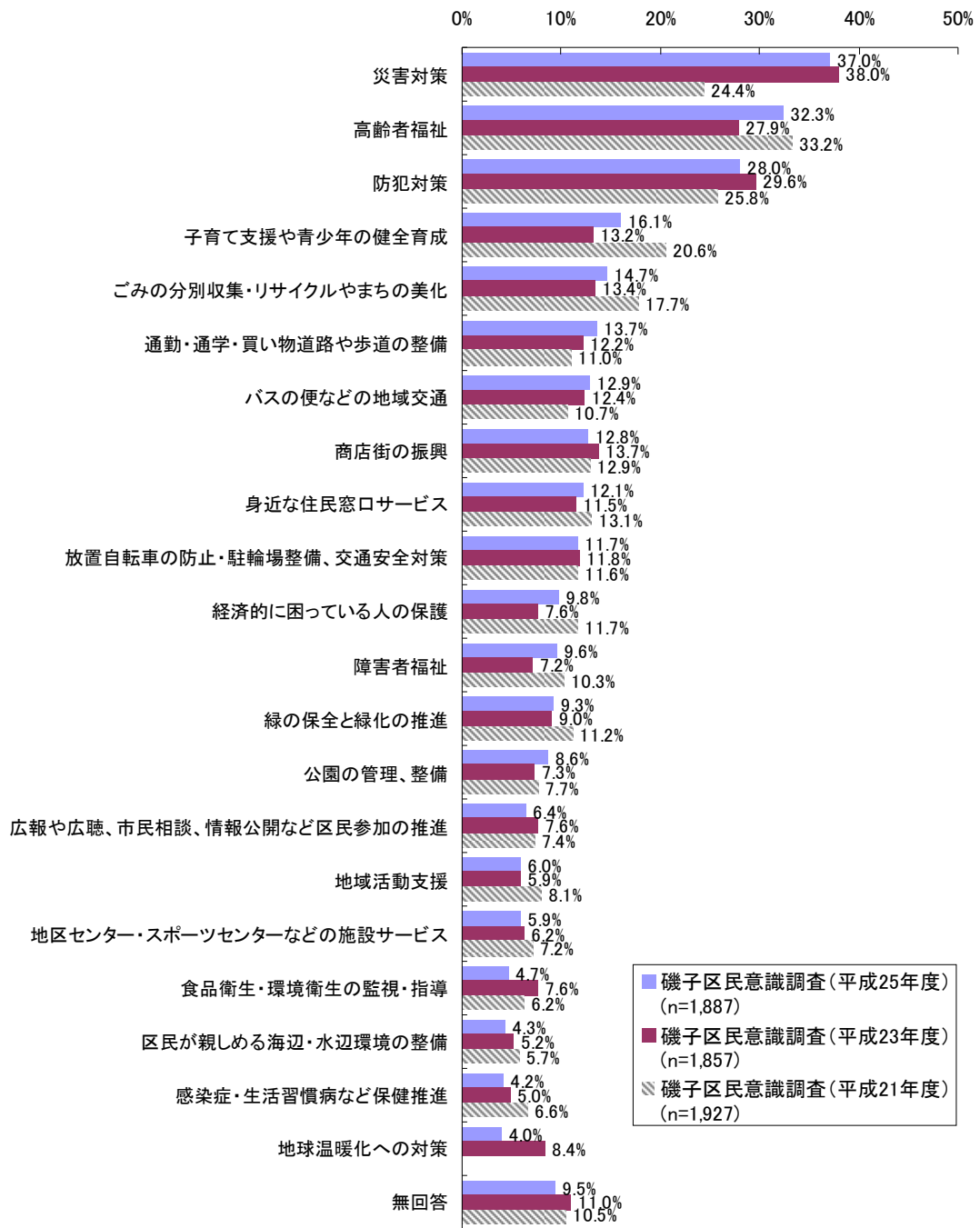
《「磯子区民意識調査」(平成 21 年度、平成 23 年度) との比較》

「磯子区民意識調査」(平成 23 年度) と比較すると、p 69 のようになっており、全体的にみて、どれが割合の高い項目か、あるいは低い項目かということについては、ほぼ同様の結果となっています。

各項目の割合についてみると、「高齢者福祉」や「子育て支援や青少年の健全育成」、「障害者福祉」、「経済的に困っている人の保護」などは平成 23 年度調査よりも割合が高くなっており、一方で「地球温暖化への対策」、「食品衛生や環境衛生の監視・指導」などでは割合が低くなっています。

また、平成 21 年度の調査結果と比較すると、「災害対策」の割合が 12.6 ポイント高くなっており、他の項目に比べて変化が大きいことがわかります。一方、「子育て支援や青少年の健全育成」や「ごみの分別収集、リサイクルやまちの美化」などの項目では、平成 21 年度調査よりも割合が低くなっています。

【参考】「磯子区民意識調査」（平成21年度、平成23年度）との比較



《割合の高かった項目（上位5項目）》

	1位		2位		3位		4位		5位	
	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合	項目名	割合
磯子区民意識調査 (平成25年度) (n=1,887)	災害対策	37.0%	高齢者福祉	32.3%	防犯対策	28.0%	子育て支援や青少年の健全育成	16.1%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	14.7%
磯子区民意識調査 (平成23年度) (n=1,857)	災害対策	38.0%	防犯対策	29.6%	高齢者福祉	27.9%	商店街の振興	13.7%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	13.4%
磯子区民意識調査 (平成21年度) (n=1,927)	高齢者福祉	33.2%	防犯対策	25.8%	災害対策	24.4%	子育て支援や青少年の健全育成	20.6%	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	17.7%

《居住地域別にみた「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」》

「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」について居住地域別にみると、表 24 のようになっています。

「災害対策」は、全体では回答割合の最も高かった項目であり、各地域で3割を超えています。地域によってその割合には差がみられ、最も高かった岡村では46.7%であったのに対し、最も低かった杉田では32.9%となっています。同様に、「高齢者福祉」、「通勤・通学・買い物道路や歩道の整備」、「バスの便などの地域交通」、「放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」等の項目でも地域によって顕著な差がみられます。

また、「子育て支援や青少年の健全育成」については、汐見台では26.8%となっており、全地域の中で特に割合が高くなっています。

表 24 居住地域別にみた「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いもの」

	バスの便などの地域交通	通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	商店街の振興	公園の管理、整備	緑の保全と緑化の推進	ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	地球温暖化への対策	災害対策	防犯対策
根岸(n=109)	9.2%	10.1%	16.5%	8.3%	14.7%	4.6%	10.1%	11.0%	6.4%	41.3%	22.9%
滝頭(n=183)	19.1%	17.5%	13.1%	3.8%	12.6%	6.0%	6.6%	14.8%	3.8%	37.7%	26.8%
岡村(n=92)	14.1%	7.6%	5.4%	5.4%	9.8%	8.7%	7.6%	15.2%	3.3%	46.7%	27.2%
磯子(n=317)	12.6%	14.8%	10.4%	4.1%	13.2%	11.0%	12.0%	12.6%	3.5%	36.3%	29.3%
汐見台(n=71)	14.1%	8.5%	2.8%	1.4%	18.3%	11.3%	9.9%	19.7%	5.6%	36.6%	25.4%
屏風ヶ浦(n=309)	7.1%	13.9%	12.0%	4.2%	14.2%	8.1%	9.4%	17.2%	4.2%	38.2%	31.4%
杉田(n=277)	16.2%	19.1%	16.2%	5.1%	12.6%	6.1%	7.6%	17.3%	2.5%	32.9%	30.3%
上笹下(n=197)	20.8%	15.2%	13.2%	3.0%	10.7%	8.6%	7.1%	13.2%	4.6%	33.5%	24.9%
洋光台(n=296)	6.8%	9.5%	9.8%	4.7%	12.8%	11.5%	11.1%	12.8%	4.4%	39.2%	28.0%
	食品衛生・環境衛生の監視・指導	子育て支援や青少年の健全育成	感染症・生活習慣病などの保健推進	高齢者福祉	障害者福祉	経済的に困っている人の保護	地域活動支援	地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	身近な住民窓口サービス	無回答
根岸(n=109)	2.8%	11.9%	1.8%	35.8%	10.1%	7.3%	3.7%	5.5%	4.6%	9.2%	15.6%
滝頭(n=183)	3.8%	15.8%	4.9%	24.6%	13.7%	8.2%	6.6%	7.7%	4.9%	11.5%	10.9%
岡村(n=92)	1.1%	17.4%	4.3%	32.6%	8.7%	9.8%	6.5%	8.7%	9.8%	13.0%	8.7%
磯子(n=317)	4.4%	15.1%	2.8%	26.2%	8.8%	5.0%	5.0%	6.6%	5.0%	14.5%	13.2%
汐見台(n=71)	0.0%	26.8%	7.0%	38.0%	9.9%	8.5%	11.3%	5.6%	5.6%	9.9%	4.2%
屏風ヶ浦(n=309)	6.5%	17.8%	5.2%	33.3%	7.8%	11.7%	8.1%	6.8%	8.7%	11.0%	6.1%
杉田(n=277)	6.1%	14.1%	3.2%	32.5%	11.2%	9.0%	6.5%	4.3%	6.5%	11.9%	6.5%
上笹下(n=197)	5.6%	17.3%	5.6%	34.5%	7.6%	11.7%	3.0%	3.6%	4.6%	12.2%	10.2%
洋光台(n=296)	4.7%	16.6%	4.7%	38.5%	11.1%	14.2%	6.1%	6.1%	7.4%	12.8%	6.8%

☐: 他の地域と比較して顕著な特徴の見られる部分

《重要度と満足度の関係》

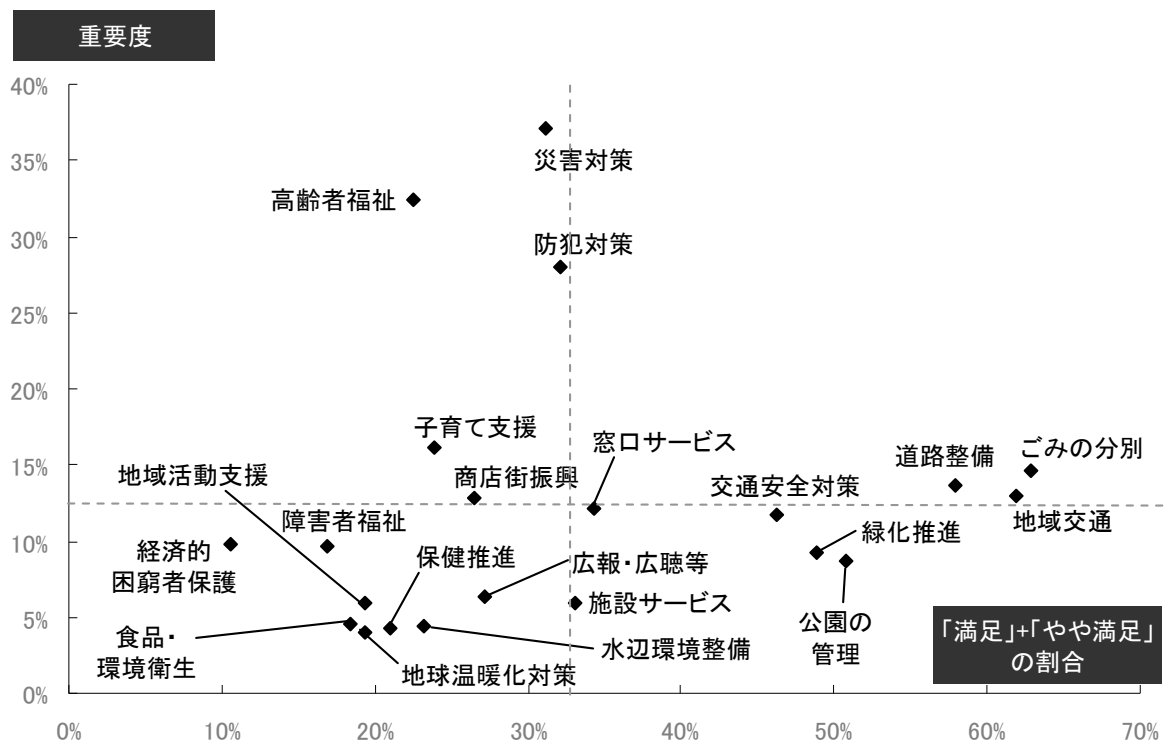
「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問13における「満足」+「やや満足」の割合（横軸）の関係についてみると、図59のようになります。

「災害対策」、「高齢者福祉」、「防犯対策」は区が取り組むべき課題としての重要度が他の項目と比べて高くなっていますが、問13における「満足」と「やや満足」の合計は2割から3割程度となっており、項目全体からみてあまり割合（満足度）の低い位置にあります。

一方、「磯子区が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合（縦軸）と問13における「不満」+「やや不満」の割合（横軸）との関係についてみると、図60のようになります。

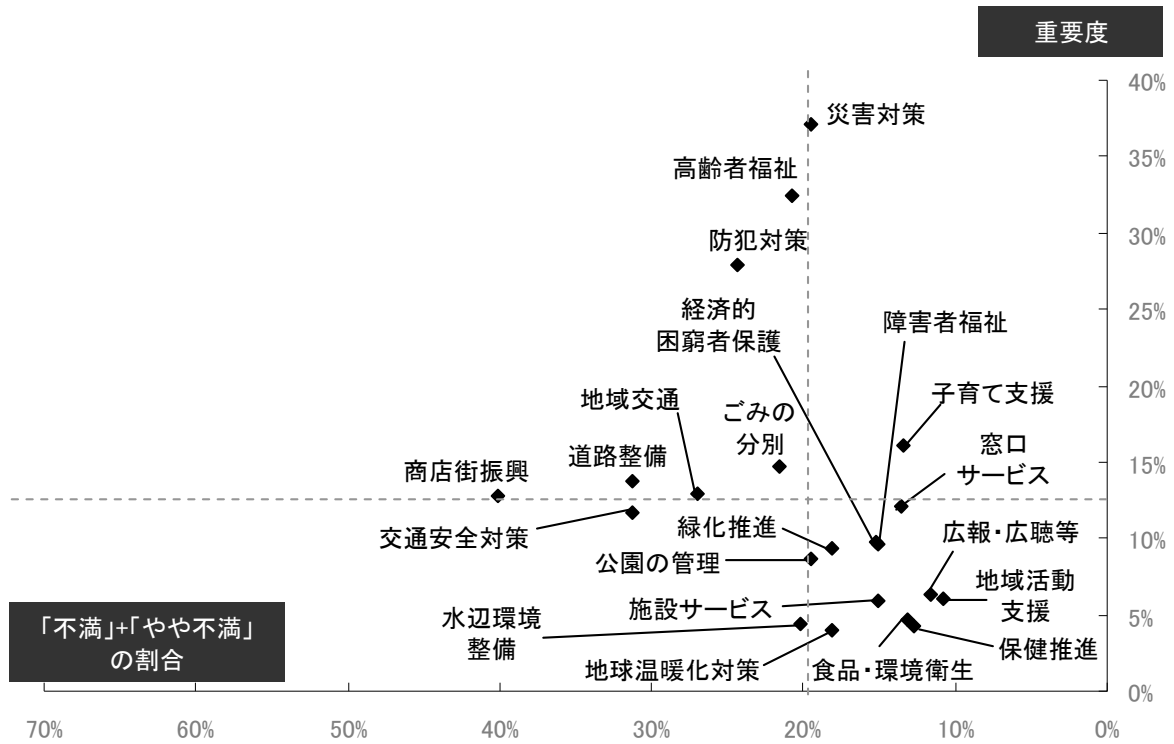
「災害対策」、「高齢者福祉」「防災対策」は区が取り組むべき課題としての重要度が高くなっていますが、一方で「不満」+「やや不満」の割合が比較的高いところに位置しています。

図59 磯子区役所が取り組むべき課題としての重要度と「満足」+「やや満足」の割合



※図中の点線は、各項目についての「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「満足」+「やや満足」の平均値を意味しています。

図 60 磯子区役所が取り組むべき課題としての重要度と「不満」+「やや不満」の割合



※図中の点線は、各項目についての「磯子区役所が取り組むべき課題として重要度が高いと考えるもの」としての回答割合、及び「不満」+「やや不満」の平均値を意味しています。

5. 商店街について

(1) 問 16 地元の商店街の利用頻度

地元の商店街の利用頻度についてたずねたところ、「ほとんど利用していない」が41.9%となっています。利用している方では、「週に2~3日利用している」が14.7%と最も多く、次いで「週に1日は利用している」が14.1%、「月に1回は利用している」が10.5%でした。

【問 16-1 商店街を利用する主な理由】

商店街を月に1回以上利用している方に対し、商店街を利用する主な理由について複数回答形式でたずねたところ、「自宅の近くにあり便利」が61.5%と最も多く、次いで「価格が安い」が39.1%でした。

図 61 地元の商店街の利用頻度 (n=1,887) 【単数回答】

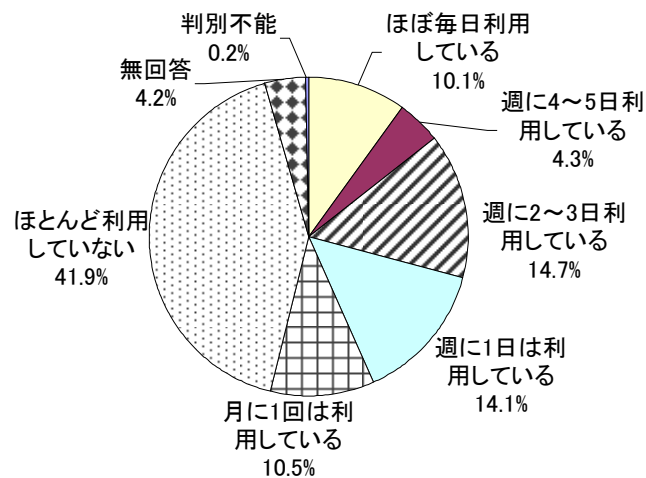
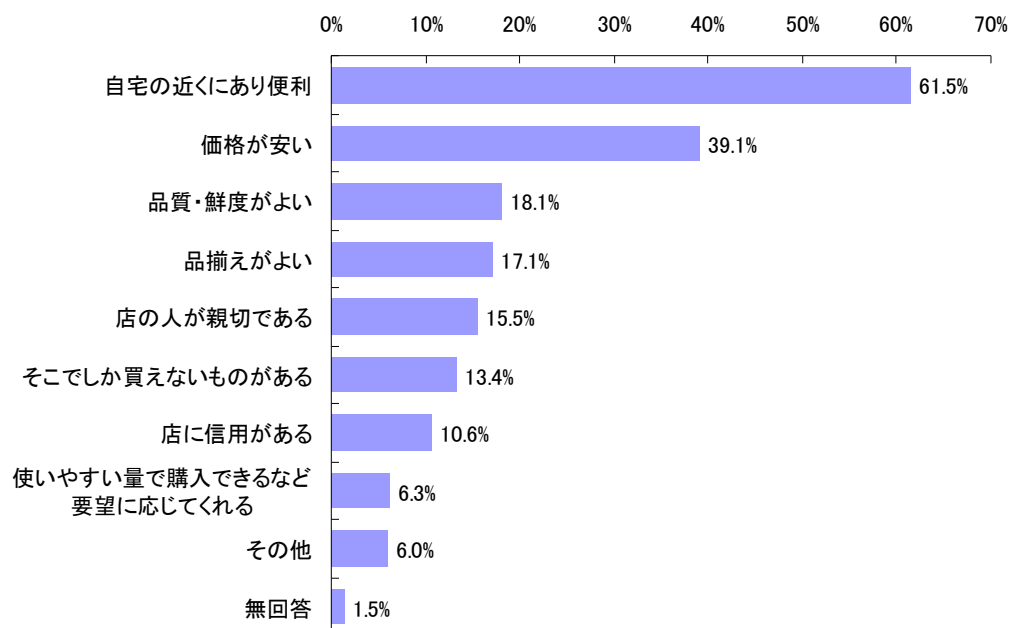


図 62 商店街を利用する主な理由 (n=1,015) 【複数回答】

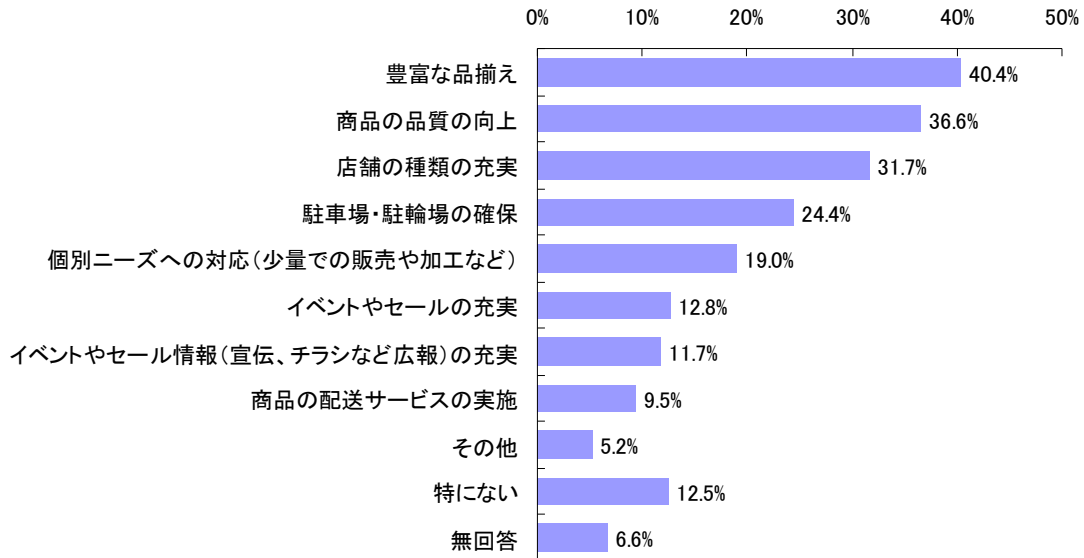


※問 16-1 については、問 16 における「ほとんど利用していない」・「無回答」・「判別不能」以外の方を対象とした設問となっています。

(2) 問 17 商店街に対して希望すること

商店街に対してどのようなことを希望するかについて複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「豊富な品揃え」で40.4%、次いで「商品の品質の向上」が36.6%、「店舗の種類の充実」が31.7%でした。

図 63 商店街に対して希望すること (n=1,887) 【複数回答】

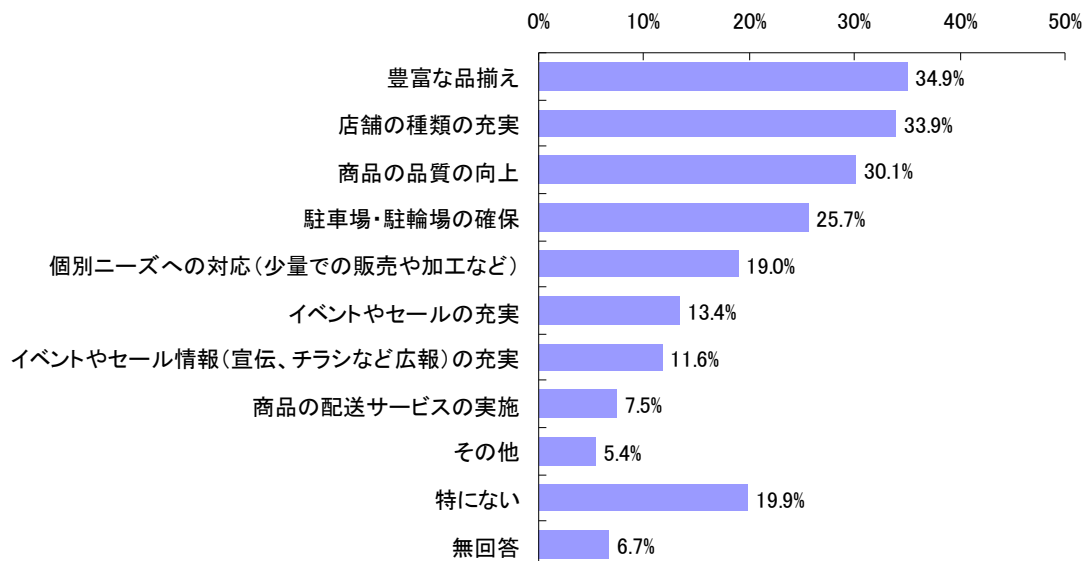


《「商店街を利用していない方」の商店街に対して希望すること》

問 16 で地元の商店街を「ほとんど利用していない」と回答した方が、「商店街に対して希望すること」としてどのように回答しているかについてみると、最も多かったのは「豊富な品揃え」で34.9%、次いで「店舗の種類の充実」が33.9%、「商品の品質の向上」が30.1%となっています。

割合の高い順に項目を並べると、項目の順位は回答者全体についてみた場合とほぼ同じ結果になっていますが、「商品の品質の向上」よりも「店舗の種類の充実」のほうが割合が高くなっています。

図 64 「商店街を利用していない方」の商店街に対して希望すること (n=790) 【複数回答】

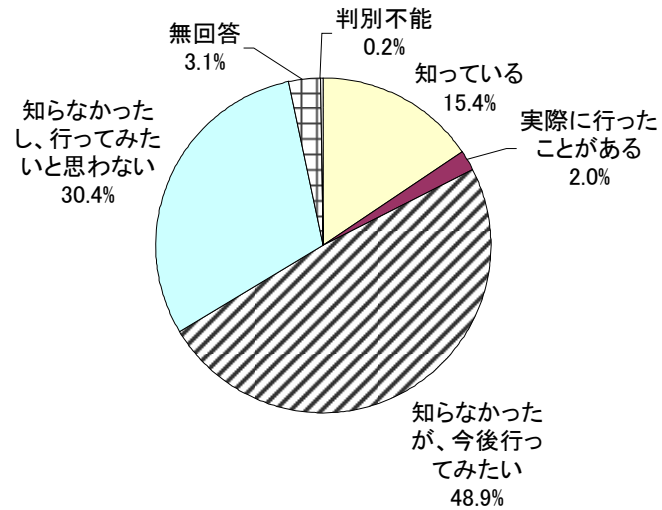


(3) 問 18 「商店街朝市」の認知度

「商店街朝市」を知っていたかどうかについてたずねたところ、「知っている」は 15.4%、「実際に行ったことがある」は 2.0%でした。

なお、知らなかったという方で、「知らなかったが、今後行ってみたい」と回答している方が 48.9% となっています。

図 65 「商店街朝市」の認知度 (n=1,887) 【単数回答】



6. 災害対策について

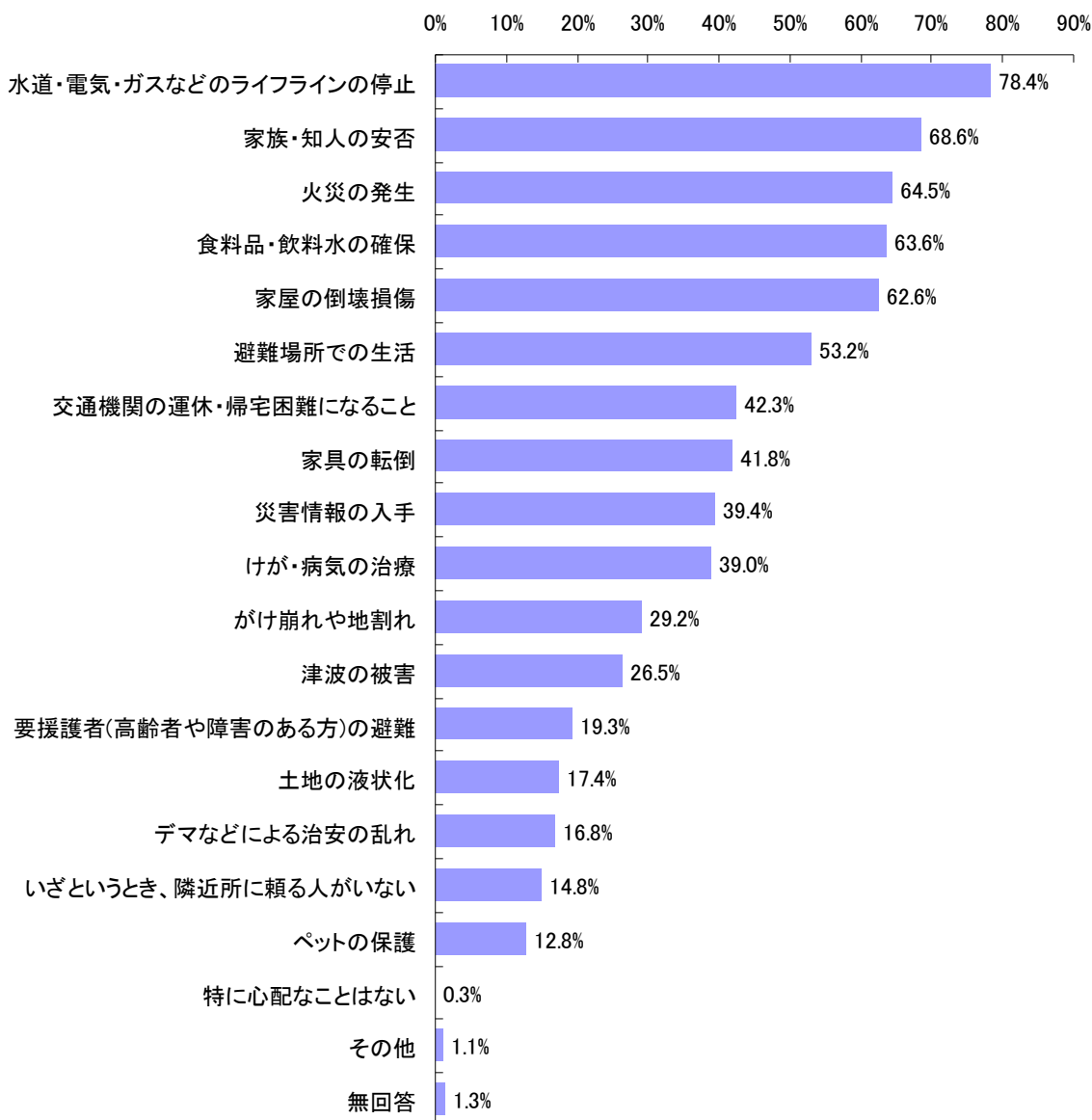
(1) 問 19 大地震が起きたときに特に心配なこと

大地震が起きたときに特に心配なことについて複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」で78.4%、次いで「家族・知人の安否」が68.6%、「火災の発生」が64.5%、「食料品・飲料水の確保」が63.6%、「家屋の倒壊損傷」が62.6%となっています。なお、「特に心配なことはない」との回答は0.3%でした。

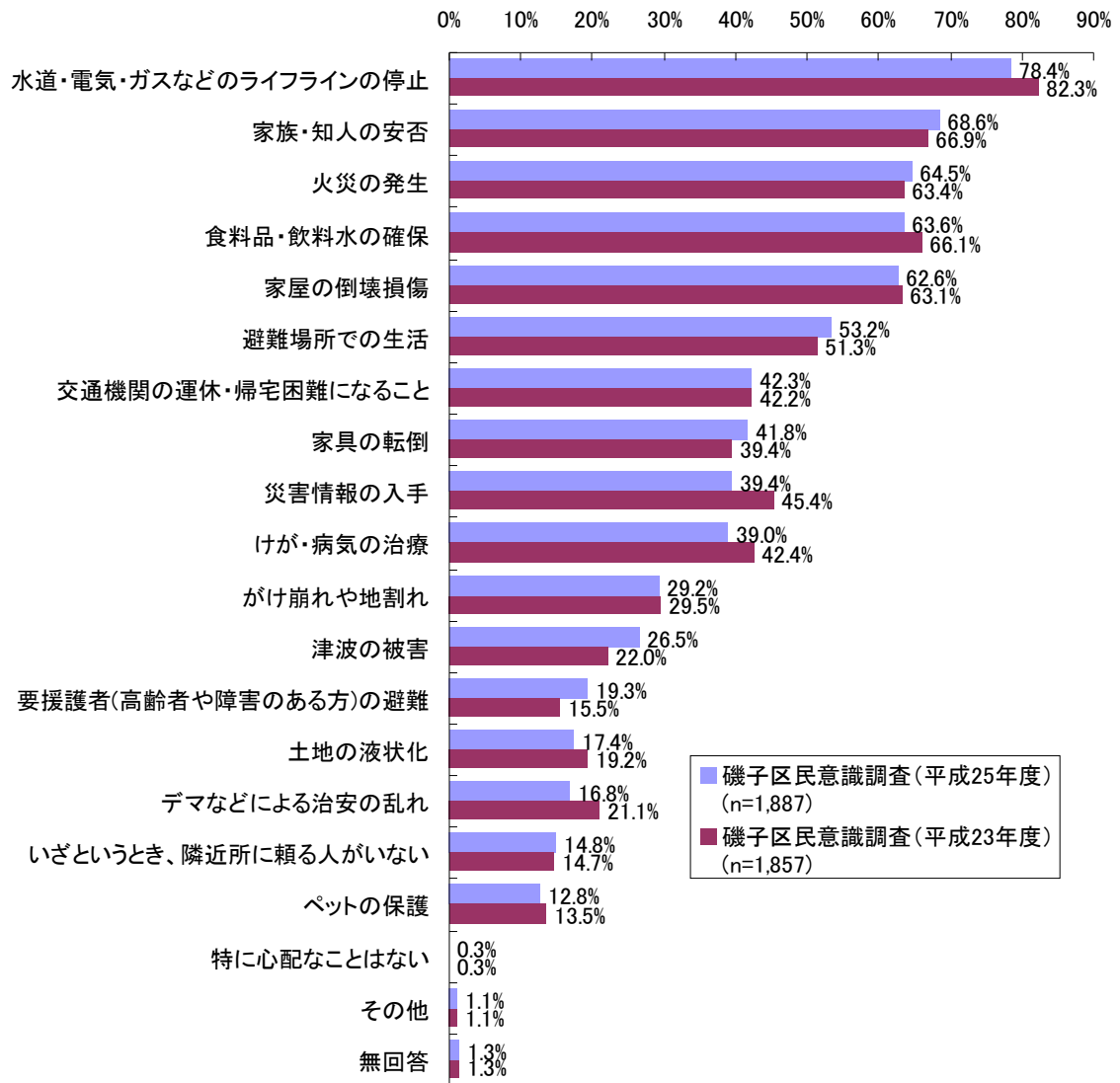
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成23年度）と比較すると、全体的な傾向は平成23年度と同様になっていますが、一部の項目では割合に差がみられます。「災害情報の入手」、「デマなどによる治安の乱れ」、「水道・電気・ガスなどのライフラインの停止」、「けが・病気の治療」などの項目では平成23年度調査よりも割合が低くなっており、一方で「津波の被害」、「要援護者（高齢者や障害のある方）の避難」では割合が高くなっています。

図 66 大地震が起きたときに特に心配なこと（n=1,887）【複数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」(平成23年度)との比較



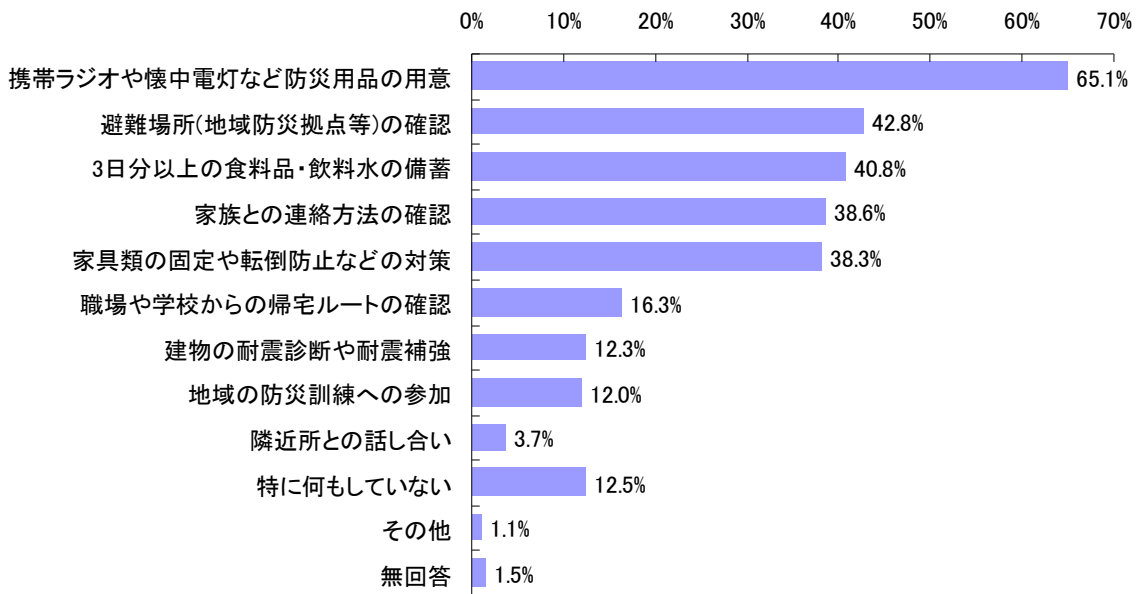
(2) 問 20 大地震に対しての準備

大地震に対してどのような準備を行っているかについて複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」で 65.1%、次いで「避難場所（地域防災拠点等）の確認」が 42.8%、「3 日以上以上の食料品・飲料水の備蓄」が 40.8%、「家族との連絡方法の確認」が 38.6%、となっています。なお、「特に何もしていない」との回答は 12.5%でした。

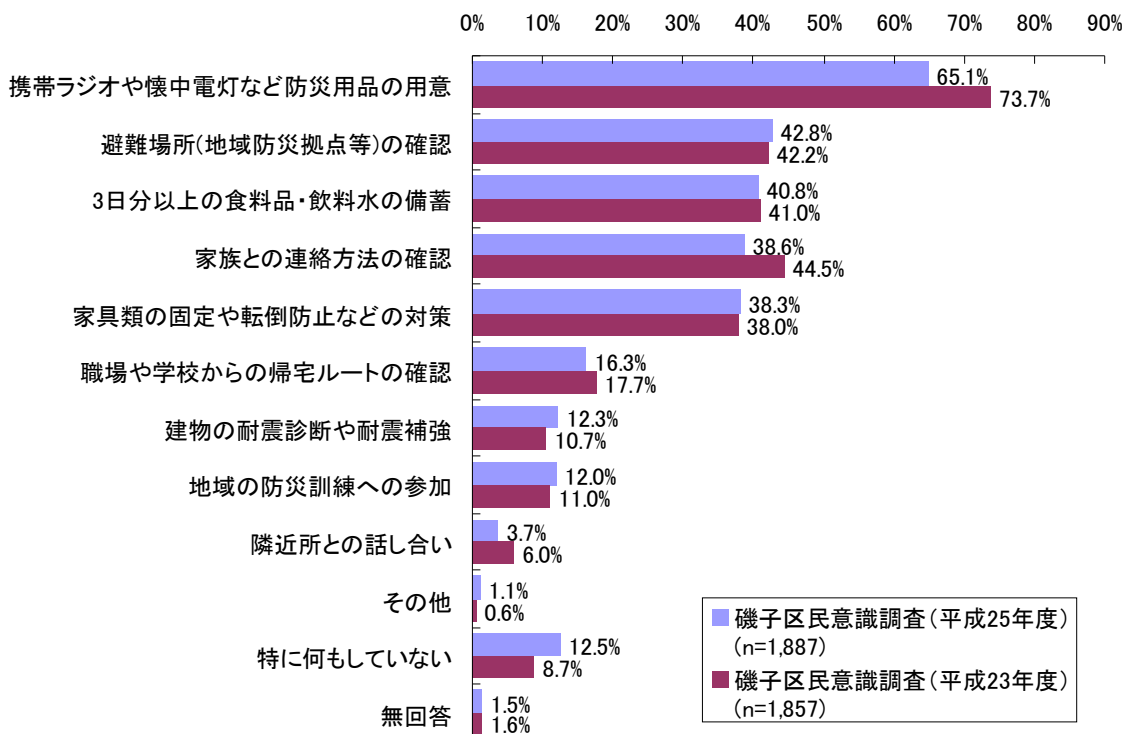
《過去の「磯子区民意識調査」との比較》

「磯子区民意識調査」（平成 23 年度）と比較すると、「特に何もしていない」の割合が高くなっており、「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」や「家族との連絡方法の確認」などでは、前回調査よりも準備をしている方の割合が低下しています。

図 67 大地震に対しての準備（n=1,887）【複数回答】



【参考】「磯子区民意識調査」（平成 23 年度）との比較



《年齢層別にみた大地震に対する準備》

大地震に対してどのような準備を行っているかについて、年齢層別にみると、表 25 のようになっています。

「携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意」や「3 日分以上の食料品・飲料水の備蓄」、「地域の防災訓練への参加」といった項目では、年齢が高いほど割合が高くなるという傾向が表れています。また、「家具類の固定や転倒防止などの対策」、「家族との連絡方法の確認」などの項目では、40～50 歳代において行っている方の割合が高くなっています。

なお、20～30 歳代の若い年齢層では「特に何もしていない」が 2 割程度であり、40 歳以上の年齢層と比べて割合が高くなっています。

表 25 年齢層別にみた大地震に対する準備

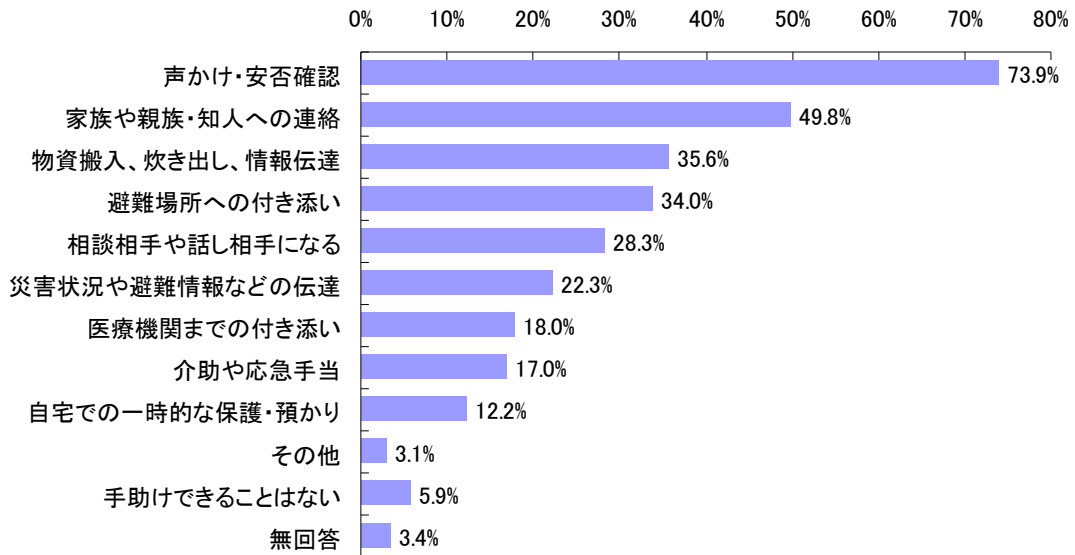
	建物の耐震診断や耐震補強	家具類の固定や転倒防止などの対策	家族との連絡方法の確認	避難場所（地域防災拠点等）の確認	携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意	3日分以上の食料品・飲料水の備蓄
20～29歳(n=148)	10.1%	31.8%	36.5%	33.1%	45.9%	35.1%
30～39歳(n=271)	8.1%	33.6%	33.2%	43.5%	50.6%	31.0%
40～49歳(n=320)	11.3%	41.3%	41.6%	46.3%	63.8%	37.8%
50～59歳(n=287)	12.5%	44.3%	41.5%	41.8%	70.4%	42.2%
60～69歳(n=390)	12.8%	37.9%	43.6%	47.4%	70.0%	46.4%
70歳以上(n=444)	16.2%	38.7%	34.5%	40.3%	74.1%	45.3%
	地域の防災訓練への参加	隣近所との話し合い	職場や学校からの帰宅ルートの確認	特に何もしていない	その他	
20～29歳(n=148)	4.7%	2.0%	17.6%	20.3%	0.0%	
30～39歳(n=271)	3.7%	1.8%	24.7%	17.0%	0.0%	
40～49歳(n=320)	10.0%	1.3%	30.6%	10.6%	1.9%	
50～59歳(n=287)	11.5%	1.7%	18.8%	9.4%	1.0%	
60～69歳(n=390)	15.4%	3.6%	11.5%	11.3%	1.5%	
70歳以上(n=444)	18.9%	7.9%	3.6%	11.5%	1.1%	

: 他の年齢層と比較して顕著な特徴の見られる部分

(3) 問 21 要援護者の避難支援に関してできると思うこと

要援護者の避難支援に関して、自分に何ができると思うかについて、複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「声かけ・安否確認」で73.9%、次いで「家族や親族・知人への連絡」が49.8%、「物資搬入、炊き出し、情報伝達」が35.6%となっています。なお、「手助けできることはない」との回答は5.9%でした。

図 68 要援護者の避難支援に関してできると思うこと (n=1,887) 【複数回答】



(4) 問 22 「磯子区防災マップ」の確認状況

区内の各世帯に配布されている「磯子区防災マップ」について、内容を見たことがあるかどうかたずねたところ、「防災マップの内容を見たことがある」が52.5%、「配布されているが、内容は見ていない」が20.0%、「配布されていることを知らなかった」が20.3%となっています。

【問 22-1 「磯子区防災マップ」で確認した内容】

問 22 で「防災マップの内容を見たことがある」と回答した方に対し、防災マップを用いて確認した内容について複数回答形式でたずねたところ、「広域避難場所」が71.5%と最も多く、次いで「地域防災拠点」が56.0%となっています。一方、「内容に目を通したが、特定の項目の確認はしていない」は18.3%でした。

図 69 「磯子区防災マップ」の確認状況 (n=1,887) 【単数回答】

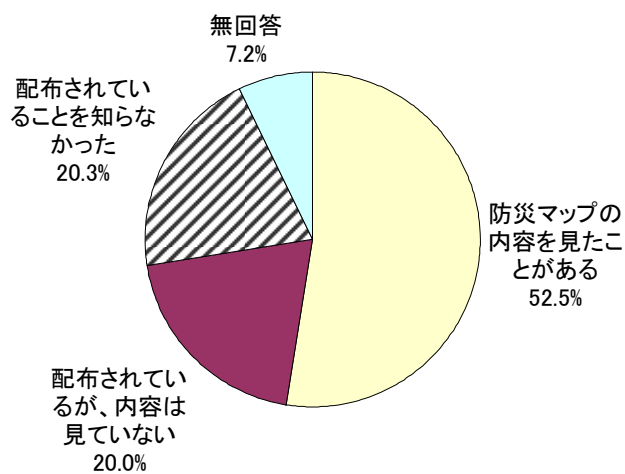
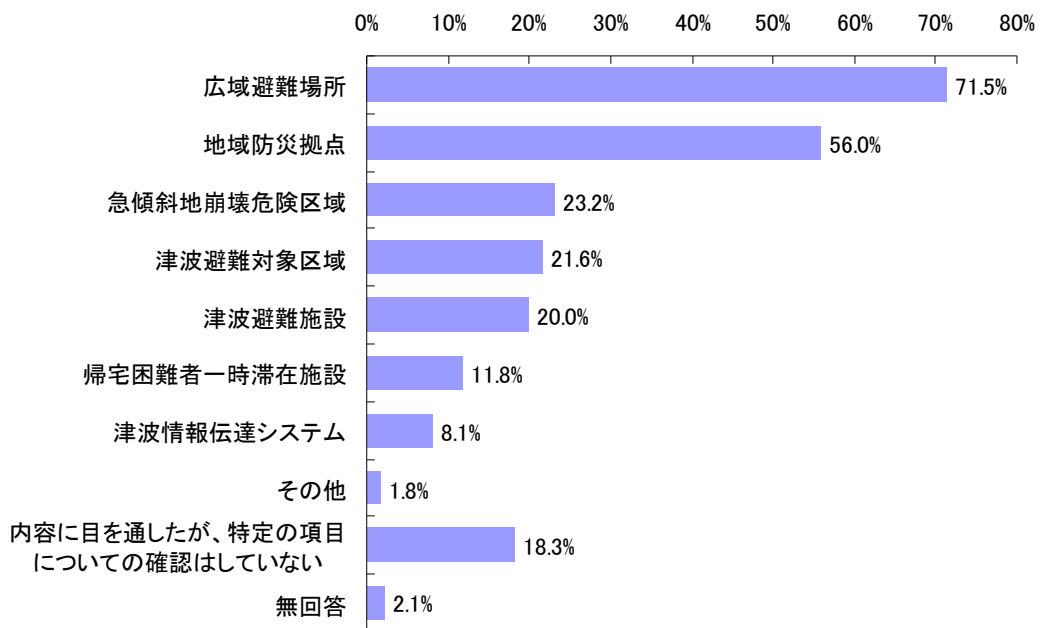


図 70 「磯子区防災マップ」で確認した内容 (n=990) 【複数回答】



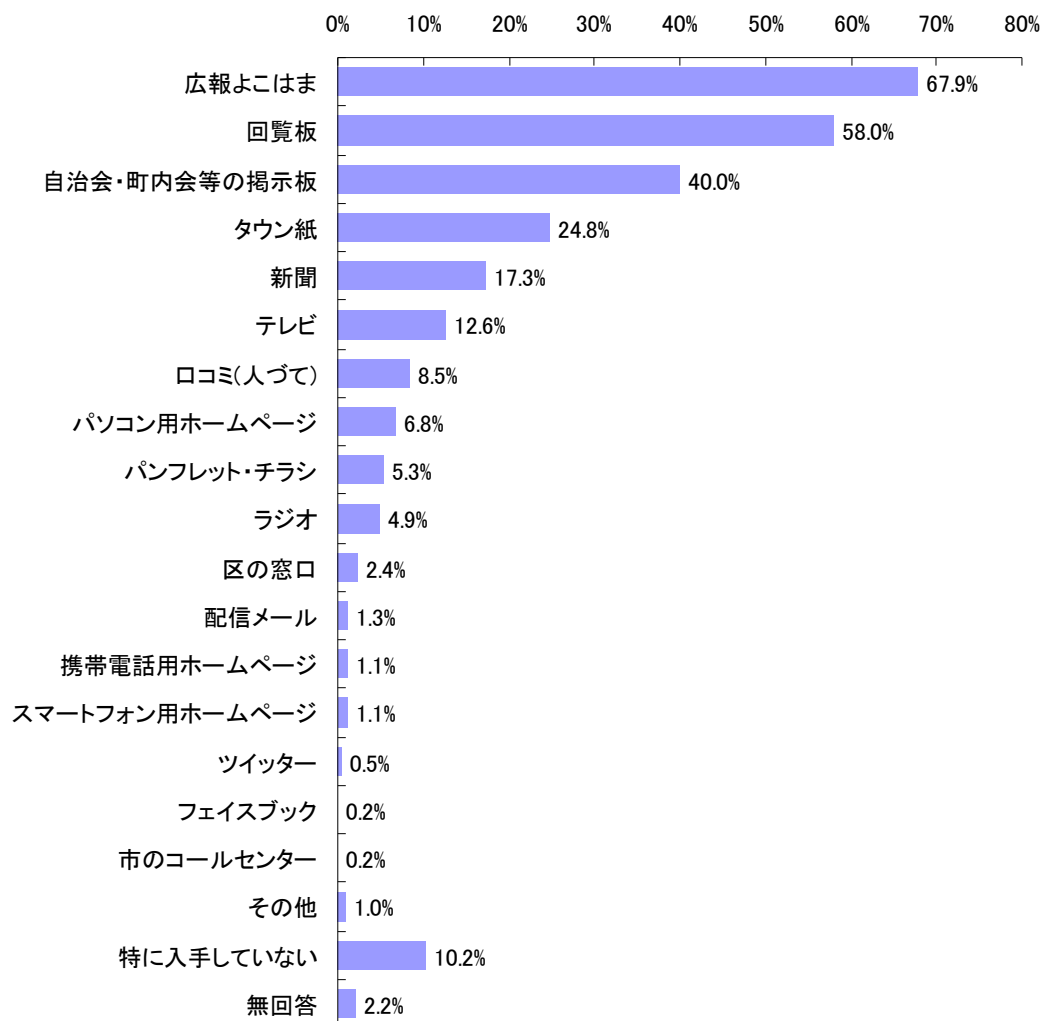
※問 22-1 については、問 22 において「防災マップを見たことがある」と回答した方を対象とした設問となっています。

7. 区の情報や地域の情報の入手について

(1) 問 23 区や地域からの情報を入手している媒体

どのような媒体によって区や地域からの情報を入手しているかについて複数回答形式でたずねたところ、最も多かったのは「広報よこはま」で67.9%、次いで「回覧板」が58.0%、「自治会・町内会等の掲示板」が40.0%、「タウン紙」が24.8%でした。

図 71 区や地域からの情報を入手している媒体（n=1,887）【複数回答】



8. その他（自由意見について）

自由意見欄には、全部で574件の回答がありました。自由意見の主な内容を「横浜市の広聴情報データベースシステムで使用する内容分類表」に従って整理すると、各分類項目の件数は表26のようになりました。意見の多かった項目としては、「交通・道路に関すること」が167件と最も多く、次いで「防犯・防災・消防に関すること」が76件、「都市経営・運営に関すること」が72件、「経済・産業に関すること」が71件などでした。

表26 自由意見の主な内容【自由記述】

内容（分類別）	件数
交通・道路に関すること	167件
うち、バスに関すること	(52件)
うち、バスダイヤ・定時運行に関すること	(36件)
うち、道路に関すること	(38件)
うち、駐車・駐輪に関すること	(25件)
防犯・防災・消防に関すること	76件
うち、防災・消防に関すること	(24件)
都市経営・運営に関すること	72件
うち、行政改革・組織に関すること	(51件)
うち、窓口サービスの機能強化に関すること	(42件)
経済・産業に関すること	71件
うち、産業振興に関すること	(71件)
うち、商業・サービス業振興に関すること	(69件)
広報・広聴・市民相談・情報公開に関すること	59件
うち、広報・広聴・市民相談に関すること	(59件)
うち、広報に関すること	(26件)
職員（教職員を除く）に関すること	54件
うち、市民対応に関すること	(54件)
うち、市民対応へのお礼	(18件)
うち、市民対応への苦情	(24件)
市民利用施設に関すること	52件
公害・環境保全・緑に関すること	37件
うち、緑地保全・緑化推進に関すること	(24件)
ごみ、リサイクルに関すること	26件
うち、まちの美化に関すること	(20件)
福祉に関すること	24件
うち、高齢者福祉に関すること	(17件)
保健・衛生・医療に関すること	21件
市民活動に関すること	19件

内容（分類別）	件数
文化・スポーツに関すること	14 件
子育てに関すること	13 件
都市整備・開発と住宅に関すること	13 件
戸籍・税金・保険年金に関すること	11 件
教育に関すること	7 件
人権・男女共同参画計画に関すること	0 件
観光・シティセールスに関すること	0 件
上下水道に関すること	0 件
港湾・河川に関すること	0 件
議会に関すること	0 件
選挙に関すること	0 件
その他	46 件
特になし	5 件

※ 1つの回答の中で複数の項目について記述されている場合は、それぞれの項目について 1 件と数えているため、各項目の件数の合計は回答者数には一致しません。

Ⅲ. 参考資料（調査票・単純集計結果）

平成 25 年度 磯子区民意調査（調査票）

磯子区では、区民の皆様の意見を生かした区政を行うために、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を2年毎に実施しています。

皆様からいただいたご意見は、今後も「地域の人たちとともにつくる 暮らしやすいまち・いそご」を目指した様々な施策に反映させてまいりたいと考えています。

つきましては、お忙しいなか誠に恐縮ではございますが、このアンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成 25 年 6 月

さかもと むらじ
磯子区長 坂本 連

このアンケートは、磯子区在住の20歳以上の方々の中から無作為に抽出し、ご協力をお願いしています。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理いたしますので、個人にご迷惑をおかけすることはありません。

ご回答いただいた調査票は、お手数ですが同封いたしました返信用封筒に入れて、平成 25 年 6 月 28 日（金）までに投函してください（切手及び記名は不要です）。

なお、調査報告書は12月頃に磯子区ホームページ等で公表する予定です。

ご記入にあたって

- ◆封筒の宛先にお名前を書かせていただいたご本人がお答えください。
- ◆質問には、回答にある番号に○印を付けていただく形式、記号を回答欄に記入していただく形式、自由に意見を記入していただく形式があります。
- ◆回答にある番号に○印を付けていただく形式では、原則として該当する番号1つに○印を付けていただきます。複数の回答が可能な質問には、その旨、記載してあります。質問文の記載にしたがってご回答ください。回答が、「その他」に当てはまる場合には、その番号に○印を付けて、()内に具体的にその内容をご記入ください。



アンケートについて、ご不明な点やご質問がございましたら、下記までご連絡ください。

磯子区役所 総務部区政推進課企画調整係
電話 045(750)2331
電子メール is-kikaku@city.yokohama.jp
担当 きない うるしだ
喜内、粳田

あなたの普段の生活や、磯子区の魅力についてお伺いします。

問1 あなたは、今のご自分の生活に満足していますか、それとも、不満がありますか。(○は1つ)

1 満足しているほう 17.9%	2 まあ満足しているほう 47.5%	3 どちらともいえない 15.7%
4 やや不満があるほう 8.7%	5 不満があるほう 7.4%	6 わからない 0.5%
		無回答：2.3%

問2 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

1 自分の病気や老後のこと 48.5%	2 景気や生活費のこと 36.0%
3 家族の健康や生活上の問題 37.7%	4 子どもの保育や教育のこと 14.0%
5 仕事や職場のこと 12.1%	6 失業・倒産や収入が減ること 6.3%
7 犯罪や防犯のこと 9.1%	8 住宅のこと 11.6%
9 事故・災害のこと 12.9%	10 環境問題のこと 4.8%
11 近隣からの悪臭・騒音 4.0%	12 その他 () 3.4%
13 心配ごとや困っていることはない 9.5%	無回答：3.7%

問3 あなたは、日常生活で困ったことが起きたとき、どなたに相談していますか、あるいは、どなたなら相談できると思いますか。(○はいくつでも)

1 同居の家族 72.9%	2 近隣の親族 29.4%	3 遠方の親族 15.0%
4 友人・知人 46.2%	5 職場の同僚 10.6%	6 近所や地域の人 7.6%
7 自治会・町内会役員 2.3%	8 民生委員 2.4%	9 区役所・市役所の職員 6.4%
10 地域ケアプラザ・地域包括支援センターの職員 4.0%	11 いない 4.2%	
12 その他 () 2.9%	無回答：0.8%	

問4 あなたは磯子区について、どのようなイメージをお持ちですか。(○はいくつでも)

1 おしゃれな 1.3%	2 活気がある 3.6%	3 センスがある 0.7%
4 都会的な 1.6%	5 治安がよい 22.2%	6 子どもの教育によい 6.2%
7 物価が安い 10.2%	8 わくわくする 0.3%	9 将来性がある 1.5%
10 優しい 5.0%	11 温かみがある 9.9%	12 魅力的な店が多い 1.5%
13 これから発展しそう 3.7%	14 便利な 27.7%	15 庶民的な 39.5%
16 落ち着いている 28.0%	17 自然が豊か 33.0%	18 文化芸術を感じる 0.9%
19 歴史がある 13.8%	20 その他 () 8.2%	無回答：4.5%

問5 あなたの地域の自慢や宝、お気に入りの教えてください。(ご自由にお書きください)

問6 あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

1 住み続ける 28.7%	2 たぶん住み続ける 44.0%	3 たぶん移転する 7.2%
4 移転する 2.2%	5 わからない 17.0%	無回答：1.0%

問7 あなたが普段生活するうえで、次の各項目はどの程度重要だと思いますか。また、あなた自身、実際にどの程度行っていますか。(項目ごとに、「普段生活するうえで重要だと思うこと」、「あなた自身の取組状況」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	普段生活するうえで重要だと思うこと (%)							あなた自身の取組状況 (%)						
	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	判別不能	よくできている	大体できている	どちらでもない	あまりできていない	できていない	無回答	判別不能
ア. 不審者に注意すること	69.2	20.8	4.7	0.6	0.3	4.3	0.1	7.5	47.9	20.6	13.1	3.9	6.9	0.1
イ. 防犯パトロールに参加すること	18.4	34.5	29.5	6.9	2.9	7.7	0.1	2.2	6.1	15.9	16.8	51.2	7.6	0.1
ウ. 自宅に補助鍵や窓に防犯フィルムをつけること	36.7	35.8	14.4	5.2	1.5	6.4	0.1	8.4	21.5	16.1	20.5	26.1	7.3	0.2
エ. いざという時の避難場所を把握すること	69.4	21.1	2.7	1.1	0.4	5.3	0.0	14.9	46.4	10.7	13.9	6.8	7.2	0.1
オ. 普段から災害時の備えをすること	62.6	26.2	4.3	1.1	0.2	5.5	0.1	7.0	35.3	18.2	23.6	9.1	6.7	0.0
カ. 地域の防災訓練に参加すること	30.7	40.3	17.1	3.8	1.3	6.8	0.1	4.5	13.6	16.3	24.0	34.1	7.4	0.2
キ. ごみの分別をきちんとすること	68.1	22.6	3.6	0.8	0.4	4.5	0.0	54.2	35.8	2.9	0.7	0.7	5.7	0.1
ク. 資源集団回収に協力すること	56.3	29.3	7.4	1.5	0.2	5.2	0.1	42.3	35.0	8.7	3.9	3.8	6.2	0.1
ケ. 省エネに取り組むこと	51.1	34.3	7.5	1.2	0.4	5.5	0.1	15.6	46.4	21.0	8.0	2.2	6.7	0.2
コ. なるべくリサイクル製品を購入すること	13.0	26.4	39.3	10.5	4.8	5.8	0.1	3.5	14.4	38.5	19.0	17.4	7.1	0.1
サ. グリーンカーテンやエコドライブなど環境に配慮すること	26.0	39.6	22.5	3.9	2.0	5.9	0.0	7.0	23.8	32.5	17.0	12.8	6.7	0.1
シ. 子どもや子ども連れに気軽に声がけや挨拶をすること	23.1	33.4	30.1	5.0	2.5	5.8	0.1	9.1	27.5	30.0	14.2	12.3	6.8	0.1
ス. 困っている子ども連れを見かけたときに手助けすること	40.8	38.2	13.2	1.5	0.7	5.6	0.0	12.1	37.1	26.4	10.9	6.6	6.8	0.1
セ. 子どもを対象とした遊び・活動等に参加すること	11.7	23.4	41.4	10.1	6.8	6.7	0.0	3.7	9.1	30.7	16.7	32.1	7.6	0.0
ソ. 定期的に健康診断を受けること	58.8	27.9	7.5	1.1	0.2	4.5	0.0	31.5	34.2	11.1	9.8	7.6	5.7	0.1
タ. 食事バランスに気をつけること	58.0	31.2	5.6	0.6	0.3	4.2	0.1	19.1	43.2	19.1	9.6	3.2	5.6	0.1
チ. 定期的に運動をすること	48.7	36.0	8.1	1.2	0.5	5.5	0.0	16.9	25.1	19.2	22.4	10.0	6.3	0.1
ツ. 近隣にどんな人が住んでいるか知っていること	40.0	40.1	11.8	2.2	0.7	5.1	0.0	13.1	38.7	20.4	14.8	6.7	6.1	0.1
テ. 困ったときには近隣の人と相談しあうこと	24.7	36.8	25.4	4.9	2.2	5.9	0.1	6.5	19.5	30.6	20.0	17.2	6.2	0.0
ト. 地域の見守り・支え合い活動に参加すること	19.2	37.0	30.7	5.0	2.2	5.9	0.0	2.7	9.9	30.3	22.3	28.5	6.3	0.0
ナ. 地域の行事になるべく参加すること	14.1	35.0	35.0	6.0	3.7	6.2	0.1	3.1	14.4	27.8	21.0	27.3	6.4	0.0
ニ. 自治会・町内会の運営に参加すること	15.4	36.4	32.4	6.5	3.8	5.5	0.0	6.4	18.3	26.4	16.2	26.7	5.9	0.1

隣近所との付き合いや、地域での活動についてお伺いします。

問8 あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1 顔もよく知らない 8.5% | |
| 2 道で会えば挨拶ぐらいする 47.5% | |
| 3 たまに立ち話をする 28.7% | |
| 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている 5.1% | |
| 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする 4.6% | |
| | 無回答：3.6% 判別不能：2.0% |

→ 問8-1 問8で「2」～「5」と答えた方にお伺いします。お付き合いを始められたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1 近くに住んでいるので自然に 87.1% | 2 自治会・町内会活動を通じて 22.6% |
| 3 管理組合の活動を通じて 8.9% | 4 子育てなど、子ども関係を通じて 17.4% |
| 5 趣味の活動を通じて 5.1% | 6 買い物や飲食などで、同じ店を利用して 2.8% |
| 7 犬の散歩で顔見知りになるなど、ペットを通じて 8.9% | |
| 8 その他 () 2.8% | 無回答：1.9% |

問9 あなたは自治会・町内会に加入していますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------------|-----------------|--------------|----------|
| 1 加入している 74.7% | 2 加入していない 14.4% | 3 わからない 6.6% | 無回答：4.3% |
|----------------|-----------------|--------------|----------|

問9で「2 加入していない」と答えた方にお伺いします。

問9-1 自治会・町内会に加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1 自治会・町内会の存在を知らないから 17.3% | 2 加入のメリットがわからないから 21.4% |
| 3 加入するきっかけや誘いがないから 21.0% | 4 管理組合があるから 14.0% |
| 5 近所づきあいがわずらわしいから 8.1% | 6 役員への就任などが重荷だから 16.6% |
| 7 特になし 21.8% | 8 その他 () 14.0% |
| | 無回答：4.1% |

問9で「1 加入している」と答えた方にお伺いします。

→ 問9-2 自治会・町内会に加入していて良かったと思うことは何ですか。(ご自由にお書きください)

問 10 あなたは、現在、仕事や学業以外にどのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|-------------------------------------|-------|
| 1 | 高齢者や障害者への手助けや交流などの福祉活動 | 4.5% |
| 2 | 身近な道路や公園などの清掃活動 | 6.3% |
| 3 | 文化・芸術・スポーツの参加や振興 | 10.8% |
| 4 | 祭や盆踊り、運動会などのイベント | 11.9% |
| 5 | 資源回収やごみの分別啓発、リサイクル活動 | 6.7% |
| 6 | 公園での花壇づくりや美化、身近な水辺や緑地（里山など）の自然環境の保全 | 1.6% |
| 7 | 在日外国人や海外との交流・支援などの活動 | 0.6% |
| 8 | 自治会・町内会の活動 | 17.1% |
| 9 | 子ども会、婦人会、老人クラブの活動 | 5.1% |
| 10 | P T A活動 | 4.2% |
| 11 | 保育ボランティアなどの子育て支援 | 1.4% |
| 12 | 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動 | 3.0% |
| 13 | 建物の用途や高さなど建物についてのルールや美しいまちなみづくり | 0.3% |
| 14 | その他（具体的に ） | 1.6% |
| 15 | 特になし | 54.9% |
| | 無回答 | 7.2% |

問 10 で参加している活動があると答えた（「1」～「14」に〇印を付けた）方にお伺いします。

問 10-1 あなたが活動に参加した主な理由はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|---|---------------------|-------|---|--------------------|-------|
| 1 | 活動に参加したいという意欲があったから | 34.9% | 2 | 友人や近所の人に勧められたから | 15.9% |
| 3 | 時間に余裕があったから | 19.8% | 4 | 家族が参加していたから | 7.8% |
| 5 | 趣味や特技を活かしたかったから | 16.9% | 6 | 持ち回り当番などやむを得なかったから | 38.4% |
| 7 | その他（ ） | 5.7% | | 無回答 | 5.0% |

問 10-2 活動に参加する楽しみ、参加して楽しい事は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | |
|----|----------------|-------|----|-------------------|-------|
| 1 | 社会貢献ができる | 24.4% | 2 | 充実感が得られる | 22.1% |
| 3 | 友人や近所の人と交流ができる | 54.6% | 4 | 家族とのふれあいの時間が持てる | 6.1% |
| 5 | 趣味や特技を活かせる | 16.8% | 6 | 活躍の場が得られる | 9.8% |
| 7 | 人から感謝される | 10.1% | 8 | 仲間や友人が作れる | 34.8% |
| 9 | 知識や教養が身につけられる | 10.9% | 10 | 気分転換になり、リフレッシュできる | 29.7% |
| 11 | その他（ ） | 2.5% | | 無回答 | 8.5% |

問 11 あなたは、今後、仕事や学業以外に、何か自分にできることで地域や社会に役立つ活動をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

- | | | | | | | | | |
|---|----------|-------|---|--------------|-------|---|-------------|-------|
| 1 | してみたいと思う | 23.1% | 2 | してみたいが今はできない | 53.3% | 3 | してみたいとは思わない | 17.9% |
| | | | | | | | 無回答 | 5.7% |
| | | | | | | | 判別不能 | 0.1% |

《区役所 7 階にある「いそご区民活動支援センター」では、市民活動・ボランティア活動・生涯学習のサポートや、地域活動を始めたい人たちのきっかけづくりなどを進めています》

問 12 あなたは、「いそご区民活動支援センター」を知っていましたか。(〇は1つ)

- | | | | | | |
|---|-----------------|-------|---|----------------------|-------|
| 1 | 利用したことがある | 3.8% | 2 | 利用したことはないが知っていた | 36.0% |
| 3 | 知らなかったが、今後利用したい | 30.6% | 4 | 知らなかったし、今後も利用することはない | 25.8% |
| | | | | 無回答 | 3.8% |
| | | | | 判別不能 | 0.1% |

生活環境全般に対する満足度・重要度についてお伺いします。

問 13 あなたは現在のお住まいの周辺的生活環境にどの程度満足していますか。また、以前と比べてどのように変わったと思いますか。

(項目ごとに、「満足度」、「以前と比べて」からそれぞれ番号を1つ選んで○)

項目	満足度 (%)							以前と比べて (%)					
	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	判別不能	よくなった	変わらない	悪くなった	わからない	無回答	判別不能
ア. バスの便などの地域交通	28.4	33.6	16.7	10.2	7.7	3.3	0.1	20.4	45.6	8.3	17.5	8.3	0.0
イ. 通勤・通学・買い物道路や歩道の整備	19.4	38.5	20.5	10.8	5.4	5.4	0.0	18.2	55.0	4.0	12.9	9.8	0.0
ウ. 放置自転車の防止・駐輪場整備、交通安全対策	12.9	33.3	20.6	10.7	15.9	6.5	0.0	24.2	37.7	5.2	22.4	10.4	0.1
エ. 区民が親しめる海辺・水辺環境の整備	4.8	18.4	11.1	9.1	48.7	7.9	0.1	7.3	25.8	3.9	51.2	11.7	0.1
オ. 商店街の振興	5.0	21.5	24.3	15.9	26.5	6.8	0.1	7.9	30.3	20.3	30.5	10.9	0.0
カ. 公園の管理、整備	12.2	38.6	13.8	5.6	23.5	6.2	0.1	20.3	34.3	5.7	28.7	11.0	0.0
キ. 緑の保全と緑化の推進	12.0	36.8	13.2	4.9	25.7	7.3	0.1	16.2	36.4	5.6	30.7	11.1	0.1
ク. ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	16.9	46.0	16.7	4.8	10.1	5.3	0.2	29.0	36.3	6.7	17.6	10.1	0.2
ケ. 地球温暖化への対策	3.3	16.0	13.7	4.4	55.5	6.9	0.1	5.7	25.6	3.0	54.6	11.0	0.0
コ. 災害対策	4.8	26.3	15.1	4.4	42.7	6.7	0.1	12.6	31.3	0.8	44.4	10.9	0.1
サ. 防犯対策	5.7	26.4	18.2	6.1	37.1	6.4	0.0	11.8	34.9	3.3	39.5	10.4	0.0
シ. 食品衛生・環境衛生の監視・指導	2.4	16.0	10.3	2.9	61.3	7.2	0.1	4.2	23.0	1.2	60.7	10.9	0.0
ス. 子育て支援や青少年の健全育成	3.2	20.7	10.4	3.0	54.9	7.8	0.0	8.7	21.4	2.2	56.3	11.4	0.0
セ. 感染症・生活習慣病など保健推進	3.0	18.0	10.0	2.8	58.6	7.6	0.1	6.8	22.1	1.3	58.6	11.2	0.1
ソ. 高齢者福祉	3.8	18.7	14.4	6.3	50.7	6.1	0.0	10.2	23.6	4.3	51.5	10.4	0.0
タ. 障害者福祉	3.7	13.2	10.7	4.5	61.0	6.9	0.1	6.9	19.0	2.9	60.7	10.4	0.0
チ. 経済的に困っている人の保護	1.7	8.9	9.5	5.7	66.8	7.3	0.1	3.1	16.0	3.4	66.1	11.2	0.1
ツ. 地域活動支援	2.5	16.8	8.7	2.1	61.8	8.1	0.0	5.5	19.7	1.2	62.0	11.7	0.0
テ. 地区センター・スポーツセンターなどの施設サービス	5.9	27.2	11.2	3.9	44.5	7.2	0.1	10.9	27.7	2.3	48.0	11.0	0.1
ト. 広報や広聴、市民相談、情報公開など区民参加の推進	4.7	22.5	8.7	3.0	53.6	7.6	0.0	8.7	23.5	1.2	55.4	11.2	0.0
ナ. 身近な住民窓口サービス	7.0	27.2	9.6	3.9	44.8	7.3	0.1	13.4	26.1	1.4	48.1	10.8	0.2
お住まい周辺の生活環境の総合的な評価	7.3	45.6	18.9	5.9	13.8	8.6	0.0	12.1	49.1	5.5	20.0	13.4	0.0

問 14 上記ア～ナの質問項目のうち、あなたのお住まいの周辺の環境にとって、とくに重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ナから3つを選んで記入)

ア : 36.4%

サ : 34.4%

コ : 26.9%

問 15 上記ア～ナの質問項目のうち、磯子区役所が取り組むべき課題として、重要度が高いとお考えの項目を3つまでお選びください。

(ア～ナから3つを選んで記入)

コ : 37.0%

ソ : 32.3%

サ : 28.0%

商店街についてお伺いします。

問 16 あなたは、地元の商店街をどのくらい利用していますか。(○は1つ)
(スーパーや百貨店などの大型店は除く)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 ほぼ毎日利用している 10.1% | 2 週に4～5日利用している 4.3% |
| 3 週に2～3日利用している 14.7% | 4 週に1日は利用している 14.1% |
| 5 月に1回は利用している 10.5% | 6 ほとんど利用していない 41.9% |

無回答：4.2% 判別不能：0.2%

(問 16 で「1」～「5」と答えた方) 普段利用されている商店街名をご記入ください。(複数可)

商店街名 (あるいは場所)	
------------------	--

問 16 で「1」～「5」と答えた方にお伺いします。

問 16-1 商店街を利用する主な理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------------|--------------------------------|------------------|
| 1 自宅の近くにあり便利 61.5% | 2 品揃えがよい 17.1% | 3 品質・鮮度がよい 18.1% |
| 4 店の人が親切である 15.5% | 5 店に信用がある 10.6% | 6 価格が安い 39.1% |
| 7 そこでしか買えないものがある 13.4% | 8 使いやすい量で購入できるなど要望に応じてくれる 6.3% | |
| 9 その他 () 6.0% | 無回答：1.5% | |

問 17 あなたが、商店街に対して希望することは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|-------------------------------------|
| 1 豊富な品揃え 40.4% | 2 個別ニーズへの対応 (少量での販売や加工など) 19.0% |
| 3 商品の品質の向上 36.6% | 4 イベントやセールの実施 12.8% |
| 5 店舗の種類の実施 31.7% | 6 イベントやセール情報 (宣伝、チラシなど広報) の充実 11.7% |
| 7 商品の配送サービスの実施 9.5% | 8 駐車場・駐輪場の確保 24.4% |
| 9 その他 () 5.2% | |
| 10 特になし 12.5% | 無回答：6.6% |

《昨年度から、「商店街朝市」を区役所屋外駐車場等で実施しています (平成 24 年度は 9 回開催)》

問 18 あなたは、「商店街朝市」を知っていましたか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 知っている 15.4% | 2 実際にいったことがある 2.0% |
| 3 知らなかったが、今後行ってみたい 48.9% | 4 知らなかったし、行ってみたいと思わない 30.4% |

無回答：3.1% 判別不能：0.2%



災害対策についてお伺いします。

問 19 あなたやあなたの家族にとって、大地震が起きたときに特に心配なことをあげてください。
(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 1 家屋の倒壊損傷 62.6% | 2 家具の転倒 41.8% |
| 3 火災の発生 64.5% | 4 津波の被害 26.5% |
| 5 土地の液状化 17.4% | 6 がけ崩れや地割れ 29.2% |
| 7 災害情報の入手 39.4% | 8 家族・知人の安否 68.6% |
| 9 水道・電気・ガスなどのライフラインの停止 78.4% | 10 食料品・飲料水の確保 63.6% |
| 11 避難場所での生活 53.2% | 12 けが・病気の治療 39.0% |
| 13 要援護者（高齢者や障害のある方）の避難 19.3% | 14 いざというとき、隣近所に頼る人がいない 14.8% |
| 15 交通機関の運休・帰宅困難になること 42.3% | 16 デマなどによる治安の乱れ 16.8% |
| 17 ペットの保護 12.8% | 18 特に心配なことはない 0.3% |
| 19 その他（ ） 1.1% | 無回答：1.3% |

問 20 あなたの家庭では、大地震に対してどのような準備を行っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1 建物の耐震診断や耐震補強 12.3% | 2 家具類の固定や転倒防止などの対策 38.3% |
| 3 家族との連絡方法の確認 38.6% | 4 避難場所（地域防災拠点等）の確認 42.8% |
| 5 携帯ラジオや懐中電灯など防災用品の用意 65.1% | 6 3日分以上の食料品・飲料水の備蓄 40.8% |
| 7 地域の防災訓練への参加 12.0% | 8 隣近所との話し合い 3.7% |
| 9 職場や学校からの帰宅ルートの確認 16.3% | 10 特に何もしていない 12.5% |
| 11 その他（ ） 1.1% | 無回答：1.5% |

《区役所では、震災等の災害発生を想定して、自治会町内会において要援護者（高齢者・障害者など、避難に支援を必要とする方）の情報を把握することや、具体的な支援体制が整備されることを目指して取組を進めています。》

問 21 実際に震災が起こった際に、あなたは、こうした要援護者の避難支援に関してどのような協力ができそうだと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 1 「大丈夫ですか」などの声かけ・安否確認 73.9% | 2 家族や親族・知人への連絡 49.8% |
| 3 自宅での一時的な保護・預かり 12.2% | 4 避難場所（地域防災拠点等）への付き添い 34.0% |
| 5 介助や応急手当 17.0% | 6 医療機関までの付き添い 18.0% |
| 7 避難場所での活動（物資搬入、炊き出し、情報伝達など） 35.6% | 8 災害状況や避難情報などの伝達 22.3% |
| 9 相談相手や話し相手になる 28.3% | 10 その他（ ） 3.1% |
| 11 手助けできることはない 5.9% | 無回答：3.4% |

【磯子区防災マップ】

《区役所では、津波避難対象区域や急傾斜地崩壊危険区域、地震への備え、津波避難など防災情報がまとめて見られる「磯子区防災マップ」を作成し、5月に全戸配布しました。》

(裏面：防災マップ)

(表面：防災情報)



問 22 あなたは、「磯子区防災マップ」をご覧になったことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1 防災マップの内容を見たことがある 52.5% | 2 配布はされているが、内容は見ていない 20.0% |
| 3 配布されていることを知らなかった 20.3% | 無回答：7.2% |

問 22 で、「1 防災マップの内容を見たことがある」と答えた方にお伺いします。

問 22-1 「磯子区防災マップ」をご覧になって、確認されたものをお答えください。

(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 地域防災拠点（家屋の倒壊などにより自宅で生活できない人が一定期間避難生活を送る場所） 56.0% |
| 2 広域避難場所（大火災が発生した時に一時的に避難する場所） 71.5% |
| 3 津波避難施設 20.0% |
| 4 帰宅困難者一時滞在施設 11.8% |
| 5 津波避難対象区域 21.6% |
| 6 急傾斜地崩壊危険区域 23.2% |
| 7 津波警報伝達システム（津波の発生が予想される場合、屋外スピーカーで避難を呼びかける設備） 8.1% |
| 8 その他（ ） 1.8% |
| 9 内容に目を通したが、特定の項目についての確認はしていない 18.3% |
| 無回答：2.1% |

区の情報や地域の情報の入手についてお伺いします。

問 23 あなたは区の情報や地域の情報を、主にどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------------|--------------------|----------------------|
| 1 広報よこはま 67.9% | 2 回覧板 58.0% | 3 自治会・町内会等の掲示板 40.0% |
| 4 タウン紙 24.8% | 5 パソコン用ホームページ 6.8% | 6 携帯電話用ホームページ 1.1% |
| 7 スマートフォン用ホームページ 1.1% | 8 パンフレット・チラシ 5.3% | 9 テレビ 12.6% |
| 10 ラジオ 4.9% | 11 新聞 17.3% | 12 市のコールセンター 0.2% |
| 13 区の窓口 2.4% | 14 ロコミ（人づて） 8.5% | 15 配信メール 1.3% |
| 16 ツイッター 0.5% | 17 フェイスブック 0.2% | |
| 18 その他（ ） 1.0% | 19 特に入手していない 10.2% | 無回答：2.2% |

あなたご自身やご家族のことについてお伺いします。

F 1 あなたの性別をお選びください。(○は1つ)

1 男性 40.3% 2 女性 57.9% 無回答：1.7% 判別不能：0.1%

F 2 あなたの年齢をお選びください。(○は1つ)

1 20歳～24歳 3.1% 2 25歳～29歳 4.7% 3 30歳～34歳 6.1% 4 35歳～39歳 8.2%
5 40歳～44歳 9.3% 6 45歳～49歳 7.6% 7 50歳～54歳 7.3% 8 55歳～59歳 7.9%
9 60歳～64歳 10.1% 10 65歳～69歳 10.5% 11 70歳～74歳 9.3% 12 75歳以上 14.3%
無回答：1.4% 判別不能：0.1%

F 3 あなたは結婚されていますか。配偶者の方はご健在ですか。(○は1つ)

1 既婚（配偶者あり） 65.0% 2 既婚（離死別） 11.6% 3 未婚 19.1%
無回答：4.2%

F 3-1 (F 3で既婚（配偶者あり）と答えた方) あなたは共働きをしていますか。(○は1つ)

1 フルタイム共働き 14.8% 2 パートタイム共働き（夫婦の何れか、あるいは両方がパートタイム） 24.6%
3 していない 58.7% 無回答：1.9%

F 4 あなたにお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの段階にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、それぞれお答えください。(○はいくつでも)

1 小学校入学前 9.0% 2 小学校在学中 9.3%
3 中学校在学中 6.5% 4 高校在学中 6.0%
5 各種学校、専修・専門学校在学中 0.8% 6 短大・大学・大学院在学中 5.4%
7 学校教育終了—未婚—同居 17.0% 8 学校教育終了—未婚—別居 9.4%
9 学校教育終了—既婚—同居 3.6% 10 学校教育終了—既婚—別居 25.4%
11 その他（ ） 3.1% 12 子どもはいない 21.5%
無回答：10.3%

F 5 あなたのご家族（同居されている方）の構成をお選びください。(○は1つ)

1 ひとり暮らし 10.1% 2 夫婦のみ 26.5% 3 親と子（2世代） 50.0%
4 祖父母と親と子（3世代） 5.8% 5 その他（ ） 4.9% 無回答：2.6% 判別不能：0.1%

F 6 あなたのご職業をお選びください。(○は1つ)

1 自営業・自由業（農林漁業、商工サービス業、自由業の自営業主および家族従業者） 7.9%
2 管理職（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など） 4.2%
3 専門技術職（勤務医師、研究所研究員、技師など） 9.0%
4 事務職（事務職、営業職、教員など） 14.5%
5 生産・販売等の職業（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職など） 12.9%
6 主婦・主夫 24.0% 7 学生 1.3% 8 無職 22.4%
無回答：3.6% 判別不能：0.4%

F7 あなたの住んでいる町名をお選びください。(〇は1つ)

《根岸地域》			
1 上町 0.4%	2 馬場町 0.7%	3 坂下町 0.7%	4 下町 0.4%
5 原町 0.6%	6 西町 1.1%	7 東町 1.9%	8 鳳町 0.0%
《滝頭地域》			
9 丸山一・二丁目 2.5%	10 滝頭一・二丁目 2.1%	11 滝頭三丁目 0.8%	12 岡村一～三丁目 3.4%
13 中浜町 0.7%			
《岡村地域》			
14 岡村四～六・八丁目 4.9%			
《磯子地域》			
15 磯子一～三丁目 7.3%	16 磯子四～八丁目 5.6%	17 磯子台 1.1%	18 広地町 1.1%
19 久木町 0.9%	20 岡村七丁目 0.8%	21 新磯子町 0.0%	
《汐見台地域》			
22 汐見台1～3丁目 3.8%			
《屏風ヶ浦地域》			
23 森一丁目 2.9%	24 森二丁目 1.0%	25 森三丁目 1.4%	26 森四～六丁目 3.8%
27 中原一・二丁目 2.5%	28 中原三・四丁目 2.7%	29 新中原町 0.0%	30 森が丘一・二丁目 2.1%
31 新森町 0.0%			
《杉田地域》			
32 杉田一丁目 1.0%	33 杉田二・三丁目 4.6%	34 杉田四丁目 1.3%	35 杉田五丁目 1.4%
36 杉田六～九丁目 5.4%	37 杉田坪呑 0.8%	38 新杉田町 0.2%	
《上笹下地域》			
39 田中一・二丁目 2.8%	40 栗木一～三丁目 3.2%	41 上中里町 2.1%	42 峰町 0.2%
43 氷取沢町 2.2%			
《洋光台地域》			
44 洋光台一～三丁目 7.4%	45 洋光台四～六丁目 8.3%	無回答：1.8% 判別不能：0.1%	

F8 あなたのお住いの形態をお選びください。(〇は1つ)

1 持家（一戸建て） 45.6%	2 持家（マンション・共同住宅） 29.8%
3 借家（一戸建て） 2.1%	4 借家（県営・市営の共同住宅） 2.8%
5 借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅） 5.0%	6 社宅、公務員住宅 1.9%
7 民間アパート、民間賃貸マンション 10.4%	8 その他（ ） 0.5%
無回答：1.7% 判別不能：0.2%	

F9 あなたは今のお住いにいつごろから住んでいますか。(〇は1つ)

1 昭和20年（1945）より前 2.0%	2 昭和20～29年（1945～1954） 1.5%
3 昭和30～39年（1955～1964） 4.2%	4 昭和40～49年（1965～1974） 11.8%
5 昭和50～59年（1975～1984） 11.3%	6 昭和60～平成6年（1985～1994） 15.7%
7 平成7～11年（1995～1999） 11.4%	8 平成12～16年（2000～2004） 12.8%
9 平成17～21年（2005～2009） 13.6%	10 平成22年（2010）以降 13.5%
無回答：2.0% 判別不能：0.1%	

F10 あなたはどこへ通勤・通学されていますか。職業をお持ちでない方は、日常生活を主に過ごす場所をお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|------------------|------------------------|
| 1 磯子区 48.6% | 2 横浜市内の他の区 28.0% | 3 神奈川県内の他市町村 6.5% |
| 4 東京都内 10.1% | 5 その他 () 2.9% | 無回答 : 3.7% 判別不能 : 0.2% |

F11 あなたが普段利用している鉄道駅は、次のうちのどこですか。(最も利用頻度の高い駅に1つだけ○)

- | | | | | |
|---------------------|------------------------|-------------|----------------|-------------|
| 1 根岸駅 14.8% | 2 磯子駅 15.7% | 3 新杉田駅 7.8% | 4 洋光台駅 20.3% | 5 港南台駅 0.2% |
| 6 上大岡駅 9.3% | 7 屏風浦駅 6.7% | 8 杉田駅 9.0% | 9 その他 () 4.1% | |
| 10 普段、鉄道を利用しない 7.5% | 無回答 : 2.2% 判別不能 : 2.4% | | | |

F11で「1 根岸駅」～「9 その他」と答えた方にお伺いします。

F11-1 あなたが普段利用している鉄道駅までの交通手段は何ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------------|----------------|-------------------------|------------|
| 1 徒歩のみ 52.1% | 2 自転車 5.5% | 3 バイク 2.1% | 4 バス 24.6% |
| 5 自家用車 2.2% | 6 その他 () 1.3% | 無回答 : 11.5% 判別不能 : 0.7% | |

自由意見欄

区役所に対するご意見・ご提案や、お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案がございましたら、ご自由にご記入ください。

<hr/> <hr/>

これでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

アンケート票は同封いたしました返信用封筒に入れて、

平成 25 年 6 月 28 日 (金) までにご投函ください (切手及び記名は不要です)。



磯子区マスコットキャラクター
いそっぴ

平成25年度 磯子区民意識調査 報告書

平成 25 年 12 月発行

横浜市磯子区区政推進課

〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-5-1

TEL 045(750)2331 FAX 045(750)2533